

キャリア教育実践の手引き



広島県教育委員会

はじめに

平成11年12月の中央教育審議会答申「初等中等教育と高等教育との接続の改善について」において、キャリア教育を小学校段階から発達段階に応じて実施する必要があることが提言されました。また、キャリア教育の実施に当たっては、家庭・地域と連携し、体験的な学習を重視するとともに、各学校ごとに目標を設定し、教育課程に位置付けて計画的に取り組み、さらに、その実施状況や成果について絶えず評価を行うことの必要性なども提言されました。

この答申以後、キャリア教育については、平成14年11月に国立教育政策研究所による調査研究報告書「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について」が公表されるなど国レベルでの調査研究が進められてきました。また、文部科学省は、平成16年度には「キャリア教育推進地域指定事業」を、平成17年度には「キャリア教育実践プロジェクト」を実施するなど様々な施策を実施しています。

本県においても、平成16年度からこれらの事業の指定を受けるとともに、平成17年度から、県独自の「キャリア教育推進事業」、「キャリア教育推進フォーラム」（平成17年度は文部科学省と共催で実施、平成18・19年度は「広島県キャリア教育推進フォーラム」として実施）、中・高等学校、特別支援学校のすべての進路指導主事を対象とした「キャリア教育コーディネートセミナー」を実施するなど、キャリア教育の推進に取り組んでいます。

また、平成17年度から19年度までの3年間、キャリア教育実践モデル開発地域として県内の5地域を指定しました。各地域の関係校は、効果的なキャリア教育の実践モデルを開発するために、学習指導案、教材の開発やそれらの有効性の検証に取り組んできました。

この「キャリア教育実践の手引き」は、キャリア教育実践モデル開発地域における実践研究の成果を基に、各校においてキャリア教育を実施するに当たって、どのような点に留意したり工夫したりすればよいか、また、キャリア教育を進めていく過程で課題に直面した場合に、その課題をどのように解決すればよいかなど、キャリア教育を進める上での疑問点や課題に対応できる手引書としてまとめたものです。

キャリア教育は、これまで私たちが行ってきた教育活動を、「子どもたちに、将来社会人・職業人として自立していくために必要な力を身に付けさせることができたか」という視点から見つめ直し、不足していた点、改善すべき点を明らかにして、解決に向けて取り組むことにより、「知・徳・体」の基礎・基本の徹底を図ってきたこれまでの取組みを、より豊かで効果的なものとする手段です。

また、キャリア教育は、新たな「教育県ひろしま」の創造に向けた教育改革、教育の「中身づくり」の取組みを一層推進するための重要な視点といえます。

この「手引き」を活用することにより、子どもたち一人一人の夢をはぐくみ、将来、社会人・職業人として自立していくことができるよう、各学校、家庭、地域等が一体となってキャリア教育の充実に取り組まれることを願っております。

目 次

はじめに

手引きの活用にあたって

第 1 章

1

章

キャリア教育とは

- 1 キャリア教育とは 1
- 2 キャリア教育のねらい 2

第 2 章

2

章

キャリア教育を進めるにあたって

- 1 キャリア教育を進めるにあたって 5
- 2 学校におけるキャリア教育 7

第 3 章

3

章

キャリア教育の実践

- 1 準備にあたって 9
- 2 学習プログラムをつくる 12
 - (1) 計画 (P l a n) 13
 - (2) 実施 (D o) 18
 - (3) 評価 (C h e c k) 20
 - (4) 改善 (A c t i o n) 22
- 3 キャリア教育を推進する教員の資質向上 23
- 4 学校と産業界、経済界等との連携の強化 25
- 5 保護者・企業等への普及・啓発強化 27
 - (1) 保護者・地域への普及・啓発強化 27
 - (2) 企業等への普及・啓発強化 29

No.1	広島県におけるキャリア教育の充実に向けて（提言）	31
No.2	キャリア教育関連用語	32
No.3	夢のスケッチブック例	35
	夢のスケッチブック例（ワークシートの例：小学校6年生）	36
	夢のスケッチブック例（ワークシートの例：中学校3年生）	37
	夢のスケッチブック例（ワークシートの例：高等学校）	38
No.4	参考文献	39
No.5	校内組織例（1）（福山市立網引小学校）	40
	校内組織例（2）（戸手高等学校）	41
No.6	地域推進委員会組織例（1）（東広島市地域）	42
	地域推進委員会組織例（2）（福山市新市地域）	43
No.7	学習プログラムのマネジメントサイクル例（1）（庄原市立西城小学校）	44
	学習プログラムのマネジメントサイクル例（2）（竹原市立竹原中学校）	46
	学習プログラムのマネジメントサイクル例（3）（西条農業高等学校）	48
No.8	キャリア教育の学習プログラムの枠組み例	50
No.9	児童生徒対象アンケート例（1）（大竹市地域）	51
	児童対象アンケート例（2）（竹原市立竹原小学校）	54
	生徒対象アンケート例（3）（竹原市立竹原中学校）	55
	児童生徒対象アンケート例（4）（竹原市立竹原中学校）	57
	生徒対象アンケート例（5）（竹原高等学校）	58
No.10	キャリア教育研究概要（1）（東広島市地域）	59
	キャリア教育研究概要（2）（庄原市西城地域）	60
No.11	キャリア教育の学習プログラムの枠組み例（1）（大竹市地域）	61
	キャリア教育の学習プログラムの枠組み例（2）（福山市新市地域）	62
No.12	キャリア教育全体計画例（1）（福山市立常金丸小学校）	63
	キャリア教育全体計画例（2）（福山市立戸手小学校）	64
	キャリア教育全体計画例（3）（庄原市立美古登小学校）	65
	キャリア教育全体計画例（4）（大竹市立小方中学校）	66
	キャリア教育全体計画例（5）（西条農業高等学校）	67
	キャリア教育全体計画例（6）（戸手高等学校）	68
No.13	キャリア教育題材系統図例（東広島市立板城小学校）	69
No.14	年間指導計画を加えた題材系統図例（1）（東広島市立向陽中学校）	72
	年間指導計画を加えた題材系統図例（2）（庄原市立西城中学校）	75

No.15	単元計画・学習指導案例（１）（大竹市立玖波小学校）	78
	単元計画・学習指導案例（２）（東広島市立御園宇小学校）	81
	単元計画・学習指導案例（３）（庄原市立西城小学校）	84
	単元計画・学習指導案例（４）（大竹市立小方中学校）	87
	単元計画・学習指導案例（５）（竹原市立竹原中学校）	90
	単元計画・学習指導案例（６）（福山市立新市中央中学校）	93
	単元計画・学習指導案例（７）（西条農業高等学校）	96
	単元計画・学習指導案例（８）（西城紫水高等学校）	99
No.16	教材例（１）世界の主食米作りワークシート例（大竹市立大竹小学校）	102
	教材例（２）職場体験事後指導ワークシート例（竹原市立竹原中学校）	106
	教材例（３）職場体験事業所決定に向けて例（大竹市立玖波中学校）	107
	教材例（４）古典講読随筆「枕草子」教材例（西条農業高等学校）	112
	教材例（５）社会人基礎力に関するワークシート例（西城紫水高等学校）	114
No.17	教員対象アンケート例（竹原高等学校）	116
No.18	キャリア教育啓発用パンフレット例（１）（大竹市地域抜粋）	118
	キャリア教育啓発用パンフレット例（２）（竹原市地域抜粋）	121
No.19	キャリア・アドバイザー募集リーフレット例（１）（大竹市地域）	127
	キャリア・アドバイザー募集リーフレット例（２）（竹原市地域）	128
No.20	キャリア・アドバイザーの人材リスト例（庄原市立美古登小学校）	129
No.21	キャリア・アドバイザー活用事例（東広島市地域）	130
No.22	キャリア教育保護者・地域啓発リーフレット例（東広島市立御園宇小学校）	134
No.23	キャリア教育関連事業指定地域・学校	135
	おわりに	137

手引きの活用にあたって

手引きの構成

第 1 章

⇒ キャリア教育とは何か、キャリア教育を行うねらいは何かなどが明らかになります。

第 2 章

⇒ 学校においてどのような点に留意してキャリア教育を進めたらよいか、どのようにしてキャリア教育の推進体制をつくればよいかなどが明らかになります。

第 3 章

⇒ キャリア教育の実践のために、PDCAの手順に沿って解説しています。必要に応じていずれの手順からでも調べることができます。

資 料

⇒ 3章までの解説に関連した具体的な実践例やもっと詳しく知りたいときのヒントなどを紹介しています。

〔表示例〕

資 料

※〇〇 P.〇〇

No.〇 □□□□□□□□□□

※ 第2章・第3章では、ポイントとなる項目を箇条書きで表記するとともに、手順及び留意点を説明しております。

ポイント

① □□□□□□□□□□□□

② □□□□□□□□□□□□

第 1 章

キャリア教育とは

- 1 キャリア教育とは 1
- 2 キャリア教育のねらい 2

1 キャリア教育とは

本県では、キャリア教育を、「幼児児童生徒一人一人がその発達課題の達成を通して、将来、社会人・職業人として自立していくために必要な意欲・態度や能力を身に付けることをねらいとして行われる教育活動の総体」ととらえ、学校・家庭・地域社会のつながりのもと、幼児児童生徒の「知・徳・体」の調和のとれた発達を促す取組み、自己実現を支援する取組みなどを、幅広く展開します。

(※1)

資料

※1 P. 31 No.1 広島県におけるキャリア教育の充実に向けて
(提言)

定 義

一般に、キャリア教育は、「児童生徒一人一人に、望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育」と定義されています。(※2)

資料

※2 P. 32 No.2 キャリア教育関連用語

2 キャリア教育のねらい

① 幼児児童生徒一人一人のキャリア発達を支援しましょう。

キャリア教育を進める上で最も大切にしなければならない基本姿勢は、子どもたち一人一人のキャリア発達を支援し、きめ細かく温かく支えていくことです。そのためには、子どもたちの実態とその置かれている状況を的確に把握するとともに、子どもたち自身が自己のよさや可能性に気づき、それぞれが夢や希望をもち、その実現に向けて努力する過程を組織的、継続的に指導・援助していくことが大切です。

② 「働くこと」への関心・意欲を高め、学習意欲の向上を図りましょう。

子どもたちは、自分の進路、将来設計、進路の選択・決定に関心・意欲を持つことによって、日常の学習態度や生活態度を大きく変化させます。なぜ勉強しなくてはいけないのか、今の学習が将来どのように役立つかということなどについての発見や自覚が、日頃の学習に対する姿勢の改善につながり、そのことがさらなる新たな発見やより深い自覚に結びついていくのです。このような発見や自覚を促すためには、実際の体験、授業や面談等において、実感として「分かった」という具体的な体験を通して得られていくのです。

③ 社会人・職業人として必要な資質や能力を高めましょう。

キャリア教育は、将来の職業人としての資質や能力を高めていくための教育活動でもあります。このため、学校教育では基礎・基本の定着を図る取組みを徹底するとともに、職業教育の素地を培い、専門性の向上に努めるなど、高等学校段階までの学習を、それ以降のより高度な専門的な知識・技能を習得する学習につなげていくことが求められます。

また、将来の職業生活を視野に入れ、子どもたちが情報活用能力や人間関係形成能力等、今後、社会や産業界で一層必要となる能力を身に付けることができるようにしていくことが大切です。

④ 働くことの意義を理解させ、自立意識をはぐくみ、豊かな人間性を育成しましょう。

働くことには、生計の維持だけでなく、成就感や自己実現の喜び、一市民として社会に参画し社会を支えるという意義があります。

教員は、子どもたちが、将来、社会人・職業人としてその社会的役割を遂行していくことができるようになるための支援であるという認識をもって、取組を進めていくことが必要です。また、子どもたちが他者の思いや苦労、誇りや心の痛みなどを自らのものにすることによって、豊かな人間性を培うとともに、自分自身への自信や有用感を持つことができるようにすることが大切です。そうしたことを通して、勤労の尊さ、それぞれの職業・仕事の大切さや社会的役割等の理解を深めていくことができるようにすることが大切です。

第 2 章

キャリア教育を進めるに当たって

- 1 キャリア教育を進めるに当たって5
 - ・ 組織的・計画的に
 - ・ 系統的・発展的に
 - ・ 個に応じて
 - ・ 連携・協力して
 - ・ 実践的・体験的な学習を通して
- 2 学校におけるキャリア教育7
 - ・ キャリア教育の推進体制の改善・充実
 - ・ キャリア教育全体をマネジメント

1 キャリア教育を進めるに当たって

ポイント

- ① 組織的・計画的に
- ② 系統的・発展的に
- ③ 個に応じて
- ④ 連携・協力して
- ⑤ 実践的・体験的な学習を通して

手順及び留意点

① 組織的・計画的に進めましょう。

留意点

キャリア教育は、必ずしも新しい教育内容を導入しようとするものではありません。また、キャリア発達には、児童生徒が行うすべての学習活動等が影響するため、学校のすべての教育活動を通して行われなければなりません。

そのためには、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の取組みが有機的に関連付けられているかなどを十分に検討した上で、キャリア教育を教育課程に位置付け、関連する諸活動を体系化し、学校教育活動全体を通して進められるように組織的・計画的に取り組むことが大切です。

② 系統的・発展的に進めましょう。

留意点

キャリア教育を推進する上で重要なことは、社会的・職業的自立が、児童生徒の発達段階と深くかかわりながら、順次段階を追って発達していくことを踏まえて、児童生徒の全人的な成長・発達を支援する視点に立つて行うことです。

また、キャリア教育は、子どもたちがそれぞれの発達段階に応じて、自己と働くこととを適切に関係付け、各発達段階における発達課題を達成できるよう取組みを展開するところに特徴があります。

保育所・幼稚園、小学校・中学校・高等学校等は、情報を共有するなどして、相互に十分な連携を図り、子どもたち一人一人の発達課題に対する指導・援助を系統的、発展的に行うことが大切です。

そのためには、小・中・高等学校等を通じて子どもたちがどのような学習を行ってきたのかを、小学校から中学校へ、中学校から高等学校等へと、確実に伝えることが必要です。

例えば、高等学校は中学校からキャリア教育の年間指導計画の提供を受けたり、小学校や中学校では、子どもたちの学習内容を記録して蓄積することのできるポートフォリオ（注1）（例：「わたしのキャリアノート～夢のスケッチブック」（※3））などを活用し、子どもたちがどのような学習を行ってきたのかを学校間で情報を共有することが大切です。

資料

※3 P.35～38 No.3 夢のスケッチブック例

③ 個に応じて進めましょう。

留意点

教員は、子どもたち一人一人の理解に努め、人間関係を築く中でキャリア発達の個人差を認識し、個々の子どもに応じた指導に当たることが重要です。

キャリア教育は、一人一人の子どもの社会人・職業人としての自己実現を助ける取組みであり、子どもたちの成長の過程を見つめながら、一人一人のキャリア発達の状況を的確に把握し、個に応じて進めることが大切です。

④ 連携・協力して進めましょう。

留意点

家庭、地域社会、企業、関係機関等の理解を得、その資源を有効に活用して進めましょう。

⑤ 実践的・体験的な学習を通して進めましょう。

留意点

働くこととの接点を広げる職場体験やインターンシップなどの実践的・体験的な学習活動を多面的に展開することは、子どもたちに望ましい勤労観、職業観などの育成、学ぶことの意義の理解と学習意欲の向上等、様々な教育効果が期待されます。

また、これらの活動が一過性の行事等とならないようにするために、事前・事後の指導の充実が必要です。

（注1）ポートフォリオ：児童生徒の学習成果を継続的に蓄積したもの。

2 学校におけるキャリア教育

ポイント

- ① キャリア教育の推進体制の改善・充実
- ② キャリア教育全体をマネジメント

手順及び留意点

① キャリア教育の推進体制を改善・充実しましょう。

留意点

学校の教育活動全体を通してキャリア教育を推進するためには、キャリア教育の意義を十分に認識し、キャリア教育を学校経営計画の中核に据えることが必要です。

各学校においては、校内の関係する分掌や各学年の代表者等を構成員とした委員会等、全校的な組織を設けるなど、組織的、系統的にキャリア教育を推進する体制の改善・充実が必要です。このことにより、学校が一体となってキャリア教育の推進を目指すことにつながります。

② キャリア教育全体のマネジメントを行いましょう。

留意点

学校が一体となってキャリア教育を推進するに当たっては、校長のリーダーシップの下、学校教育目標や教育方針等、学校経営方針にキャリア教育を明確に位置付けることが大切です。

たとえば、「キャリア教育推進委員会」等の委員会を組織し、委員会が中心となって、学校教育目標を十分に踏まえて推進していくことが重要です。この委員会は、管理職を中心として、各部・各学年の代表者により組織し、年間指導計画の作成や職員研修の企画立案、

各分掌（小・中学校例：教務主任，研究主任，総合的な学習の時間コーディネーター，生徒指導主事，進路指導主事，各学年主任，高等学校例：教務部，生徒指導部，学年，進路指導部，総務部）の役割分担の提示などを行います。

児童生徒と直接かかわるのは学年会・担任ですが，委員会はキャリア教育を円滑に展開できるよう，様々な機会をとらえて，効果的な支援を行う組織として機能することが重要です。

このようにして，すべての教員がキャリア教育の方針や内容を十分理解し，情報交換を密にして，各分掌間の意思疎通を図っていくことが必要です。

第 3 章

キャリア教育の実践

1	準備に当たって	9
2	学習プログラムをつくる	12
	（1）計画（Plan）	13
	（2）実施（Do）	18
	（3）評価（Check）	20
	（4）改善（Action）	22
3	キャリア教育を推進する教員の資質向上	23
4	学校と産業界，経済界等との連携の強化	25
5	保護者・企業等への普及・啓発強化	27
	（1）保護者・地域への普及・啓発強化	27
	（2）企業等への普及・啓発強化	29

1 準備に当たって

キャリア教育を推進する上で、指導者である教員の資質や専門性の向上が極めて重要であることは言うまでもありません。

そのためには、キャリア教育のねらい等についての本質的理解をすべての教員が共有するとともに、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の活動における個々の取り組みが、キャリア教育においてどのような位置付けをもち、役割を果たすのかについて、教員一人一人が十分理解することが不可欠です。

また、校内・外での研修を積み重ねながら、子どもたちの発達やそれを取り巻く環境の変化等についての的確な認識、キャリア教育の実践に必要な知識や指導方法、子どもたちに身に付けさせたい能力・態度等に係る目標設定の方法やその評価方法等を教員が習得していくことが求められています。

さらに学校教育においてキャリア教育を推進していくためには、第1章で述べたキャリア教育のねらいを理解した上で、校長のリーダーシップの下、学校経営方針にキャリア教育を位置付ける必要があります。

また、キャリア教育を進めるためには、地域との連携が不可欠なことから、保護者や校外の諸機関との連携を図りながら、適切な組織をつくることが重要です。

ポイント

- ① キャリア教育に関する情報の積極的な収集
- ② キャリア教育の理解を目的とした校内研修会等の実施
- ③ キャリア教育を推進するための組織づくり

1 キャリア教育に関する情報の積極的な収集

留意点

書籍、リーフレット、インターネットのWebページ、先進校などから情報を収集します。(※4)

資料

※4 P. 39 No.4 参考文献

2 キャリア教育の理解を目的とした校内研修会等の実施

留意点

「1 キャリア教育に関する情報を積極的に収集」(P.10)で収集した資料等を基に、次の事項等について理解を図ることをねらいとして、校内研修会等を開催します。

計画的に開催し、次の事項について情報交換・意見交換を行います。

- ・ キャリア教育は、学校の教育活動全体を通じて推進すること
- ・ キャリア教育は、児童生徒の発達段階を踏まえ、キャリア教育で育成する能力・態度の到達目標を明確にし、取組みの適時性や系統性、発展性に配慮して進めるべきこと
- ・ 職業教育や進路指導などキャリアに関する指導と教科等の指導との間には相互補完性があること
- ・ 体験的な学習活動の重要性
- ・ キャリア教育と進路指導との関係（中学校・高等学校）
- ・ 家庭・地域社会等との連携の必要性

3 キャリア教育を推進するための組織づくり

留意点

(1) 校内における組織づくり

各校において、校内にキャリア教育を推進する組織（「キャリア教育推進委員会（仮称）」）を設置します。（※5）

資料

※5 P. 40, 41 No.5 校内組織例
(P. 40 : 福山市立網引小学校)
(P. 41 : 戸手高等学校)

(2) 校外の諸機関との連携を図る組織づくり

産業界・経済界、地域、保護者、異校種等との連携を図るための組織（「キャリア教育推進協議会（仮称）」）を設置します。（※6）

資料

※6 P. 42, 43 No.6 地域推進委員会組織例
(P. 42 : 東広島市地域)
(P. 43 : 福山市新市地域)

計画的に開催し、次の事項の情報交換・意見交換が必要です。

- ・ 職場見学・職場体験・インターンシップ等の受け入れ事業所等の確保について
- ・ キャリア・アドバイザーや講師として地域の人材を確保することについて
- ・ キャリア教育の推進に係る校内・外の取組みについて、保護者の理解と協力を得るための研修会や説明会の開催について等

2 学習プログラムをつくる

キャリア教育は、関連する様々な取組みが各学校の教育課程に適切に位置付けられ、計画性と系統性を持って展開されてこそ、そのねらいが実現されます。

現在、計画(Plan)を実行(Do)し、評価(Check)して改善(Action)に結び付ける、いわゆるPDCAサイクルに沿って、学校運営、教育活動が行われています。

キャリア教育についてもこのPDCAサイクルに沿って実施することが大切です。全体計画等を作成・実施し、実施内容等を評価して、評価を改善に結びつけ、次の計画に反映させることを通して、年度ごとに見直しを行う必要があります。(※7)

資料

※7 P. 44～49

No.7 学習プログラムのマネジメントサイクル例

(P. 44, 45 : 庄原市立西城小学校)

(P. 46, 47 : 竹原市立竹原中学校)

(P. 48, 49 : 西条農業高等学校)

ポイント

キャリア教育の実践がその教育的目標を達成し、より効果的な活動の実践に発展していくために、PDCAのマネジメント・サイクルに沿って展開

(1) 計画 (Plan)

キャリア教育を進めるには、児童生徒の発達段階や発達課題を踏まえるとともに、学校の教育計画の全体を見通す中で、キャリア教育の全体計画やそれを具体化した各教科等の指導計画を作成する必要があります。

その際、各発達段階における発達課題の達成との関連から、各時期に身に付けることが求められる能力・態度の到達目標を具体的に設定するとともに、個々の活動がどのような能力・態度の形成を図ろうとするものかなどについて、できるだけ明確にしておくことが大切です。

キャリア教育を進めるに当たっては、地域の特色を踏まえるとともに、生徒や学校、地域の実態等に応じ、それぞれの学校にふさわしい特色ある教育課程を編成していくことが大切です。

ポイント

- ① 児童生徒の実態の把握と（キャリア教育で）身に付けさせたい能力等の明確化
- ② 到達目標の明確化
- ③ 学校におけるキャリア教育の取組みの状況の明確化
- ④ キャリア教育の視点に立った目指す児童生徒像の明確化
- ⑤ 到達目標を達成するためのキャリア教育全体計画等の作成

1 児童生徒の実態の把握と（キャリア教育で）身に付けさせたい能力等の明確化 ■

留意点

- (1) 児童生徒の発達段階に応じた「キャリア教育の学習プログラムの枠組み」に示された4領域の能力について理解します。(※8)

資料

※8 P. 50

No.8 キャリア教育の学習プログラムの枠組み例

- (2) 児童生徒の実態や児童生徒を取り巻く状況について、キャリア教育の視点からアンケート等を用いて調査し、的確に把握します。(※9)

次のデータ等を参考にすることが大切です。

- ・ 基礎学力の定着状況についての調査
- ・ 体験的な学習活動等における児童生徒の感想文
- ・ 「夢のスケッチブック」 等

資料

※9 P. 51～58 No.9 児童生徒対象アンケート例
(P. 51～53 : 大竹市地域)
(P. 54 : 竹原市立竹原小学校)
(P. 55～57 : 竹原市立竹原中学校)
(P. 58 : 竹原高等学校)

- (3) 「児童生徒の実態」を踏まえ、各校におけるキャリア教育を通じて身に付けさせたい能力等を明確にします。
- (4) 地域で連携してキャリア教育に取り組む場合は、各校種から、児童生徒の実態把握の結果等を持ち寄り、それぞれの地域において、キャリア教育を通して身に付けさせたい能力等を明確にします。

2 到達目標の明確化

留意点

- (1) どのように児童生徒が変容したかを検証できるような到達目標を設定します。
- (2) 到達目標の達成状況を評価するために、観点別の評価規準及び評価基準を設定します。

3 学校におけるキャリア教育の取組みの状況の明確化

留意点

各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間において、これまでどのようにキャリア教育に取り組んできたのかを把握します。

4 キャリア教育の視点に立った目指す児童生徒像の明確化

留意点

- (1) 「1 児童生徒の実態の把握と（キャリア教育で）身に付けさせたい能力等の明確化」(P.13)「2 到達目標の明確化」 「3 学校におけるキャリア教育の取組みの状況の明確化」(P.14)に基づいて、目指す児童生徒像を明確にします。(※10)

(例) 「将来の夢や目標の実現に向けて行動する児童生徒」
「我が町を誇りに思い、愛し、貢献する児童生徒」 等

資料

※10 P. 59, 60 No.10 キャリア教育研究概要
(P. 59 : 東広島市地域)
(P. 60 : 庄原市西城地域)

- (2) 児童生徒の実態及び各学校におけるこれまでのキャリア教育の取組みの状況の把握を基に、児童生徒の発達段階に応じた各地域版の「キャリア教育の学習プログラムの枠組み」を作成します。(※11)

資料

※11 P. 61, 62
No.11 キャリア教育の学習プログラムの枠組み例
(P. 61 : 大竹市地域)
(P. 62 : 福山市新市地域)

5 目標を達成するためのキャリア教育全体計画等の作成

留意点

- (1) 学校経営計画にキャリア教育の推進を位置付けます。
(2) 「キャリア教育全体計画」を作成します。(※12)

資料

※12 P. 63～68 No.12 キャリア教育全体計画例
(P. 63 : 福山市立常金丸小学校)
(P. 64 : 福山市立戸手小学校)
(P. 65 : 庄原市立美古登小学校)
(P. 66 : 大竹市立小方中学校)
(P. 67 : 西条農業高等学校)
(P. 68 : 戸手高等学校)

- (3) 各学年における「各教科等を関連付けたキャリア教育学習計画（題材系統図）」を作成します。(※13)



※13 P. 69～71 No.13 キャリア教育題材系統図例
(東広島市板城小学校)

- (4) 各教科等の「年間指導計画」を作成します。(※14)



※14 P. 72～77
No.14 年間指導計画を加えた題材系統図例
(P. 72～74 : 東広島市立向陽中学校)
(P. 75～77 : 庄原市立西城中学校)

中学校・高等学校においては、各種計画を作成する際、進路指導の6つの活動の関係を明確にする必要があります。

◎ 進路指導の6つの活動

【参照：文部省「中学校・高等学校進路指導の手引き－進路指導主事編」(昭和52年)】

- ① 個人資料に基づいて生徒理解を深める活動と生徒に正しい自己理解を得させる活動（自己情報の理解）
- ② 進路に関する情報を得させる活動（自己以外の情報理解）
- ③ 啓発的な経験を得させる活動（啓発的経験）
- ④ 進路に関する相談の機会を得る活動（進路相談）
- ⑤ 就職や進学に関する指導・援助の活動（就職や進学への指導援助）
- ⑥ 卒業生の追指導に関する活動（追指導）

- (5) 各教科等の単元計画、学習指導案及び教材を作成します。

- ① 「年間指導計画」に基づいた、単元計画を作成します。(※15)



※15 P. 78～101 No.15 単元計画・学習指導案例
(P. 78 : 大竹市立玖波小学校)
(P. 81 : 東広島市立御薊宇小学校)
(P. 84 : 庄原市立西城小学校)
(P. 87 : 大竹市立小方中学校)
(P. 90 : 竹原市立竹原中学校)
(P. 93 : 福山市立新市中央中学校)
(P. 96 : 西条農業高等学校)
(P. 99 : 西城紫水高等学校)

- ② 単元計画に基づいた「学習指導案及び教材」を作成します。(※16)

資料

※16 P. 78～101 No.15 単元計画・学習指導案例

(P. 79, 80 : 大竹市立玖波小学校)

(P. 82, 83 : 東広島市立御園宇小学校)

(P. 85, 86 : 庄原市立西城小学校)

(P. 88, 89 : 大竹市立小方中学校)

(P. 91, 92 : 竹原市立竹原中学校)

(P. 94, 95 : 福山市立新市中央中学校)

(P. 97, 98 : 西条農業高等学校)

(P. 100, 101 : 西城紫水高等学校)

P. 102～115 No.16 教材例

(P. 102～105 : 大竹市立大竹小学校)

(P. 106 : 竹原市立竹原中学校)

(P. 107～111 : 大竹市立玖波中学校)

(P. 112, 113 : 西条農業高等学校)

(P. 114, 115 : 西城紫水高等学校)

事前に次の内容について検討することが大切です。

その際、大学教授や指導主事等を交えた研究協議会を開催することが有効です。

【検討内容】

- ・ 教科・科目・単元のねらい及びキャリア教育に関連したねらい（身に付けさせたい資質や能力）の設定について
- ・ 児童生徒がこれまで身に付けている資質や能力、関心・意欲などの状況把握及び分析について
- ・ 指導内容、指導方法（授業における工夫・改善点）について
- ・ キャリア教育の目標の達成状況を評価するための観点や評価規準及び評価基準の作成について
- ・ キャリア教育の目標の達成状況を評価する方法について
- ・ 検証指標の設定について
- ・ 教材等（ワークシート、記録簿、自己評価票等）について
- ・ 他の教科・科目等との関連について
- ・ 事前・事後の学習との系統性について 等

(2) 実施 (D o)

日頃の教科指導において、子どもたちが学んだ知識を実感を伴って理解できるようにすることをはじめ、学ぶことの意義を身をもって体得したり、社会生活や将来の職業生活における必要性や有用性等を認識したりすることが必要です。

また、日頃の教科の学習が、子どもたち一人一人の生き方や将来の進路と深く結びついていることを一人一人の教員が改めて深く認識するとともに、教科における指導とキャリア教育との関連を常に意識し、子どもたちのキャリア発達を支援するという視点に立った指導の工夫・改善を図るため、学校全体で取り組むことが大切です。

さらに、職場体験やインターンシップなどの体験的な活動を一過性の行事に終わらせるのではなく、その後の子どもの生活や意識の変容に十分つなげるため、指導する側が明確な目標のもとに、期間・内容等を定め、受入事業所等との共通理解を図ることが重要です。

また、事前指導において子どもたちに体験活動の意義をしっかりと理解させるとともに、職業調べやインタビューと組み合わせたり、事後にまとめの話し合いや討論会、発表会等を計画したりするなど、周到な計画と準備のもとに実施することが大切です。

キャリア発達を促す要素の一つとして、日頃から、年齢や価値観が異なるなどの「多様で幅広い他者」と積極的にかかわりを持つことが重要です。

このことを踏まえ、地域社会や企業等のボランティア活動やサークル活動、職場体験、インターンシップ、地域の催しなどを通して、子どもたちが日頃から、多くの人々と幅広い人間関係を持つことができるよう、学校、家庭、地域が一体となって様々な場や機会を積極的に設けていくことが大切です。

ポイント

各教科等指導計画に沿った活動の実施

手順及び留意点

1 各教科等の指導計画に沿った活動の実施

留意点

計画した内容を踏まえて授業を実施します。

授業を改善するために、次のような研究授業を実施することが有効です。

- ・ 大学教授及び指導主事等を交えた研究授業
- ・ 異校種の教員の参加による研究授業

事後の検討会を開催し、授業実施前に行った研究協議会で検討した内容について検証することが大切です。

(3) 評価 (Check)

評価に当たっては、「終了時の評価」として行う目標の達成状況の評価だけでなく、「実践過程での評価」として、前もって計画した活動が効果を上げつつあるかどうか、予測しなかった問題や課題が起きていないかを確認し、必要な場合には計画を修正することなども大切です。

また、児童生徒の変化に視点を当てた場合、定量的評価だけではなく、担当教員が児童生徒の行動を観察したり、取り組んでいる時の児童生徒自身の感想などの資料による定性的な評価も大切です。

このようなことから、児童生徒が取り組んだ課題や、進路指導などで行った検査や調査、学業成績など、児童生徒に関する全資料を一括したポートフォリオが、キャリア教育を通しての児童生徒の変化や教員の取組みの評価にも極めて有効な情報として活用できます。

ポイント

- ① 指導計画に示した目標の達成状況の評価
- ② 取組みによる成果と課題を検証

手順及び留意点

1 指導計画に示した目標の達成状況の評価

留意点

- (1) 計画段階で作成した評価の観点・規準（基準）により、何がどの程度達成されたかという具体的評価を行います。

次に例示する基本的な観点で評価することが大切です。

【基本的な評価の観点（例）】

- ① 目標の設定について
 - ・ 目標の設定は具体的であったか、また、妥当であったか
 - ・ 目標設定過程への各教員の参加度、理解度はどうか 等
- ② 実践中の評価について
 - ・ 児童生徒は積極的に取り組んでいるか、理解はどうか、予測した取組みをしているか
 - ・ 期待した変化や効果の兆しはあるか
 - ・ 教員が適切な指導を行っているか
 - ・ 児童生徒の感想はどうか 等
- ③ 評価の方法について
 - ・ 評価のための計画は適切に立てられていたか
 - ・ 評価方法やそのための資料は前もって用意されていたか、評価方法は妥当であったか 等
- ④ 「児童生徒の変容」の評価
 - ・ プログラム実施中の児童生徒の態度の変化
 - ・ プログラムの目標の達成状況（実施過程中、及び終了時） 等
- ⑤ 評価を受けての改善について
 - ・ 今までの評価を教員、保護者等で客観的に見直し、共通理解されているか
 - ・ 評価を次の改善策として適切に生かしているか 等

（２）保護者アンケート等による外部評価を行います。

2 成果と課題の検証

留意点

成果と課題の検証はできるだけ詳細に行います。（改善の視点を明確にする。）

(4) 改善 (Action)

評価を受けての改善について、評価結果を教員、保護者等で客観的に見直し、共通理解を図ることが大切です。

そして、評価結果を基に適切に次の改善策として生かし、次年度の学習プログラム（学習プログラムの枠組み、キャリア教育全体計画等）を修正する必要があります。

ポイント

- ① 成果と課題を検証し、次年度の改善計画を立案
- ② 次年度の諸計画を修正

手順及び留意点

1 成果と課題の検証から改善計画の立案へ

留意点

- (1) 成果と課題の検証に基づいて、指導計画の内容の見直しを行い改善計画を作成します。
- (2) 近隣の学校間（小・中・高）で、合同の授業研究会、研修会を開催し、学習プログラム（学習指導案や教材等）を修正します。

2 次年度の諸計画の修正

留意点

各地域版の児童生徒の発達段階に応じた「キャリア教育の学習プログラムの枠組み」, 「キャリア教育全体計画」を修正します。

3 キャリア教育を推進する教員の資質向上

キャリア教育の推進には、すべての教員が、キャリア教育のベースとなる児童生徒のキャリア発達や児童生徒を取り巻く社会環境の変化、さらに学校の教育活動全体を通して進められるキャリア教育の在り方などについて十分に理解を深めることが重要となります。その上で、教員一人一人の資質の向上が求められます。

例えば、一人一人の児童生徒のキャリア発達を促すキャリア教育においては、児童生徒一人一人を理解し、その変容を的確にとらえて発達を支援する「キャリア・カウンセリング」の知識・技能や、校外での体験活動の場面で、家庭、地域、企業、関係機関・団体の関係者と円滑に連携を進める際に不可欠な「コミュニケーション能力」の向上などがすべての教員に求められます。

さらに、キャリア教育の指導者的な立場の教員には、「プログラム開発・運営・評価能力」、「調整能力（コーディネーション能力）」、「指導・助言能力（インストラクション・コンサルテーション能力）」等が必要となります。

ポイント

- ① 教員がキャリア教育を十分に理解しているかを把握
- ② キャリア教育の理解を深めるための教員研修会の実施
- ③ カリキュラムの開発や家庭、地域、企業等との幅広い連携・協力関係をコーディネート（調整）する能力を身に付ける研修会の充実

手順及び留意点

1 教員のキャリア教育の本質的な理解に係る実態の把握

留意点

教員を対象としたキャリア教育に関するアンケートや研修会などを実施し、キャリア教育を十分に理解しているかどうかについて把握します。（※17）

資料

※17 P. 116, 117 No.17 教員対象アンケート例
（竹原高等学校）

2 キャリア教育の理解を深めるための教員研修会の実施

留意点

「1 教員のキャリア教育の本質的な理解に係る実態の把握」(P. 23)の実態把握の結果を基に、すべての教員がキャリア教育の理解を深めることを目的とした校内研修会を計画的に開催します。

次のような観点を参考に研修会の内容をつくることが大切です。

また、大学教授や指導主事、国の「キャリア教育を推進するための指導者の養成を目的とした研修」や県の「キャリア教育コーディネートセミナー」の受講者などを講師に招いて研修会を開催することが有効です。

- ・ キャリア教育についての理解の深化
- ・ キャリア教育の推進に必要な知識と基本的な能力の習得
- ・ 自校におけるキャリア教育の具体的な取り組みとその評価
- ・ キャリア・カウンセリングに係る基礎的・基本的な知識や理解 等

3 カリキュラムの開発や関係機関等をコーディネート（調整）する能力を身に付ける研修会の実施

留意点

- (1) キャリア教育やキャリア・カウンセリングにかかわる基礎的・基本的な知識を身に付け、理解しているかどうかを、アンケート等を実施して確認します。
- (2) 学校全体で計画的、組織的にキャリア教育に取り組み、効果的にかつ円滑に実施することをねらいとして、「プログラム開発・運営・評価能力」，「調整能力（コーディネーション能力）」，「指導・助言能力（インストラクション・コンサルテーション能力）」を習得する研修会を実施します。

「2 キャリア教育の理解を深めるための教員研修会の実施」(P. 23)の留意点と同じく研修会の開催においては、大学教授や指導主事等を講師に招いての研修会が有効です。

さらに、校種の異なる教員が合同で研修会を受講することで、研修内容を充実させたり、研修の効果を高めたりすることができます。

4 学校と産業界、経済界等との連携の強化

キャリア教育を円滑に展開するためには、家庭、地域や企業等との連携を積極的に進め、学校外の教育資源を有効に活用することが不可欠です。

子どもたちの学びをより豊かなものにする上で、職場体験やインターンシップをはじめ、企業見学や社会人・職業人講話・インタビュー、大学等上級学校の見学、聴講及び大学等からの出張授業、図書館や美術館、博物館等での調査研究活動、福祉施設や幼稚園、保育所等でのボランティア体験などを、学校の実態や地域の状況を踏まえながら適切かつ積極的に実施する必要があります。

職場体験やインターンシップ等の体験活動の実施に当たっては、受入事業所等の開拓や講師等の選定をそれぞれの学校が行っている場合が多いようです。

体験活動をより円滑に実施するために、また、継続した取組みとして定着させるためには、学校と関係機関が一体となって取り組むことが大切です。このため、ハローワークや産業界、経済団体、PTA、地域の自治会等の協力を得て、体験活動推進のための協議会を組織したり、学校外の人的・物的な教育資源のリストを作成したりしましょう。

ポイント

- ① 学校から産業界・経済界等に幅広い情報発信
- ② 職場体験やインターンシップなどの体験的な学習を推進するための協議会の設置
- ③ キャリア・アドバイザーの確保及び継続的・計画的な活用
- ④ 学校と産業界・経済界が連携・協力して児童生徒を育成

手順及び留意点

1 キャリア教育の意義を、学校から産業界・経済界等に幅広く情報発信しましょう ■

留意点

産業界や経済界にキャリア教育の意義を理解していただいたり、学校の実践などを知っていただくため、啓発用のリーフレットを作成して配布したり、学習成果発表会等に招いたりすることにより情報を発信します。(※18)

資料

※18 P. 118～126

No.18 キャリア教育啓発用パンフレット例
(P. 118～120 : 大竹市地域)
(P. 120～126 : 竹原市地域)

2 職場体験やインターンシップなどの体験的な学習を推進するための組織（「キャリア教育推進協議会（仮称）」）を設置しましょう

留意点

第3章1「3 キャリア教育を推進するための組織づくり」(P.10, 11)を参照してください。

3 キャリア・アドバイザーを確保し、継続的・計画的に招聘できるよう、対象となる人材の名簿づくりや人材バンク登録システムなどを構築しましょう

留意点

(1) キャリア・アドバイザー募集リーフレットなどを活用し、職種、経歴、年齢等、幅広い層からキャリア・アドバイザーを募集します。

(※19)

資料

※19 P. 127, 128

No.19 キャリア・アドバイザー募集リーフレット例
(P. 127 : 大竹市地域)
(P. 128 : 竹原市地域)

(2) キャリア・アドバイザーに登録していただいた方のリストを作成します。(※20)

資料

※20 P. 129

No.20 キャリア・アドバイザーの人材リスト例
(庄原市立美古登小学校)

(3) キャリア・アドバイザーを活用した事例を事例集として整理します。

(※21)

資料

※21 P. 130～133

No.21 キャリア・アドバイザー活用事例
(東広島市地域)

4 学校と家庭が連携・協力した実践

留意点

学校と家庭が連携・協力し、次に示す取組みを行います。

- ・ しつけ、子どもへの接し方
- ・ 家庭における役割分担、家事分担
- ・ 家族と働くことなどについての会話 等

5 保護者・企業等への普及・啓発強化

(1) 保護者・地域への普及・啓発強化

家庭教育の在り方、働くことに対する保護者の考え方や態度は、子どもたちのキャリア発達に大きな影響を与えます。

キャリア教育を進めるに当たっては、こうした家庭や保護者の役割やその影響の大きさを常に念頭におき、家庭・保護者との共通理解を図りながら進めることが重要です。

保護者との実りある連携を図るためには、キャリア教育が子どもたち一人一人の主体的な進路の選択・決定を指導援助するものであるという共通理解を得ることが必要です。

また、産業構造や進路をめぐる環境の変化等について、企業の人事担当者や PTA 研修会などを通じて学んだり、積極的に情報提供したりするなどして、現状を踏まえた情報交換や面談などを実施していく必要があります。

ポイント

- ① 家庭や保護者との共通理解を図るため、キャリア教育に係る情報を積極的に提供
- ② 保護者が学校の教育や運営に積極的に参画したり、キャリア・アドバイザーとして話をしたりする場を設定

手順及び留意点

1 キャリア教育に係る情報の積極的に提供

留意点

家庭や保護者に対し、キャリア教育の意義を理解し、学校の実践などを知っていただくため、次に示す取組みにより情報を積極的に発信します。(※22)

- ・ 各種通信（学校便り，学級通信 等）の配布
- ・ キャリア教育に係る啓発リーフレット等の配布
- ・ 保護者が集う場における啓発
（学級懇談会，個人懇談会，地域懇談会，P T A総会・研修会 等）
- ・ 児童生徒の学習成果等を発表する場における啓発
（参観授業，学習成果発表会 等） 等

資料

※22 P.134

No.22 キャリア教育保護者・地域啓発リーフレット例
（東広島市立御園宇小学校）

2 保護者の学校教育や運営への参画

留意点

- （1）保護者や地域の方に，学校の教育や運営に積極的に参画できるよう，次に示す取組みを行います。

- ・ 学級懇談会の企画・運営
- ・ P T C 活動の企画・運営
- ・ 運動会・体育祭，文化祭等の学校行事の企画・運営
- ・ P T A新聞の作成
- ・ 地域の行事やボランティア活動の企画・運営 等

- （2）保護者や地域の方に，社会人・職業人としての経験を学校や学級の講師等として話す場などを設けます。

第3章4「3 キャリア・アドバイザーの確保及び継続的・計画的な活用」（P.26）を参照してください。

（２）企業等への普及・啓発強化

学校においては、それぞれの機関の持つ多様な役割や機能を理解し、学校から積極的に働きかけて連携を強化する取組みを進める必要があります。

ポイント

- ① 企業や行政関係機関等に、キャリア教育に係る情報を積極的に提供
- ② 産業界・経済界から協力を得るための組織づくり
- ③ 産業界・経済界からキャリア・アドバイザーとして招聘し、子どもの状況や学校の取組みなどを紹介

手順及び留意点

1 キャリア教育に係る情報の積極的な提供

留意点

産業界や経済界に対し、キャリア教育の意義を理解し、学校の実践などを知っていただくため、次に示す取組みにより情報を発信します。

(※23)

- ・ キャリア教育に係る啓発リーフレット等の配布
- ・ 職場見学，職場体験，インターンシップの実施
- ・ キャリア・アドバイザーの招聘
- ・ 児童生徒の学習成果等を発表する場における啓発（学習成果発表会 等） 等

資料

※23 P.134

No.22 キャリア教育保護者・地域啓発リーフレット例
（東広島市立御園宇小学校）

2 産業界・経済界と連携を図る組織の設置

留意点

第3章4「3 キャリア・アドバイザーの確保及び継続的・計画的な活用」(P.26)を参照してください。

3 産業界・経済界からキャリア・アドバイザーの招聘

留意点

産業界・経済界の方に、社会人・職業人としての経験を学校や学級の講師等として話したりする場を設けます。

第2章1「3 キャリア教育を推進するための組織づくり(2) 校外の諸機関との連携を図る組織づくり」(P.10,11)を参照してください。

4 学校と産業界・経済界が連携・協力した実践

留意点

学校と産業界・経済界が連携・協力し、次に示す取組みを行います。

- ・ 職場見学，職場体験，インターンシップ
- ・ 社会人講師による講演会
- ・ 職業人による講演会 等

学校とハローワークとの意見交換会等において、学校の要望をハローワークに伝えるなど、日頃から緊密な情報交換に努める必要があります。

- ・ 中学校，高等学校卒業後も，就職相談や求人情報の入手など，子どもたち自身が必要に応じ積極的にハローワークを利用できるよう，その機能について理解させておくことが大切です。
- ・ 子どもたちのキャリア発達を支援するための総合的機能を有する「私のしごと館」の活用など，多様な施策についても幅広く情報を収集し，各学校の実情に応じて活用することが求められます。

資 料

No.1	広島県におけるキャリア教育の充実に向けて（提言）	31
No.2	キャリア教育関連用語	32
No.3	夢のスケッチブック例	35
	夢のスケッチブック例（ワークシートの例：小学校6年生）	36
	夢のスケッチブック例（ワークシートの例：中学校3年生）	37
	夢のスケッチブック例（ワークシートの例：高等学校）	38
No.4	参考文献	39
No.5	校内組織例（1）（福山市立綱引小学校）	40
	校内組織例（2）（戸手高等学校）	41
No.6	地域推進委員会組織例（1）（東広島市地域）	42
	地域推進委員会組織例（2）（福山市新市地域）	43
No.7	学習プログラムのマネジメントサイクル例（1）（庄原市立西城小学校）	44
	学習プログラムのマネジメントサイクル例（2）（竹原市立竹原中学校）	46
	学習プログラムのマネジメントサイクル例（3）（西条農業高等学校）	48
No.8	キャリア教育の学習プログラムの枠組み例	50
No.9	児童生徒対象アンケート例（1）（大竹市地域）	51
	児童対象アンケート例（2）（竹原市立竹原小学校）	54
	生徒対象アンケート例（3）（竹原市立竹原中学校）	55
	児童生徒対象アンケート例（4）（竹原市立竹原中学校）	57
	生徒対象アンケート例（5）（竹原高等学校）	58
No.10	キャリア教育研究概要（1）（東広島市地域）	59
	キャリア教育研究概要（2）（庄原市西城地域）	60
No.11	キャリア教育の学習プログラムの枠組み例（1）（大竹市地域）	61
	キャリア教育の学習プログラムの枠組み例（2）（福山市新市地域）	62
No.12	キャリア教育全体計画例（1）（福山市立常金丸小学校）	63
	キャリア教育全体計画例（2）（福山市立戸手小学校）	64
	キャリア教育全体計画例（3）（庄原市立美古登小学校）	65
	キャリア教育全体計画例（4）（大竹市立小方中学校）	66
	キャリア教育全体計画例（5）（西条農業高等学校）	67
	キャリア教育全体計画例（6）（戸手高等学校）	68

No.13	キャリア教育題材系統図例（東広島市立板城小学校）	69
No.14	年間指導計画を加えた題材系統図例（１）（東広島市立向陽中学校）	72
	年間指導計画を加えた題材系統図例（２）（庄原市立西城中学校）	75
No.15	単元計画・学習指導案例（１）（大竹市立玖波小学校）	78
	単元計画・学習指導案例（２）（東広島市立御園宇小学校）	81
	単元計画・学習指導案例（３）（庄原市立西城小学校）	84
	単元計画・学習指導案例（４）（大竹市立小方中学校）	87
	単元計画・学習指導案例（５）（竹原市立竹原中学校）	90
	単元計画・学習指導案例（６）（福山市立新市中央中学校）	93
	単元計画・学習指導案例（７）（西条農業高等学校）	96
	単元計画・学習指導案例（８）（西城紫水高等学校）	99
No.16	教材例（１）世界の主食米作りワークシート例（大竹市立大竹小学校）	102
	教材例（２）職場体験事後指導ワークシート例（竹原市立竹原中学校）	106
	教材例（３）職場体験事業所決定に向けて例（大竹市立玖波中学校）	107
	教材例（４）古典講読随筆「枕草子」教材例（西条農業高等学校）	112
	教材例（５）社会人基礎力に関するワークシート例（西城紫水高等学校）	114
No.17	教員対象アンケート例（竹原高等学校）	116
No.18	キャリア教育啓発用パンフレット例（１）（大竹市地域抜粋）	118
	キャリア教育啓発用パンフレット例（２）（竹原市地域抜粋）	121
No.19	キャリア・アドバイザー募集リーフレット例（１）（大竹市地域）	127
	キャリア・アドバイザー募集リーフレット例（２）（竹原市地域）	128
No.20	キャリア・アドバイザーの人材リスト例（庄原市立美古登小学校）	129
No.21	キャリア・アドバイザー活用事例（東広島市地域）	130
No.22	キャリア教育保護者・地域啓発リーフレット例（東広島市立御園宇小学校）	134
No.23	キャリア教育関連事業指定地域・学校	135

No. 1 広島県におけるキャリア教育の充実に向けて（提言）

具体的な取組み例

●「なりたい自分」をみつける体験的な活動を

学校同士が情報交換しながら、子どもが「なりたい自分」について考えることができるような体験的な活動を各学校で実施しましょう。
そして、成長した姿を学校同士で話し合いましょう。

●小・中・高の教員同士の研修を

各学校で行うキャリア教育の取組みを持ち寄って、子どもたちの育ちと学びを小から中、高へとつなぎましょう。

●「夢のスケッチブック」づくり

学校は、子どもたち一人一人がキャリア教育において、どのようなことを学び、どのようなことを経験したかなどを記録に残して綴じ込み、「夢のスケッチブック」として記録を重ねていきましょう。

そして、この「夢のスケッチブック」を小から中、高へとバトタッチしていきましょう。



学校間の

学校と社会が力を合わせて

学校と地域との

具体的な取組み例

●地域の大人との触れ合いを

学校は、地域の大人を招く機会をつくり、触れ合いの中から子どもたちにあこがれの大人のイメージをもたせて、「なりたい自分」の姿を具体的にさせましょう。

●語って伝える大人の体験

子ども会や自治会の行事など、子どもたちが地域の大人と触れ合う場を設けましょう。
地域の大人は、仕事を通じて楽しかったこと・苦労したことなどの体験を子どもたちに語りましょう。

●地域の子どもの地域で育てる

地域の中での知り合いを増やし、学校と子どもと大人とのネットワークを広げるために、学校と地域が協力して、それぞれの行事やボランティア活動などに互いに積極的に参加しましょう。



具体的な取組み例



●保護者との研修の場の設定

学校は、PTA総会などの中で、キャリア教育に関する研修の場を設けて、キャリア教育についての取組みを家庭と共有しましょう。

また、学校での子どもの様子や家庭での子どもの様子についても互いに伝え合い、子どもの育ちを支援しましょう。

●子どもたちと語る機会の拡大

家庭では、職場体験やインターンシップなどについて話題にしながら、働くことの意義や将来の目標について、子どもと語る機会を増やしましょう。

●家庭での役割が人に役立つ喜びへ

学校と家庭が協力して、子どもたちに家の手伝いなどの役割をもたせて達成感や成就感を味わわせましょう。

そして、家庭での役割に責任をもつことを通して、社会での役割意識を育てましょう。

学校と家庭との

「ひろしま」の教育をつくろう

学校と産業界との

具体的な取組み例



●職場で伝える職業人の基本

産業界は、職場体験やインターンシップなどにおいて、子どもたちに、時間を守ること・挨拶すること・整理整頓することが、働くことの基本であることを実感させましょう。

●「輝く大人」の秘密をさぐる

学校は、子どもたちが「輝く大人」に出会ったり、産業界について学んだりする機会を積極的に設けましょう。

●「夢のスケッチブック」の実現に向けて

学校と産業界は、職場体験を通して、子どもたちが「なりたい自分」に近づくための具体的な道すじを考えさせましょう。

そして、今できることを計画し、実行することによる充実感を味わわせましょう。

キャリア教育支援会議（平成20年3月）による

No. 2 キャリア教育関連用語

キャリア教育

「望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育」

【中央教育審議会「初等中等教育と高等教育との接続の改善について（答申）」平成 11 年 12 月】

「児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育」ととらえ、端的には、「児童生徒一人一人の勤労観，職業観を育てる教育」

【文部科学省「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」平成 16 年 1 月】

キャリア教育の意義

（1）教育改革の理念と方向性を示すキャリア教育

キャリア教育は、一人一人のキャリア発達や個としての自立を促す視点から、従来の教育の在り方を幅広く見直し、改革していくための理念と方向性を示すものである。

（2）子どもたちの「発達」を支援するキャリア教育

キャリアが発達段階やその発達課題の達成と深くかかわりながら段階を追って形成されていくことを踏まえ、子どもたちの成長・発達を支援する取組みを推進することである。

（3）教育課程の改善を促すキャリア教育

各領域の関連する諸活動を体系化し、組織的・計画的に実施することができるよう、各学校が教育課程編成の在り方を見直していくことが必要である。

【文部科学省「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」平成 16 年 1 月】

キャリア発達

キャリアが子どもたちの発達段階やその発達課題の達成と深くかかわりながら段階を追って発達していくこと

【文部科学省「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」平成 16 年 1 月】

自己の知的，身体的，情緒的，社会的な特徴を一人一人の生き方として統合していく過程

【文部科学省「小学校・中学校・高等学校キャリア教育推進の手引き」平成 18 年 1 月】

キャリア発達課題

それぞれのキャリア発達段階で、職業・進路の選択能力及び将来の職業人として必要な能力・資質の形成という側面から発達上の課題をとらえたもの

【「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」 平成 16 年 1 月】

段階 課題	小学校	中学校	高等学校
	進路の探索・選択にかかる 基盤形成の時期	現実的探索と暫定的選択の 時期	現実的探索・試行と社会的 移行準備の時期
キャリア 発達 課題	- 自己及び他者への積極的 関心の形成・発展 - 身の回りの仕事や環境へ の関心・意欲の向上 - 夢や希望、憧れる自己イ メージの獲得 - 勤労を重んじ目標に向か って努力する態度の形成	- 肯定的自己理解と自己有 用感の獲得 - 興味・関心等に基づく職 業観・勤労観の形成 - 進路計画の立案と暫定的 選択 - 生き方や進路に関する現 実的探索	- 自己理解の深化と自己受 容 - 選択基準としての職業観・ 勤労観の確立 - 将来設計の立案と社会的 移行の準備 - 進路の現実吟味と試行的 参加

【文部科学省「小学校・中学校・高等学校キャリア教育推進の手引き」 平成 18 年 1 月】

職業観・勤労観

「職業観・勤労観」は、職業や勤労についての知識・理解及びそれらが人生で果たす意義や役割についての個々人の認識であり、職業・勤労に対する見方・考え方、態度等を内容とする価値観である。その意味で、職業・勤労を媒体とした人生観ともいえるべきものであって、人が職業や勤労を通してどのような生き方を選択するか基準となり、また、その後の生活によりよく適応するための基盤となるものである。

【国立教育政策研究所生徒指導研究センター「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について」報告書平成 14 年 11 月】

望ましい職業観・勤労観

「自分なりの職業観・勤労観」という多様性を大切にしながらも、それらに共通する土台として、以下のような「望ましき」を備えたものを目指すことが求められる。

- 「望ましき」の要件としては、基本的な理解・認識の面では、
- ①職業には貴賤がないこと
 - ②職業遂行には規範の遵守や責任が伴うこと
 - ③どのような職業であれ、職業には生計を維持するだけではなく、それを通して自己の能力・適性を発揮し、社会の一員としての役割を果たすという意義があること
- などがあげられるであろうし、

情意・態度面では、

- ①一人一人が自己及びその個性をかけがえのない価値あるものであるとする自覚
- ②自己と働くこと及びその関係についての総合的な検討を通した、職業・勤労に対する自分なりの構え
- ③将来の夢や希望の実現を目指して取り組もうとする意欲的な態度などがそれに当たると考えられる。

【(国立教育政策研究所生徒指導研究センター「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について」
(調査研究報告書) 平成14年11月)】

キャリア・アドバイザー

企業の人事部門経験者、ハローワークの就職業務経験者をはじめ、自らが経験した職業・職種、仕事の内容について、求められる能力や資格要件、学校在学中及び卒業後にキャリアを形成していく方法等について専門的な知識や情報を持っている社会人・職業人

【「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」 平成16年1月】

人間関係形成能力

他者の個性を尊重し、自己の個性を発揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、協力・共同してものごとに取り組む力

【「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」 平成16年1月】

情報活用能力

学ぶこと・働くことの意義や役割およびその多様性を理解し、幅広く情報を活用して、自己の進路や生き方の選択に生かす力

【「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」 平成16年1月】

将来設計能力

夢や希望をもって将来の生き方や生活を考え、社会の現実を踏まえながら、前向きに自己の将来を設計する力

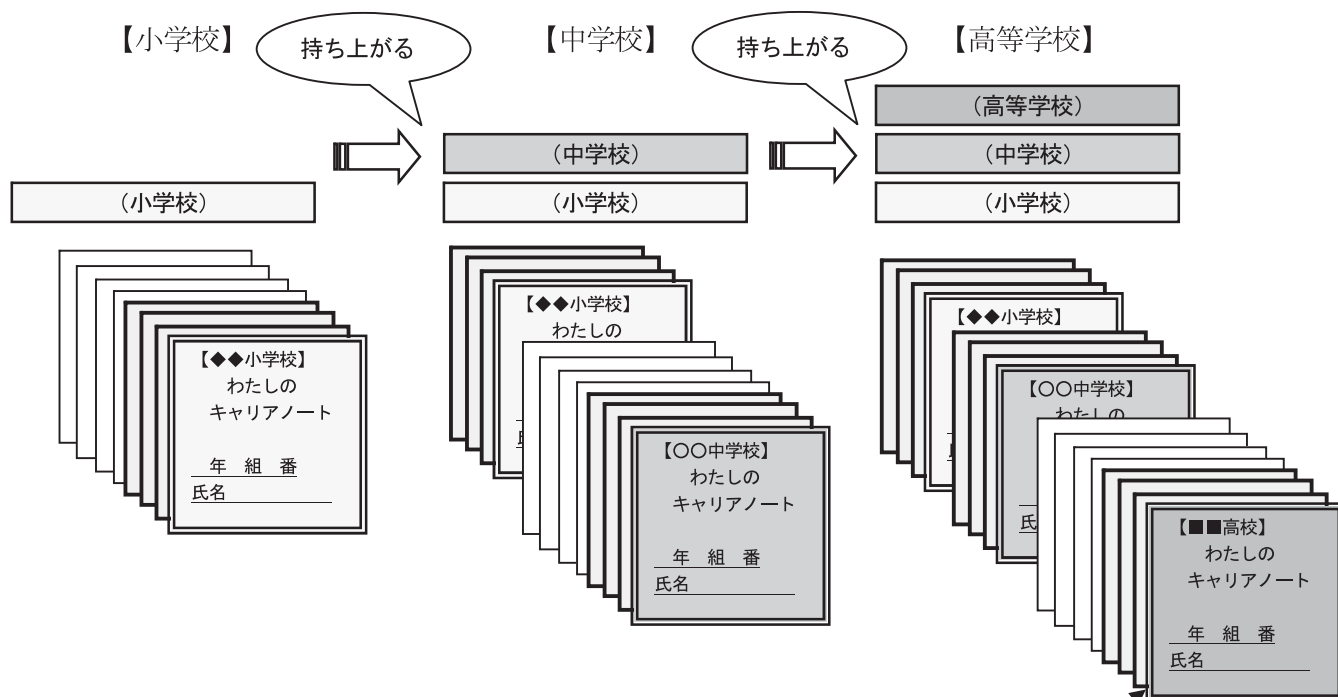
【「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」 平成16年1月】

意思決定能力

自らの意志と責任でよりよい選択・決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取り組み克服する力

【「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」 平成16年1月】

No.3 夢のスケッチブック例



【第1章 計画編】……………5ページ程度 教員が作成（生徒と共有）

- 1 高等学校キャリア教育全体計画
- 2 第1学年キャリア教育年間計画 第2学年キャリア教育年間計画 第3学年キャリア教育年間計画

【第2章 実践編】

全25ページ程度……1テーマ1ページ、生徒が記入し自己評価したものを教員が学習過程も含めた評価を行う。

- 1 中学校におけるキャリア教育の学習を振り返る
- 2 キャリア学習のイメージをつかむ～高等学校の設計図
- 3 年間の学習の展開を知る～どのような流れで学ぶのか
- 4 「自分の夢」をスケッチ～テーマとゴールは何か
- 5 私のライフプランを立てる～社会人・職業人とは何か
- 6 ○○の力を身に付ける～※※の学習記録
- ……………
- 10 企業とその仕事を知る
- 11 仕事選びのステップ～就職先をリサーチする
- 12 学校選びのステップ～進学先をリサーチする
- 13 進学模擬体験（講義の受講、大学見学、体験入学等）を行う
- 14 就職模擬体験（講義の受講、企業見学、インターンシップ等）を行う
- 15 自分をプレゼンテーション～自分の学習を振り返る
- 16 「自分の夢」をスケッチ～ゴールの確認を行う

目 標 「1年間を見通した生活スケジュールを立てよう」

将来のことを考える大切さがわかる。

学習内容

1 1年間を見通した生活スケジュールの構想を立てる

(1) アドバイザーとして招いた中学3年生に中学校の生活について聞く

(2) 中学生になった自分はどんな生活をしているかイメージして書く

2 スケジュール

	自分の考えたスケジュール	学校の行事など
4月	入学 陸上部に入る	入学 部活動紹介
5月	英語の勉強をがんばる	委員会活動 中間試験
6月		
7月		
8月		

自己評価

指導者からのアドバイス

目 標 「自分自身を振り返り，自己アピールをしよう」

模擬面接を通じて，自分の長所・短所，これまで努力してきたこと，自分がこれからどうしたいかを確認する。

学習内容

１ キャリア・アドバイザーに面接官になっていただき，面接を受ける

（１）面接での大事なポイントについて考えよう

①

②

③

（２）自分について振り返ろう

① 長所と短所

② これまで努力してきたこと

③ 自分がこれからどうしたいか

④ なぜ高校に行くのか

自己評価

指導者からのアドバイス

目 標 「自分の夢をスケッチ」

より適切な進路選択のため、これまでの自分のライフプランを見直し、自己の課題を明らかにする。

学習内容

1 キャリアを考える

(1) キャリアとは何だろう

(2) ライフ・キャリアの虹から感じたこと

2 現在の進路希望を整理してみよう

(1) 自分について

(2) 職業について

(3) 悩み・不安について

(4) 希望の修正について

3 自分の課題を明らかにしよう

自分の進路を実現するために、これから努力しなければならないことは何ですか

(1) 学習面

- ・ 何を
- ・ どのように

(2) 生活面（学校・家庭・その他）

- ・ 何を
- ・ どのように

(3) その他

- ・ 何を
- ・ どのように

自己評価

指導者からのアドバイス

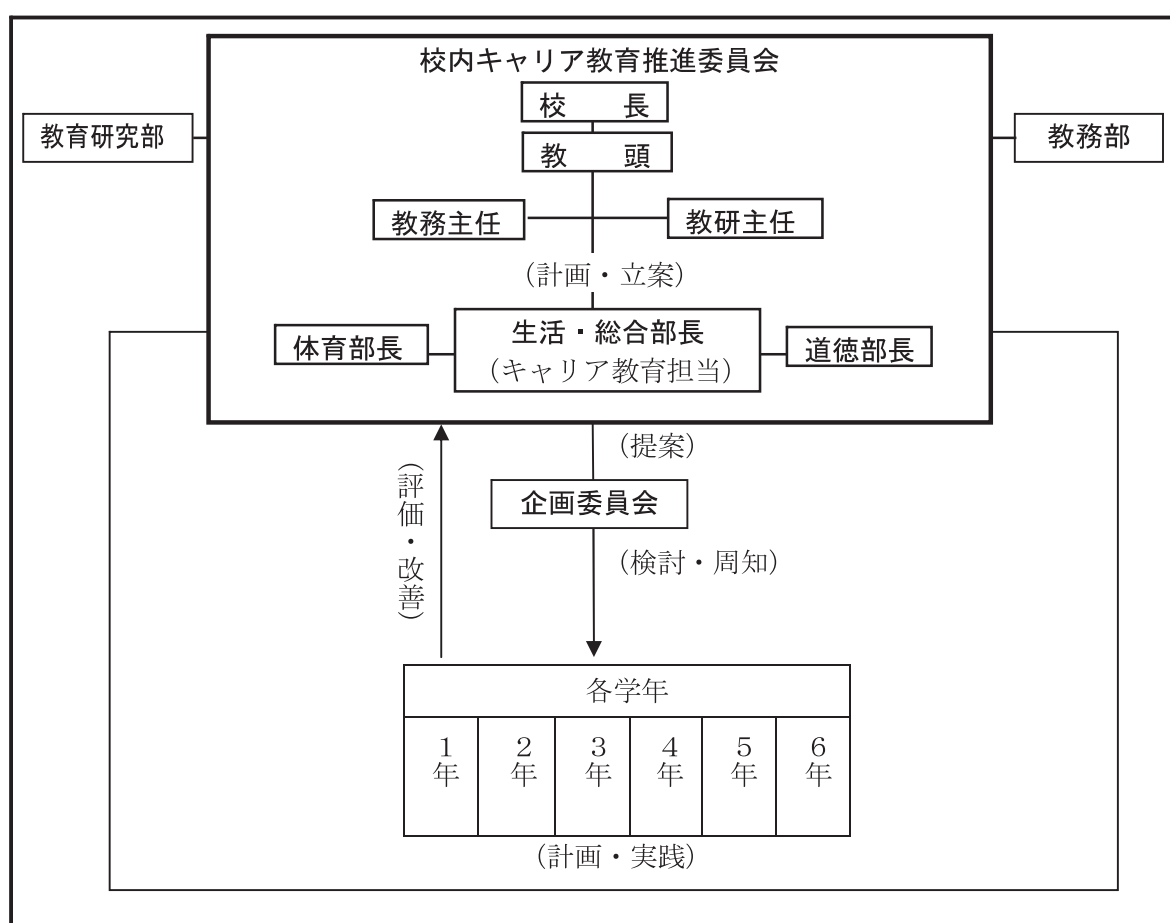
No. 4 参考文献

発行者	タイトル等	発行年月
広島県 教育委員会	夢をはぐくみ、在り方生き方を考えさせるキャリア教育の推進 ー幼児児童生徒一人一人の「自己実現」をめざしてー（パンフ レット）	平成 17 年 2 月
	夢をはぐくみ、在り方生き方を考えさせるキャリア教育の推進 ー幼児児童生徒一人一人の「自己実現」をめざしてー平成 17 年度キャリア教育推進事業実施報告書	平成 18 年 3 月
	平成 17 年度キャリア教育実践プロジェクト（キャリア・スタ ート・ウィーク）実践事例集	平成 18 年 3 月
	平成 18 年度キャリア教育実践プロジェクト（キャリア・スタ ート・ウィーク）実践事例集	平成 19 年 3 月
	平成 19 年度キャリア教育実践プロジェクト（キャリア・スタ ート・ウィーク）実践事例集	平成 20 年 3 月
中央教育 審議会	初等中等教育と高等教育との接続の改善について（答申）	平成 11 年 12 月
文部科学省	キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書	平成 16 年 1 月
	中学校職場体験ガイド	平成 17 年 11 月
	小学校・中学校・高等学校キャリア教育推進の手引	平成 18 年 11 月
	高等学校におけるキャリア教育の推進に関する調査研究協力者 会議	平成 18 年 11 月
国立教育政 策研究所生 徒指導研究 センター	児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について（調査研 究報告書）	平成 14 年 11 月

No.5 校内組織例（１）（福山市立網引小学校）

特 徴

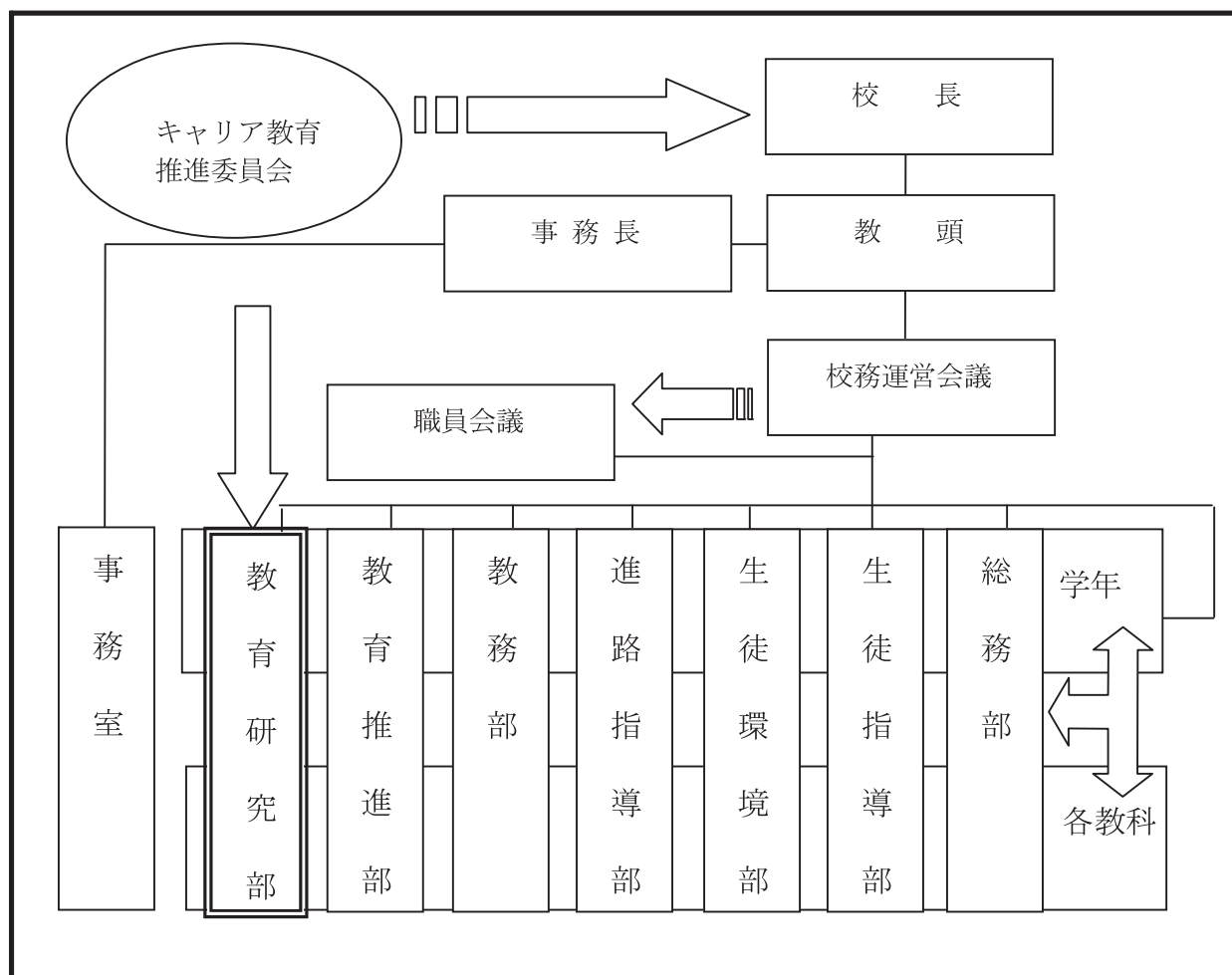
- 校内にキャリア教育推進委員会を組織し，生活・総務部長が中心となってキャリア教育の推進に当たった。
- 本校の研究教科等（体育，生活科，総合的な学習の時間，道徳）とキャリア教育とのかかわりを深めるため，上記部長に加えて道徳部長，体育部長を推進委員会に位置付けた。



No.5 校内組織例（2）（戸手高等学校）

特 徴

- 本校においては、キャリア教育を推進する中心の分掌としては「産業社会と人間」や「総合的な学習の時間」の内容を担当する教育研究部があたり、他の分掌や学年・教科との連携あるいは新市地域の推進委員会との窓口となった。



平成19年度からは、各分掌から主担当者を1名ずつ出して、推進委員会等に出席したり、個別事業の実施に関わることを通して校内外のキャリア教育の推進にあたった。

特 徴

- 各校におけるキャリア教育に関する成果や課題、情報等を地域全体で共有化していくために、地域担当者会議を定例化（毎月開催）した。会場を各校で持ち回することで、教職員全体の意識の高揚を図った。

希望と意欲にあふれる子どもたちが、
明日の『活力ある』東広島市地域を創る

東広島市地域キャリア教育推進委員会

大 学

（広島大学）

産業界・経済界等

（商工会議所・企業・団体）

学 校

（小・中・高等学校）

行政機関等

（ハローワーク・教育委員会）

地 域

（地域・保護者）

東広島市地域キャリア教育推進
委員会（協議会）

- ・本地域のキャリア教育推進のための意見や情報の交換
- ・児童生徒の望ましい勤労観、職業観の育成を目指して、職場見学や職場体験等の体験的な学習活動を活性化させていくための協力や支援

地域担当者会議

小学校

中学校

高等学校

地域担当者会議 （企画・調整・推進）

- ・学習プログラムの開発
- ・職場体験等受け入れシステムの構築
- ・キャリア・アドバイザー活用事例集の作成
- ・研究授業及び研究協議会の実施
- ・研修会（合同・校種別、教職員・保護者）の実施
- ・実践報告会、リーフレットによる啓発活動の実施

高等学校（事務局）

中学校

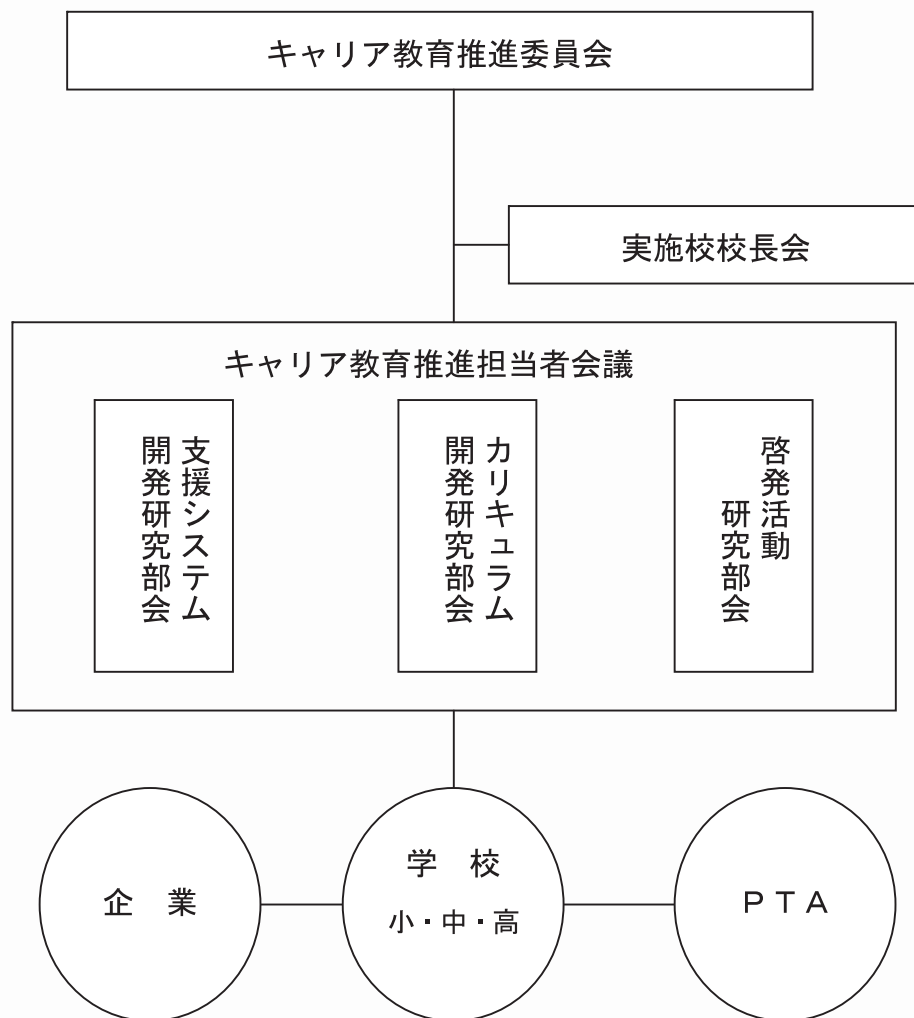
小学校

No.6 地域推進委員会組織例（２）（福山市新市地域）

特 徴

- キャリア教育推進委員会の外部専門委員には、新市地域のキャリア教育の推進に対して支援・協力をお願いできる地元の大学教授，企業経営者，経済団体関係者，労働行政関係者，保護者の代表者等に就任していただき，本地域におけるキャリア教育の研究の方向性及び研究の具体的な内容について指導助言をいただいた。

「キャリア教育推進委員会」組織図



研究テーマ

地域の「ひと」「もの」「こと」に主体的にかかわり、自分の伸びを自覚する児童の育成

P

【H17 年度キャリア教育に関するアンケート結果の分析】

- 将来の夢や目標を持っている。 90%
- 地元が好き 93%
- 自分の良いところと言える。 48%
- 自分の考えや思いを友だちへ伝える。 57%
- 自分から進んで勉強や活動をする。 50%

【身に付けさせたい能力】

人間関係形成能力

将来設計能力

【到達目標】

昨年度のアンケート結果に対し、10 ポイント以上向上させる。

【目指す子ども像】

- ・地域から学ぶことができる子ども
- ・西城を誇れる子ども
- ・礼儀正しい子ども

「心豊かで たくましい西城っ子」

- ・ふるさと西城のよさを知っている子ども
- ・自分から気持ちのよい挨拶ができる子ども
- ・仕事を分担してやりぬく子ども

【学校教育目標】

「自分を育てる」子どもの育成 一気づく・行う・鍛えあうー

【研究主題】

地域の「ひと」「もの」「こと」に主体的にかかわる児童の育成

【生活科・総合的な学習の時間での取組み】

- ① 西城っ子学習
（生活科・総合的な学習の時間での地域学習）の充実
- ② 学ぶ意欲の高まる指導・支援の在り方
（地域の人材活用）
- ③ 評価方法の改善
（ポートフォリオの実践）

【教科・領域等での取組み】

- ① 基礎・基本の確かな学力を身に付けさせる。
- ② 自己評価・相互評価を通して自己評価力を育てる。
- ③ 学習集団づくりを通して学び合う態度を育てる。
- ④ 働くことの大切さを知り、進んで働こうとする意欲を育てる。
- ⑤ 学び方、ものの考え方を身に付け、問題解決に主体的に取り組む態度を育てる。

A

【「人間関係形成能力」を育てるための取組み】

- 自己有用感・自己肯定感が高まるように、対話を重視したポートフォリオ評価を取り入れ、児童一人一人に応じた的確な手立てを実施していく。そのために、児童のポートフォリオを基にした演習などの研修を実施し、指導者の評価力を高めていく必要がある。
⇒ H19 年度、研究主題を「地域の『ひと』『もの』『こと』に主体的にかかわり 自分の伸びを自覚する児童の育成」と変更する。【自我理解能力】
- 伝え合う力が高まるように、生活科や総合的な学習の時間を中心として、地域の「ひと」との交流を重点的に取り組む。また、日常的にも、朝の会や「ぐんぐんタイム」の時間を利用し、スピーチや言語技術のレッスンを継続し、「ことばの力」を伸ばす。
⇒ 「地域交流・学校間交流」を充実させる。【コミュニケーション能力】

D

地域の「ひと」「もの」「こと」に主体的にかかわる児童の育成

生活科・総合的な学習の時間

西城っ子学習（生活科・総合的な学習の時間での地域学習）の充実

- ・「めいじんみたいになりたいな」
- ・「大佐村7つのサインのひみつ」
- ・「ひばごん井」
- ・「地域の福祉施設 しあわせ館」
- ・「スローライフ in 西城」
- ・「今につながる西城の歴史」

学ぶ意欲が高まる指導・支援の在り方

- ・地域の人材活用「名人に学ぶ」
- ・異学年交流「チャレンジきっさ店」
- ・施設に掲示していただく「しあわせ館マップ」
- ・地域の創作料理「ひばごん井」をつくる

評価方法の改善

- ・測る評価から育てる評価へ～ポートフォリオ評価の深化～
- ・コンセプトマップ法とKJ法の活用
- ・ポートフォリオ検討会～伸びを共有化する～

* 評価方法

- ・「生活・総合的な学習の時間」「キャリア教育」に関するアンケートの実施
- ・ポートフォリオ評価（凝集・作品など）自己評価、相互評価
- ・外部評価（保護者、ゲストティーチャーなど）

教科・領域等

- ・基礎・基本の力：帯時間の活用、ハッスルタイム（計算力の向上）・ぐんぐんタイム（ことばのスキル）TT指導（算数科、国語科、総合的な学習の時間）、少人数指導
- ・自己評価力：教科での1枚ポートフォリオづくり（国語科、理科）、作品ポートフォリオづくり

地域交流・他校との交流

- ・地域の祭り（どえりゃ祭り）のパレード参加に向けて踊りの練習会、パレードへの参加
- ・一人暮らしのお年寄りの方へのプレゼント渡し
- ・中学校生徒による入学説明会
- ・小中高合同陸上練習会
- ・地域の方の指導による校外での俳句学習、地域ボランティアによる読み語りの会、スキー教室

C

H18 年度キャリア教育に関するアンケート結果の分析

- 自分の良いところと言える。48%→56% 【人間関係形成能力】
- 自分の考えや思いを友だちへ伝える。57%→57% 【人間関係形成能力】
- 自分から進んで勉強や活動をする。50%→61% 【将来設計能力】

地域のことをもっと学習したい。

<分析>

- ・将来設計能力については、伸びているが（11ポイント）、人間関係形成能力については、0～8ポイントの伸びにとどまった。また、「自分の良いところと言える」については、8%伸びたものの肯定的評価をしている児童が、56%にとどまっている。
- ・地域に親しみを感じ、地域の学習を楽しみにしている児童が増えた。（感想文等の分析）

No.7 学習プログラムのマネジメントサイクル例（2）（竹原市立竹原中学校）

研究テーマ

生徒の学習意欲を高め、勤労観・職業観を育むキャリア教育の推進
～夢と目標を持って自己の進路を切り拓く生徒を育成する体験学習プログラムの開発～

P

【生徒の実態】

- ① 教科学力では、各種学力テストの全国通過率を上回っているが、表現力、思考力において課題が見られる。
- ② 進路成熟尺度の検査では、係活動（役割遂行）などに積極的に参加しており、「自己実現的態度」の強い生徒が多い。しかし、自己の将来に見通しをもって計画を立て、実行に移し評価するという「進路計画」や「進路決定」に関する意欲や態度が十分身に付けているとはいえない。

【到達目標】

学年指導目標		人間関係形成能力	自他の理解能力	自分の良さや個性が分かり、他者の良さや感情を理解し、尊重することができる。
1年	夢を持つ		コミュニケーション能力	他者に配慮しながら、積極的に人間関係を築こうとすることができる。
2年	夢を語ろう	情報活用能力	情報収集・探索能力	生き方や進路に関する情報を、様々なメディアを通して調査・収集・整理し活用することができる。
			職業理解能力	体験等を通して、勤労の意義や働く人々の様々な思いを理解することができる。
3年	夢の実現に向かって歩みだそう	将来設計能力	役割把握・認識能力	日常生活や学習と将来の生き方との関係を理解することができる。様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の生き方を考えることができる。
			計画実行能力	将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への関心・意欲を高めることができる。
		意思決定能力	選択能力	自己の個性や興味・関心等に基づいて、よりよい選択をしようとするすることができる。
			課題解決能力	課題に積極的に取り組み、主体的に解決しようとするすることができる。

【目指す生徒像】

夢と目標を持って、自分の未来を切り拓く生徒

【キャリア教育全体計画等】

キャリア教育全体計画をもとに、キャリア教育単元系統図、各学年キャリア教育学習計画、単元ごとの指導計画・学習指導案を作成して、キャリア教育を推進する。（竹原中学校キャリア教育プランV2）

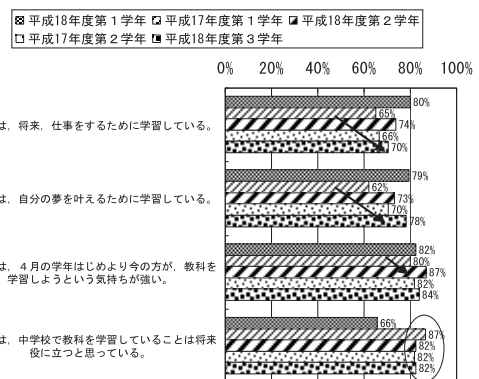
A

【竹原中学校キャリア教育プランV2の改善】

- ① 授業改善の推進
生徒の思考力を高め、生徒が理解できたと感じる授業づくりを推進する。
- ② 家庭学習の習慣化
生徒の家庭学習の習慣化を図るために、「家庭学習の手引き」を作成し、学習の仕方を指導する。
- ③ 教科等の有機的な連携
体験活動で経験した内容を教科等に関連づける。
- ④ 各指導計画の見直し
各学年の指導内容や3年間を通した指導内容に重複している部分を検討する。
- ⑤ 4領域8能力を評価する方法の開発
- ⑥ 保護者の方の当事者意識を高める取組みの推進
- ⑦ 地域の企業及び諸団体との連携の充実
職場体験での生徒の変容等を分かりやすく広報すること、職場体験マニュアルの充実を図る。

C

学習の意義についての意識変化



【課題】

- ① 「授業が分からない」と回答している生徒が約2割おり、学習の習慣化と授業改善を行う必要がある。
- ② 体験学習における目標などの意識化を更に深めるために、教科等の有機的な関連を見直す必要がある。

D

体験的な学習活動の学習プログラムの実施上の留意点（改善のポイント）

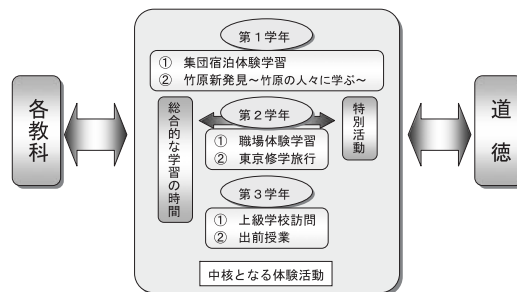
① 教科等間の有機的な関連

学習指導要領等をもとに、「キャリア発達に関わる諸能力」8つのうち、教科等で培う資質能力と関連させて、重点的に指導する能力を決めて指導する。

4領域	8能力	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健	技術	英語	道徳	総合	特活
人間関係形成能力	自他の理解能力	○				○			○	○	○	○	○
	コミュニケーション能力	◎				◎	○	◎	◎	○	○	○	○
情報活用能力	情報収集・探索能力		○	○	◎							○	○
	職業理解能力											○	○
将来設計能力	役割把握・認識能力		○						◎			○	○
	計画実行能力						◎					○	○
意思決定能力	選択能力		◎				○					○	○
	課題解決能力			◎	○		○					○	○

② 中核となる体験活動の設定

教科・総合的な学習の時間・道徳の時間・特別活動（学級活動・学校行事）を中核とする体験活動を媒介にして有機的に関連させる。

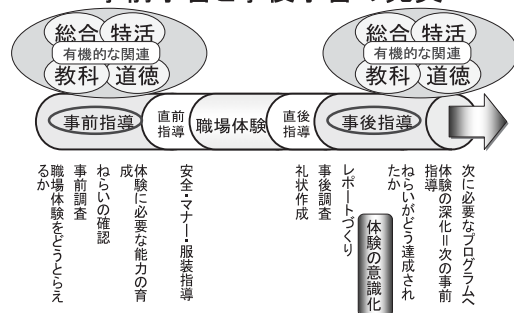


③ 体験活動の事前・事後指導の充実

体験的な活動を一過性の活動にせず、その後の子どもの生活や意識の変容に十分つなぐため、明確な目標のもとに、事前指導において体験活動の意義をしっかりと理解させる。

また、事後にまとめの話し合い、発表会等を計画したりするなど、事前・事後指導の充実を図る。

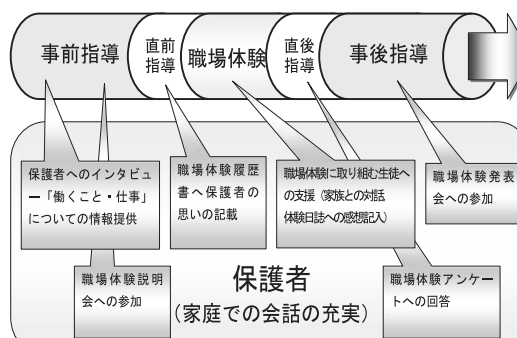
事前学習と事後学習の充実



④ 保護者の当時者意識の高揚

保護者は生徒の親であり、時には体験先事業所等の経営者や従業員でもある。

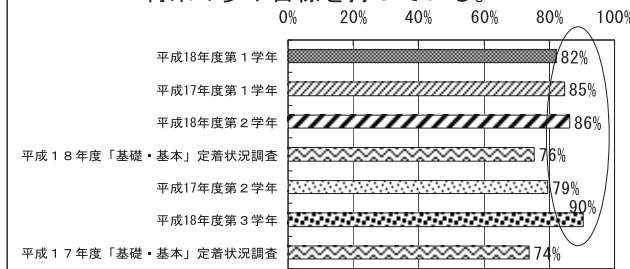
キャリア教育を進めていく際、保護者に当事者意識を持って学校と一緒に生徒への指導にかかわっていただいている。



C

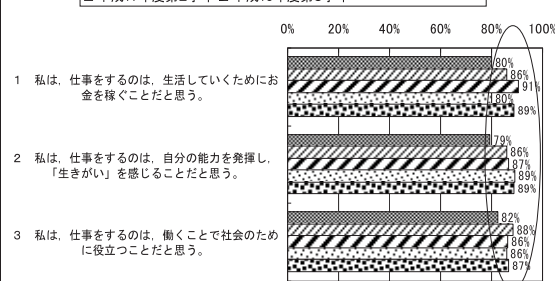
生徒を対象に実施したアンケート結果

将来の夢や目標を持っている。



働く意義についての意識変化

■ 平成18年度第1学年 □ 平成17年度第1学年 ■ 平成18年度第2学年
□ 平成17年度第2学年 ■ 平成18年度第3学年



【成果】

- ① 学習の意義及び働く意義についての理解が深まり、学習意欲が向上した生徒が増加した。
- ② 自己理解が深まり、将来への夢や目標を多くの生徒が持つようになった。

研究テーマ

「食・生命」を基盤にした、キャリア教育の学習プログラムの開発

P

生徒の実態

自立して生きたい、社会に貢献したいなど、前向きな生き方を志向する生徒が多い反面、半数の生徒は、進路実現のための準備を計画的に進めたり、将来就きたい仕事内容について十分に理解したりすることができていない。
（「進路成熟尺度」より）

分析

目指す生徒像

- ・ 確かな目標
- ・ 主体的な学び
- ・ 豊かな人間性
- ・ たくましい人間力

考察

研究仮説

◎ 交流学习によって育成できると考える資質や能力

【自我理解能力、コミュニケーション能力、課題設定・問題解決能力】

効果的な問答の想定、うまく伝えるための工夫、相手の理解の確認等を行うことで、相手の立場に立ってものごとを考える客観性や総合的な判断力が身に付くだろう。

【職業理解能力】

自ら学ぶ意欲が喚起され、より主体的に専門的な知識や技術の習得を目指すようになり、専門性を活かせる職業に対する関心が高まるだろう。

【役割把握・認識能力、計画実行能力】

取組みへの進行管理や作物・産業動物への管理責任の重要性に気づき、計画性や責任感が身に付くだろう。

整理

キャリア教育の理論的枠組み（東広島市地域）

人間関係形成能力

自我理解能力	コミュニケーション能力
（目標）自己と他者の互いを認め合うことを大切にしていることができる。	（目標）適切なコミュニケーションを図り、豊かな人間関係を築きながら、自己の成長を果たすことができる。
（評価規準）自己の職業的な能力・適性を理解し、それを受け入れて伸ばそうとする。	（評価規準）多様な他者と場に応じた適切なコミュニケーションを図る。

作成

各種諸計画

- キャリア教育全体計画
- 各教科等を関連付けた指導計画（題材系統図）
- 年間指導計画
- 単元計画
- 単元の評価計画
- 学習指導案・教材

A

◎ 課題の解決に向けた方向性

- ・ 目標を達成できなかった生徒への対応（自信を喪失した生徒）

【修正】

- ・ キャリア教育全体計画
- ・ キャリア教育題材系統図
- ・ 各教科を関連付けたキャリア教育学習計画
- ・ キャリア教育の理論的枠組み

D

◎ 交流学习のねらいの設定

① 食べることと生きることは、そのとらえ方について、年齢による違いや男性と女性による違い、地域による違いがほとんど無く、普遍的・共通的な課題といえる。

② 体験活動を通して、生き物を育てることの大変さや生き物の生命をいただいて自分が生きていることの意味について学んだり、感じたりすることで、「生命の尊さ」について自分自身で気づき、考えることができる。

③ 生き物が生まれて育てられるところから、食卓に食材として上ってくるまでを考えることで、職業を通じて、多くの人が自分とかわっていることを学ぶことができる。

勤労観、職業観の育成

- ・ 体験活動を通じて、児童生徒は役割意識や責任感、社会常識や課題意識等を身に付けることができる。
- ・ 異年齢交流を通じて、児童生徒は相手の立場になって考えたり、自分の考えを伝えるための工夫を行ったり、コミュニケーション能力を身に付けることができる。

◎ 異年齢の児童生徒の交流によって「身に付けさせたい能力等」の明確化

○ 教える立場（高校生）

- ・ 下級生のよき模範となるための主体的努力
- ・ 専門性や職業意識（学習意欲）の高まり

主体的な学び
(意欲等)

コミュニケーション能力

○ 学ぶ立場（小・中学生）

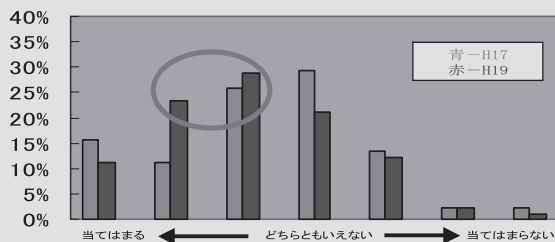
- ・ 上級生を模範とした自己目標の設定
- ・ 学校で学ぶことと社会や身の回りの生活との結び付きの実感

【実施に当たっての留意点】

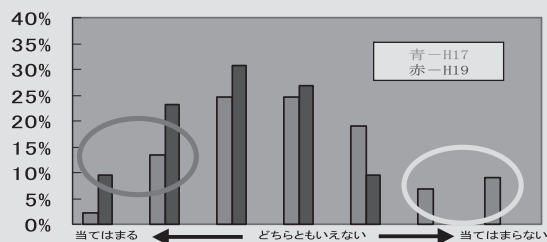
- ◇ 事前・事後指導の充実
「教科」（「総合実習」、「課題研究」等）、特別活動、学校行事等
- ◇ キャリア・カウンセリングに係る教員研修会の開催

C

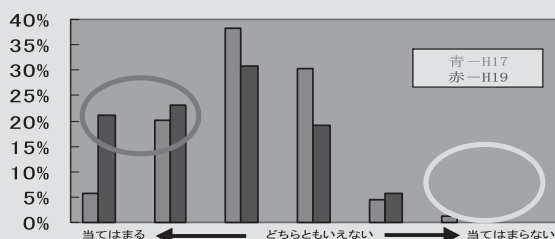
コミュニケーションを通じて、豊かな人間関係を築くことができる



社会で通用するために、しなければならないことを理解している



自己実現のための進路計画を立てることができる



◎ 「進路成熟尺度」の評価・分析 (同じ生徒のH17とH19比較)

【向上した資質や能力】

- ・ 「社会で通用するために、しなければならないことを理解する」
- ・ 「自己実現のために進路計画を立てることができる」
- ・ 「コミュニケーションを通じて、豊かな人間関係を築くことができる」



No.8 キャリア教育の学習プログラムの枠組み例

校種等		保育所・幼稚園 幼稚園部		小学校、小学部		中学校、中学部		高等学校、高等部	
キャリア発達の段階		人間関係形成の時期		進路の探索・選択にかかる基礎形成の時期		現実的探索と暫定的選択の時期		現実的探索・試行と社会的移行準備の時期	
本県におけるキャリア教育を貫く教育活動		人間関係形成の時期		進路の探索・選択にかかる基礎形成の時期		現実的探索と暫定的選択の時期		現実的探索・試行と社会的移行準備の時期	
領域	キャリア発達における諸能力	各段階におけるキャリア発達の系統イメージ・キャリア発達を促す教科・領域の活動例							
人間関係形成能力	自己理解能力	友達といっしょに活動する楽しさを味わう	友達の良いところを認め、助けあおう	話し合いなどに積極的に参加する	自他のよさや個性を理解し尊重する	自己の職業的な能力・適性を理解し、それを生かして伸ばそうとする	感謝・あいさつ・返事をする		
	コミュニケーション能力	友達とぶつかり合いながら、集団での遊びをする	自分の考えをみんなの前で話す	生活科「大きな自分」道徳「役割の自覚」(礼儀)	道徳「協力」「感謝」「個性」、特別活動「学校活動(自分たちのよさを見つけよう)」	道徳「個性の尊重」	協力・信頼する		
	情報収集・探索能力	友達や先生などに自分からあいさつをする	自分の考えを分りやすく伝える	生活科「大きな自分」道徳「役割の自覚」(礼儀)	道徳「協力」「感謝」「個性」、特別活動「学校活動(自分たちのよさを見つけよう)」	道徳「個性の尊重」	協力を促す		
情報活用能力	情報収集・探索能力	地域に親しむを持つ	身近な職業があることが分かる	身近な産業、職業の様子が分かる	生き方や進路に関する情報を収集・整理し、活用する	卒業後の進路や職業・産業の動向について、多面的に情報を収集し検討する	場面や目的に応じたコミュニケーションを図る		
	職業理解能力	地域の身近な人や社会、自然に興味を持つことができる	生活科「身近な人々との接し方」「地域の人の仕事調べ」総合的な学習の時間「地域の文化を知る」	生活科「身近な人々との接し方」「地域の人の仕事調べ」総合的な学習の時間「地域の文化を知る」	社会科「地域調査」特別活動「体験入学」「卒業生の話を聞く会」「学校図書館の利用」	キャリアセミナー(キャリア・アドバイザーの活用)就業体験(インターンシップ)大学・短大等の見学企業訪問、大学の研究室等の訪問	他者に配慮しながら、積極的に人間関係を築こうとする		
	役割把握・認識能力	自分のことを自分で決める	自分の役割や役割の必要性が分かる	互いの役割や役割の必要性が分かる	仕事における役割の関連性や変化に気づく	様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の生き方を考える	個人の社会的役割や責任を理解し、役割を果たす		
将来設計能力	計画実行能力	物事をやりとりげようとする	決めたことを実行する	将来の夢や希望をもつ	将来のことを考える	職業についての総合的な理解に基づいて将来の夢や希望をもつ	職業についての総合的な理解に基づいて将来の夢や希望をもつ		
	選択能力	自分で決めようとする	自分で決めようとする	自分で決めようとする	自分で決めようとする	自分で決めようとする	職業についての総合的な理解に基づいて将来の夢や希望をもつ		
	意思決定能力	課題設定・課題解決能力	課題設定・課題解決能力	課題設定・課題解決能力	課題設定・課題解決能力	課題設定・課題解決能力	課題設定・課題解決能力		

※特別支援学校の各学部では、上記の活動例を踏まえ幼児児童生徒一人一人の「個別の指導計画」を作成し指導しますが、高等部ではさらに自立と社会参加をめざした「個別の移行支援計画」を作成し指導します。

No.9 児童生徒対象アンケート例（１）（大竹市地域）

特 徴

- 地域の中で、小・中・高等学校で質問のテーマを統一した。
- 保護者に対しても同時にアンケートを実施し、学校と家庭とでキャリア教育を推進した。

【アンケート対象】

小 学 校：玖波小学校・小方小学校・大竹小学校の３年生以上の児童（各学年とも約２６０名ずつ）

中 学 校：玖波中学校・小方中学校・大竹中学校の全校生徒（各学年とも約２４０名ずつ）

高等学校：大竹高等学校の全校生徒（各学年とも約１５０名ずつ）

保 護 者：上記アンケート対象とした小中高校生の保護者。

ただし、小方小学校については１，２年生の保護者も対象とした。（約１６００世帯）

【アンケートの方法】

○小学生用では設問１２以降，中学生用・高校生用では設問１１以降は自由記述。

○保護者用では設問１５は６つの選択肢から選択，設問１６については該当学年に○印を付ける。

＜数字で答えるときの選択群＞

- ４：かなりあてはまる
- ３：どちらかといえばあてはまる
- ２：あまりあてはまらない
- １：ほとんどあてはまらない

【アンケートの内容】

小学生用（１～１１番までの質問には、最も答えに近いものの数字を書いてください。）

No.	質 問	回答欄
1	自分にはよいところがある。	
2	自分から進んであいさつをする。	
3	お世話してくれたり，自分を助けてくれたりした人に感謝の気持ちがもてる。	
4	話し合いなどに進んで参加する。	
5	友達と協力して学習や活動をする。	
6	身近で働く人々に興味・関心をもっている。	
7	係や当番の仕事に進んで取り組む。	
8	自分にわりあてられた仕事はやりとげる。	
9	将来の夢や希望を持っている。	
10	やりたいことや自分に出来そうなことに進んで取り組む。	
11	自分で決めたことを最後までやり通す。	
12	あなたは将来どんな仕事につきたいですか。	
＜自由に書いてください＞		
13	どうしてそう思うのですか。その理由を書いてください。	
＜自由に書いてください＞		

中学生用（１～１０番までの質問には、最も答えに近いものの数字を書いてください。）

No.	質 問	回答欄
1	自分には良いところがある。	
2	あいさつができる。	
3	自分と違う意見を受け入れながら、自分の考えを話すことができる。	
4	友達と協力して学級や学校の仕事をするができる。	
5	働くことに興味を持っている。	
6	進路に関する情報を集めたり、調べたりしようとしている。	
7	いろいろな仕事の社会的役割や意義がわかり、自分の生き方を考えようとしている。	
8	将来の夢を持ち、自分にふさわしい職業への関心がある。	
9	自分の個性や興味・関心を生かした進路を選択しようとしている。	
10	課題に積極的に取り組み、主体的に解決しようとしている。	
11	あなたは将来どんな仕事につきたいと思いますか。	
<自由に書いてください>		
12	なぜそう思うのですか。理由を書いてください。	
<自由に書いてください>		
13	その仕事につくために何か努力していることがあれば書いてください。	
<自由に書いてください>		

高校生用（１～１０番までの質問には、最も答えに近いものの数字を書いてください。）

No.	質 問	回答欄
1	自分には良いところや頑張っているところがあると思う。	
2	場面に応じた挨拶が、自ら進んでできる。	
3	自分と違う意見を受け入れながら、自分の考えを適切に伝えることができる。	
4	他者と協力して仕事（過程、地域、学校などで）をすることができる。	
5	自ら働くことに興味を持っている。	
6	進路に関する情報を集めたり、調べたりしている。	
7	いろいろな仕事の社会的役割や意義がわかり、自分の生き方を考えている。	
8	将来設計の中で、自分にふさわしい職業への関心がある。	
9	自分の能力・個性や興味・関心を生かした進路を選択しようとしている。	
10	自ら探し出した課題に積極的に取り組み、主体的に解決しようとしている。	
11	あなたは将来どんな仕事に就きたいと思いますか。	
<自由に書いてください>		
12	なぜそう思うのですか。理由を書いてください。	
<自由に書いてください>		
13	その仕事に就くために何か努力していることがあれば書いてください。	
<自由に書いてください>		

保護者用（１～１４番までの質問には、最も答えに近いものの数字を書いてください。）

No.	質 問	回答欄																																																																																																														
1	子どもの得意なことを知っている。																																																																																																															
2	子どもの将来つきたい職業を知っている。																																																																																																															
3	子どもは自分の長所を知っている。																																																																																																															
4	子どもの長所を認めている。																																																																																																															
5	子どもはその場に応じた適切な話ができる。																																																																																																															
6	子どもには、自分の悩みを相談できる相手がいる。																																																																																																															
7	子どもはよく家の手伝いをする。																																																																																																															
8	子どもと将来の夢についてよく話をする。																																																																																																															
9	親の夢や趣味について話をしている。																																																																																																															
10	子どもとよく話をしている。																																																																																																															
11	親の仕事の内容について話をしている。																																																																																																															
12	子どもと一緒に本を読んでいる。																																																																																																															
13	将来の職業については子どもが決めればよい。																																																																																																															
14	将来、ついで欲しい職業がある。																																																																																																															
<自由に書いてください>																																																																																																																
15	子どもを将来、どの学校まで進ませたいですか。																																																																																																															
①高等学校まで ②専門学校・専修学校まで ③短期大学・高等専門学校まで ④４年生大学まで ⑤大学院まで ⑥その他（具体的に																																																																																																																
16	次の事項はいつ頃子どもに身につきましたか。該当する学年を○で囲みましょう。 (当てはまる学年に○を付けてください)																																																																																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="6">小学校（ ）年生</th> <th colspan="3">中学校（ ）年生</th> <th colspan="3">高等学校（ ）年生</th> <th rowspan="2">身に付いていない</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①忘れ物をしない</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>②あいさつをすすんでする</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>③時間を守る</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>④丁寧な言葉遣いをする</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>⑤整理整頓ができる</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>⑥物を大切にする</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </tbody> </table>		小学校（ ）年生						中学校（ ）年生			高等学校（ ）年生			身に付いていない	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	①忘れ物をしない														②あいさつをすすんでする														③時間を守る														④丁寧な言葉遣いをする														⑤整理整頓ができる														⑥物を大切にする														
	小学校（ ）年生						中学校（ ）年生			高等学校（ ）年生			身に付いていない																																																																																																			
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3																																																																																																				
①忘れ物をしない																																																																																																																
②あいさつをすすんでする																																																																																																																
③時間を守る																																																																																																																
④丁寧な言葉遣いをする																																																																																																																
⑤整理整頓ができる																																																																																																																
⑥物を大切にする																																																																																																																

No.9 児童対象アンケート例(2) (竹原市立竹原小学校)

このアンケートは、あなたがこれからの進路や将来の仕事について、ふだんどのように考えているかを知り、適切なアドバイスなどに生かすためのものです。この結果は、学校の学習成績などには全くかわりありませんので、あなたの思うとおりに答えてください。

※次の文章をよく読んで、自分の気持ちや考えにもっとよくあてはまるものの数字を一つ選んで、○でかこんでください。

5：非常によくあてはまる 4：かなりあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：ほとんどあてはまらない

N0	項 目	評 価
1	私は、生きがいのある生活を送りたいと思う。	5－4－3－2－1
2	私は、自分の将来について、いろいろな計画を立てている。	5－4－3－2－1
3	私は、これから先の進路をまだ決めていない。	5－4－3－2－1
4	私は、自分の力で、自立した生き方をしたいと思う。	5－4－3－2－1
5	私は、将来の計画をしっかり立てている。	5－4－3－2－1
6	私は、これからの進路について、よく考えている。	5－4－3－2－1
7	私は、自分のいろいろな能力を十分に生かしたいと思う。	5－4－3－2－1
8	私は、希望する職業につくために、特別な勉強や準備をしている。	5－4－3－2－1
9	私は、どんな生き方がよいのか、よく分からない。	5－4－3－2－1
10	私は、自分の人生をもっとすばらしいものにしたいと思う。	5－4－3－2－1
11	私は、はっきりとした将来の目標を持っている。	5－4－3－2－1
12	私は、自分がこれからのように生きていくのか、よく分からない。	5－4－3－2－1
13	私は、自分が本当に満足できる仕事につきたいと思う。	5－4－3－2－1
14	私は、将来つきたい仕事、自分に向いているかどうかを検討している。	5－4－3－2－1
15	私は、自分のこれからの進路を、自分で決めていく自信がある。	5－4－3－2－1
16	私は、自分の得意なことをもっと伸ばしたいと思う。	5－4－3－2－1
17	私は、将来の仕事や職業について、いろいろと考えている。	5－4－3－2－1
18	私は、こういう仕事をしたいという希望を持っている。	5－4－3－2－1
19	私は、人間的に成長したいと思う。	5－4－3－2－1
20	私は、将来つきたいと思っている仕事の内容をよく理解している。	5－4－3－2－1

実施日：平成 年 月 日 (年 組 番 氏 名)

※次の文章をよく読んで、自分の気持ちや考えにもっとよくあてはまるものの数字を一つ選んで、○でかこんでください。

5：非常によくあてはまる 4：かなりあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：ほとんどあてはまらない

N0	項 目	評 価
21	私は、自分の将来の生き方について、よく考えている。	5－4－3－2－1
22	私は、自分の仕事や職業を通して、多くの人々に認められたいと思う。	5－4－3－2－1
23	私は、自分がどんな仕事をしたいのか、よく考えている。	5－4－3－2－1
24	私は、どんな仕事につくかは、その時になってから決めればよいと思う。	5－4－3－2－1
25	私は、世の中や社会のために役立つ人間になりたいと思う。	5－4－3－2－1
26	私は、自分が本当にやってみたい仕事があるのか、よく分かっている。	5－4－3－2－1
27	私は、これからの進路について、今はまだ考えたくない。	5－4－3－2－1
28	私は、自分の仕事や職業を通して、価値のあることをやり上げたいと思う。	5－4－3－2－1
29	私は、自分にあった生き方を見つけている。	5－4－3－2－1
30	私は、自分の将来の仕事や職業を決めることに、不安を感じていない。	5－4－3－2－1
31	私は、働くことをおして、社会の役に立ちたいと思う。	5－4－3－2－1
32	あなたは将来どんな職業につきたいですか。(あなたのなりたい職業は何ですか。)	
33	どうしてそう思うのですか。その理由を書いてください。	

No.9 生徒対象アンケート例(3) (竹原市立竹原中学校)

このアンケートは、あなたがこれからの進路や将来の仕事について、ふだんどのように考えているかわかり、適切なアドバイスなどに生かすためのものです。この結果は、学校の学習成績などには全くかわりありませんので、あなたの思うとおりに答えてください。

※次の文章をよく読んで、自分の気持ちや考えにもっともよくあてはまるものの数字を一つ選んで、○でかこんでください。

5：非常によくあてはまる 4：かなりあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：ほとんどあてはまらない

N0	項 目	評 価
1	私は、生きがいのある生活を送りたいと思う。	5－4－3－2－1
2	私は、自分の将来について、いろいろな計画を立てている。	5－4－3－2－1
3	私は、これから先の進路をまだ決めていない。	5－4－3－2－1
4	私は、自分の力で、自立した生き方をしたいと思う。	5－4－3－2－1
5	私は、将来の計画をしっかり立てている。	5－4－3－2－1
6	私は、これからの進路について、よく考えている。	5－4－3－2－1
7	私は、自分のいろいろな能力を十分に生かしたいと思う。	5－4－3－2－1
8	私は、希望する職業につくために、特別な勉強や準備をしている。	5－4－3－2－1
9	私は、どんな生き方がよいのか、よく分からない。	5－4－3－2－1
10	私は、自分の人生をもっとすばらしいものにしたいと思う。	5－4－3－2－1
11	私は、はっきりとした将来の目標を持っている。	5－4－3－2－1
12	私は、自分がこれからどのように生きていくのか、よく分からない。	5－4－3－2－1
13	私は、自分が本当に満足できる仕事にしたいと思う。	5－4－3－2－1
14	私は、将来つきたい仕事、自分に向いているかどうかを検討している。	5－4－3－2－1
15	私は、自分のこれからの進路を、自分で決めていく自信がある。	5－4－3－2－1
16	私は、自分の得意なことをもっと伸ばしたいと思う。	5－4－3－2－1
17	私は、将来の仕事や職業について、いろいろと考えている。	5－4－3－2－1
18	私は、こういう仕事をしたいという希望を持っている。	5－4－3－2－1
19	私は、人間的に成長したいと思う。	5－4－3－2－1
20	私は、将来つきたいと思っている仕事の内容をよく理解している。	5－4－3－2－1

実施日：平成 年 月 日 (年 組 番 氏名)

※次の文章をよく読んで、自分の気持ちや考えにもっともよくあてはまるものの数字を一つ選んで、○でかこんでください。

5：非常によくあてはまる 4：かなりあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：ほとんどあてはまらない

N0	項 目	評 価
21	私は、自分の将来の生き方について、よく考えている。	5－4－3－2－1
22	私は、自分の仕事や職業を通して、多くの人々に認められたいと思う。	5－4－3－2－1
23	私は、自分がどんな仕事をしたいのか、よく考えている。	5－4－3－2－1
24	私は、どんな仕事につくかは、その時になってから決めればよいと思う。	5－4－3－2－1
25	私は、世の中や社会のために役立つ人間になりたいと思う。	5－4－3－2－1
26	私は、自分が本当にやってみたい仕事は何なのか、よく分かっている。	5－4－3－2－1
27	私は、これからの進路について、今はまだ考えたくない。	5－4－3－2－1
28	私は、自分の仕事や職業を通して、価値のあることをやり上げたいと思う。	5－4－3－2－1
29	私は、自分にあった生き方を見つけている。	5－4－3－2－1
30	私は、自分の将来の仕事や職業を決めることに、不安を感じていない。	5－4－3－2－1
A	あなたは、「なぜ働くのですか?」と聞かれたとき、どう答えますか。	
B	あなたは、「なぜ勉強するのですか?」と聞かれたとき、どう答えますか。	
C	あなたは将来どんな職業につきたいですか (あなたのなりたい職業は何ですか。)	
D	上のCの答えについて、どうしてそう思うのですか。その理由を書いてください。	

No.9 生徒対象アンケート例 (3) (竹原市立竹原中学校)

※次の文章をよく読んで、自分の気持ちや考えにもっともよくあてはまるものの数字を一つ選んで、○でかこんでください。

4 : とてもよくあてはまる 3 : 少しあてはまる 2 : あまりあてはまらない 1 : まったくあてはまらない

NO	項 目	評 価
31	私は、家で決められた「手伝い」をしている。	4 - 3 - 2 - 1
32	私は、家の人と仕事や将来の夢について話している。	4 - 3 - 2 - 1
33	私は、将来、仕事をするために学習している。	4 - 3 - 2 - 1
34	私は、自分の夢を叶えるために学習している。	4 - 3 - 2 - 1
35	私は、4月の学年はじめより今の方が、教科を学習しようという気持ちが強い。	4 - 3 - 2 - 1
36	私は、中学校で教科を学習していることは将来役に立つと思っている。	4 - 3 - 2 - 1
37	私は、仕事をするのは、生活していくためにお金を稼ぐことだと思う。	4 - 3 - 2 - 1
38	私は、仕事をするのは、自分の能力を発揮し、「生きがい」を感じることだと思う。	4 - 3 - 2 - 1
39	私は、仕事をするのは、働くことで社会のために役立つことだと思う。	4 - 3 - 2 - 1
40	私は、今までを振り返ってみて、4月の学年はじめより、自分のこと(自分のよさ・自分がやりたいこと・自分ができることなど)がよく分かるようになった。	4 - 3 - 2 - 1
	今までを振り返ってみて、自分の進路について考えるとき、 <u>もっとしてほしかった内容</u> について教えてください。 (2 : もっとしてほしかった, 1 : 今のままでよい)	
41	自分の個性や適性を考える学習(自分の長所や何に向いているか等の学習)	2 - 1
42	進路選択の考え方や方法(進路を選ぶ時大切にすることや進路の選び方の学習)	2 - 1
43	進路に関する情報の入手方法とその利用の仕方(高等学校や仕事についての情報の集め方や使い方の学習)	2 - 1
44	上級学校の教育内容や特色(高等学校、高等専門学校等の特色や学校の様子を知る学習)	2 - 1
45	将来の生き方や人生設計(自分は将来どのように生きていくかの学習)	2 - 1
46	学ぶことや働くことの意義や目的(なぜ学ぶのか、なぜ働くのかを知る学習)	2 - 1
47	産業や職業の種類や内容(仕事の種類や内容についての学習)	2 - 1
48	進路相談の仕方や内容(学級担任や進路担当の教員と進路について考えたり、進路したい高等学校や仕事についての相談)	2 - 1
49	教科の学習の仕方(各教科の復習や予習の方法や定期試験等への学習の仕方)	2 - 1

＜販売実習に関するアンケート＞

アンケートに協力してください。

(評価者の欄は、該当する項目に○印を付けてください。)

4 : よくわかった 3 : ややわかった 2 : あまりわからなかった 1 : まったくわから

※今回の販売実習企画「バンブーSHOP」に参加して、考えたこと、むずかしかったこと、楽しかったことなどを書いてください。

[illegible]

No.9 生徒対象アンケート例(5) (竹原高等学校)

このアンケートは、あなたがこれからの進路や将来の仕事について、ふだんどのように考えているかわかり、適切なアドバイスなどに生かすためのものです。この結果は、学校の学習成績などには全くかわりありませんので、あなたの思うとおりに答えてください。

※次の文章をよく読んで、自分の気持ちや考えにもっともよくあてはまるものの数字を一つ選んで、○でかこんでください。

5：非常によくあてはまる 4：かなりあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：ほとんどあてはまらない

N0	項 目	評 価
1	私は、生きがいのある生活を送りたいと思う。	5－4－3－2－1
2	私は、自分の将来について、いろいろな計画を立てている。	5－4－3－2－1
3	私は、これから先の進路をまだ決めていない。	5－4－3－2－1
4	私は、自分の力で、自立した生き方をしたいと思う。	5－4－3－2－1
5	私は、将来の計画をしっかり立てている。	5－4－3－2－1
6	私は、これからの進路について、よく考えている。	5－4－3－2－1
7	私は、自分のいろいろな能力を十分に生かしたいと思う。	5－4－3－2－1
8	私は、希望する職業につくために、特別な勉強や準備をしている。	5－4－3－2－1
9	私は、どんな生き方がよいのか、よく分からない。	5－4－3－2－1
10	私は、自分の人生をもっとすばらしいものにしたいと思う。	5－4－3－2－1
11	私は、はっきりとした将来の目標を持っている。	5－4－3－2－1
12	私は、自分がこれからどのように生きていくのか、よく分からない。	5－4－3－2－1
13	私は、自分が本気で満足できる仕事につきたいと思う。	5－4－3－2－1
14	私は、将来つきたい仕事、自分に向いているかどうかを検討している。	5－4－3－2－1
15	私は、自分のこれからの進路を、自分で決めていく自信がある。	5－4－3－2－1
16	私は、自分の得意なことをもっと伸ばしたいと思う。	5－4－3－2－1
17	私は、将来の仕事や職業について、いろいろと考えている。	5－4－3－2－1
18	私は、こういう仕事をしたいという希望を持っている。	5－4－3－2－1
19	私は、人間的に成長したいと思う。	5－4－3－2－1
20	私は、将来つきたいと思っている仕事の内容をよく理解している。	5－4－3－2－1

実施日：平成 年 月 日 (年 組 番 氏 名)

※次の文章をよく読んで、自分の気持ちや考えにもっともよくあてはまるものの数字を一つ選んで、○でかこんでください。

5：非常によくあてはまる 4：かなりあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：ほとんどあてはまらない

N0	項 目	評 価
21	私は、自分の将来の生き方について、よく考えている。	5－4－3－2－1
22	私は、自分の仕事や職業を通して、多くの人々に認められたいと思う。	5－4－3－2－1
23	私は、自分がどんな仕事をしたいのか、よく考えている。	5－4－3－2－1
24	私は、どんな仕事につくかは、その時になってから決めればよいと思う。	5－4－3－2－1
25	私は、世の中や社会のために役立つ人間になりたいと思う。	5－4－3－2－1
26	私は、自分が本当にやってみたい仕事は何なのか、よく分かっている。	5－4－3－2－1
27	私は、これからの進路について、今はまだ考えたくない。	5－4－3－2－1
28	私は、自分の仕事や職業を通して、価値のあることをやりとげたいと思う。	5－4－3－2－1
29	私は、自分にあった生き方を見つけている。	5－4－3－2－1
30	私は、自分の将来の仕事や職業を決めることに、不安を感じていない。	5－4－3－2－1
31	私は、働くことをとおして、社会の役に立ちたいと思う。	5－4－3－2－1
32	あなたは将来どんな職業につきたいですか。(あなたのなりたい職業は何ですか。)	
33	どう思うのですか。その理由を書いてください。	

テーマ

「食・生命」を基盤にした、小・中・高等学校の発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育の学習プログラムの開発

課題

地域子どもたちは、夢の実現に向けて自主的・計画的に取り組むなど、自分がしなければいけないことを自分の力で解決する能力が不足している傾向にある

地域の特徴

- ・都市近郊農業が盛ん
- ・農作物（食）に関する代表的な企業・団体
穀類加工機総合メーカー、
農業協同組合、酒造業等
- ・広島大学、近畿大学工学部等の高等教育機関

従来からの取り組み

- 小学校
 - ・地域農産物の生産・販売活動の見学、国際交流センターと連携した英語教育
- 中学校
 - ・「和文化研究」キャリア・アドバイザー活用
- 高等学校
 - ・市民農園、キッズ・ファーマーズ等の実施、SPP事業、共同研究等の高大連携

職業を持つ社会人として自立して行くために必要な勤労観、職業観等に結び付く資質や能力の育成

子ども像

小学校

- ・進んで学ぶ子ども
- ・あいさつができる子ども
- ・健康な子ども

中学校

- ・主体的な学び
- ・豊かな心、人間性、思いやり
- ・健やかな体力、気力

高等学校

- ・確かな目標
- ・主体的な学び
- ・豊かな人間性
- ・たくましい人間力

(1)組織的・系統的なキャリア教育を行うためのキャリア教育の学習プログラムの開発

- 「食と生命」を題材にした交流学习に係る学習プログラムの作成

小学校部：小・高連携「サルビアの栽培」「産業動物とのふれあい」「食育」「将来の夢」

中学校部：中・高連携「ダイズの栽培、加工、調理」

- ・人間関係形成能力、将来設計能力の育成
- ・職業理解能力、課題解決能力の育成

(2)関係機関との連携によるキャリア教育推進のためのシステムづくり

- キャリア・アドバイザーの活用事例集の作成
- 児童生徒の職場体験、インターンシップの受入れシステムの構築
- ・東広島市「わくわく・ワーク・体験ウィーク（キャリア・スタート・ウィーク）」との連携

(3)教員の資質向上を図る取り組み

- 小・中・高等学校合同の研修会の開催
- 各校における研修会の開催
 - ・キャリア教育の意義、キャリア・カウンセリングについて
 - ・交流授業に係る学習指導案・教材の開発について（事前・事後を含む）

(4)保護者・企業等への啓発

- 保護者・地域の方を対象とした啓発用の東広島市地域版キャリア教育リーフレットの作成
- 保護者対象のキャリア教育に係る講演会・PTA研修会の開催
- 地元広報紙・学校ホームページ等を活用した広報・啓発活動

県北中山間地域の特色を生かした小・中・高等学校の発達段階に応じた系統的な体験活動の学習プログラムの実践と改善
～西城町を誇りに思い、西城町を愛し、西城町に貢献できる児童生徒の育成を目指して～

目標

小学校から高等学校までの統一した目指す子ども像を「地域での学びをもとに、夢をもち、自己実現していく児童生徒」とし、これに基づき小・中・高等学校間の連続性や一貫性を考慮した学習プログラムを開発する。

地域からの学びを大事にした活動を、学校単独でも、学校間連携活動でも進めていく。

アンケート結果や地域性などを考慮し、児童生徒のコミュニケーション能力の育成、児童生徒の職業理解能力の育成、児童生徒の情報収集・探索能力の育成の三つを重点課題とする。

子ども像

小学校

地域を生かした「ひと」「もの」「こと」に関心をもち、触れ合い、将来の夢や希望をもつ

中学校

地域での体験を生かし、職業・勤労についての理解を深め、将来の職業人に向けた夢や目標をもつ

高等学校

地域での体験を生かし、将来の職業人に向けた夢や目標をより確かなものとし、就業・勤労に対する意欲をもつ

(1) 組織的・系統的なキャリア教育を行うためのキャリア教育の学習プログラムの開発

学校間交流や地域交流を中心とした児童生徒のコミュニケーション能力育成や、重点課題にかかわる学習プログラムの作成 ○小・中交流、小・高交流、中・高交流 ○職場見学、職場体験、インターンシップ

○小学校：総合的な学習「名人に学ぼう」、道徳「郷土愛」

○中学校：道徳「自分を見つめ直そう」、総合的な学習「主体性と人との関わり」

○高等学校：総合的な学習「高齢者大学との交流」 特別活動「地域でのボランティア活動」

(2) 関係機関との連携によるキャリア教育推進のためのシステムづくり

○キャリア・アドバイザーの活用状況の整理 ※「西城お宝バンク」「活用事例集」作成

○児童生徒の円滑な職場見学、職場体験、インターンシップ の受入れシステムの構築

※「庄原市西城地域の企業・ハローワーク との連携」

(3) 教員の資質向上を図る取組み

○小・中・高等学校合同の研修会の開催

○各校における研修会の開催

・キャリア教育の意義について

・キャリア・カウンセリングについて

・体験的な活動に係る学習指導案・教材の開発について（事前・事後を含む）

(4) 保護者・企業等への啓発

○保護者・地域の方を対象とした啓発用の「ヒバゴン通信」作成・HPの掲載

○西城地域キャリア教育成果発表会の開催

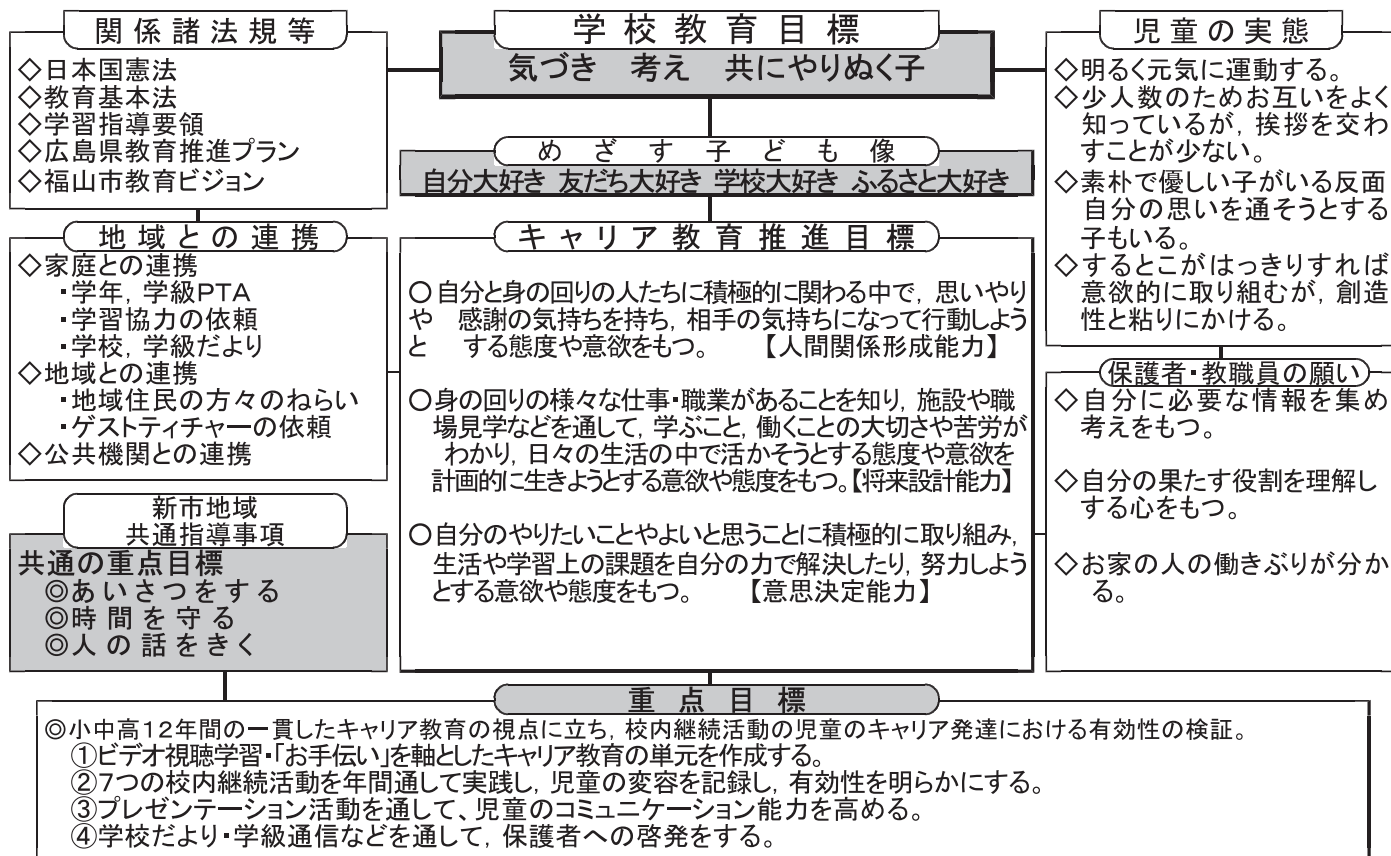
○保護者対象のキャリア教育に係る講演会・PTA 研修会の開催

(大竹市地域)

[illegible]

No.11 キャリア教育の学習プログラムの枠組み例（2）（福山市新市地域）									
領域	低学年			中学年			高学年		
	校理等			小・中学校			高等学校		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
人間関係形成能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
職業理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
自己理解能力	キャリア発達段階			キャリア発達段階			キャリア発達段階		
	キャリア発達段階			キャリア発達段階					

No.12 キャリア教育全体計画例（１）（福山市立常金丸小学校）



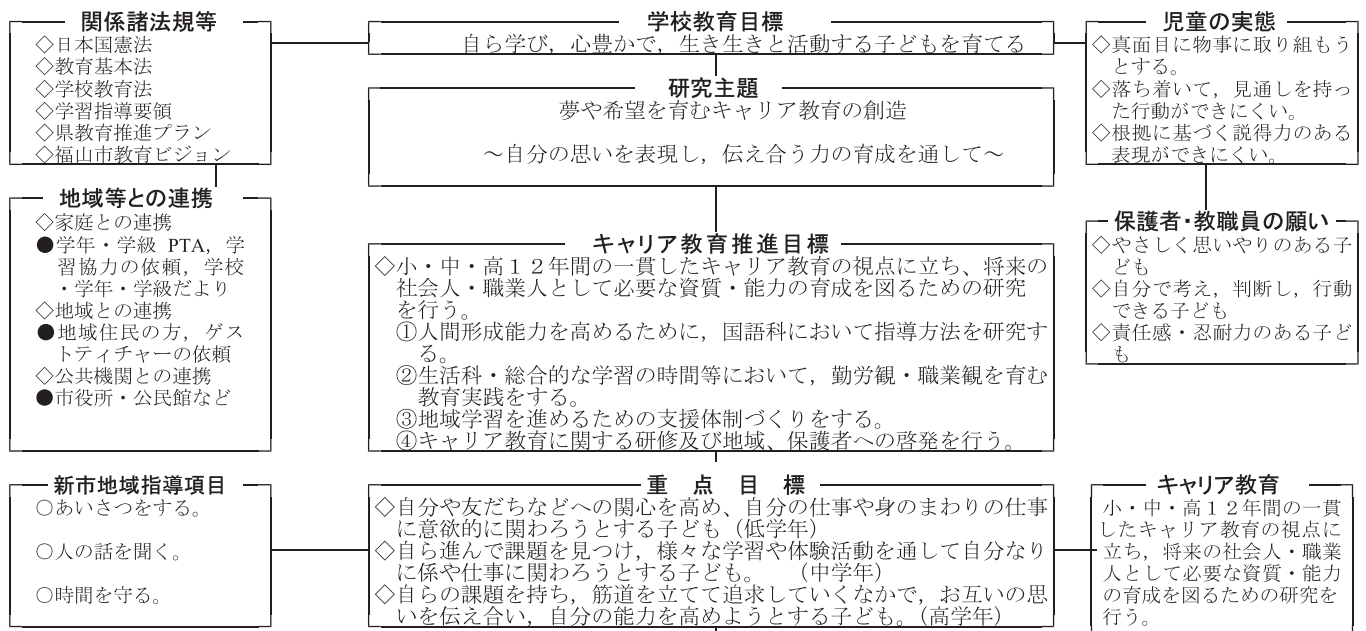
各教科	道徳	特別活動	総合的な学習	その他教育活動
◎基礎基本の力を身に付け、学ぶ意欲を高める。	◎よりよい生活を身に付け、きまりを自主的に守ろうとする意欲や態度を養う。	学級活動 ◎学級や学校生活の向上、健全な生活態度の育成を図る。	◎自然体験や社会体験を通じて、豊かな感性と表現力を育てる。	◎たてわり班活動を通して、人とのかわり方を学ばせる。
◎体験的な学習や問題解決的な学習を通して学習課題を発見し追求し課題解決をする能力を育てる。	◎思いやりの心を持ち、互いに信頼し協力し合おうとする態度を養う。	◎学級の一員として、自己の果たす役割への認識を深める。	◎進んで人にかかわり、コミュニケーション能力を高める。	◎社会教育施設や地域の施設の活用を通して、体験的な活動を充実させる。
◎お互いの意見を聞き合い、学び合う態度や意欲を育てる。	◎働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知り、公共の役に立とうとする態度を養う。	◎個人や学級の課題に対し、意見を出し合い解決する力を育てる	◎自ら学ぶ意欲と、課題を見つけ追求し、やり遂げようとする態度を育てる。	◎学校全体の通年の活動を通して、公共心の育成を図る。
		学校行事 ◎体験的な活動を行い、全校及び学年の所属感を深める。	クラブ児童会 ◎共通の目的意識をもって自発的、計画的に活動し充実感と達成感を育てる。	
		◎集団行動における望ましい態度や、よりよい生活態度を育てる。	◎学校生活を楽しく豊かにするため、諸問題を解決する実践力を育てる。	
		◎学習の成果を発揮し、学校生活に充実と達成感をもたせる。	◎個性の伸長と、人間関係の大切さを学ばせる。	

校内継続活動		
あいさつ運動（通年活動）	人間関係形成能力	自己理解能力
俳句詠み活動	人間関係形成能力	コミュニケーション能力
トイレスリッパそろえ	将来設計能力	計画実行能力
お手伝い習慣	将来設計能力	役割把握・認識能力
時間を守る力	将来設計能力	計画実行能力
宿題をやりきる力	意思決定能力	選択能力
清掃活動・ごみひろい体験	意思決定能力	課題設定・課題解決能力

キャリア教育の実践の基盤					
●授業づくり 学習規律の確立と児童自らが学び合う問題解決学習に取り組む。	●生活指導 基本的生活習慣の定着を図り、好ましい人間関係の育成と、自己実現をめざす。	●職員研修 教職員の協働体制の確立と校内研修の充実を図る。	●保護者との連携 懇談会の充実及びPTAとの連携を充実する。	●地域からの支援 地域の教育力を生かし、体験学習を充実する。	●学校間の連携 小中高等学校間で連携し、キャリア教育の充実を図る。

No. 12 キャリア教育全体計画例（2）（福山市立戸手小学校）

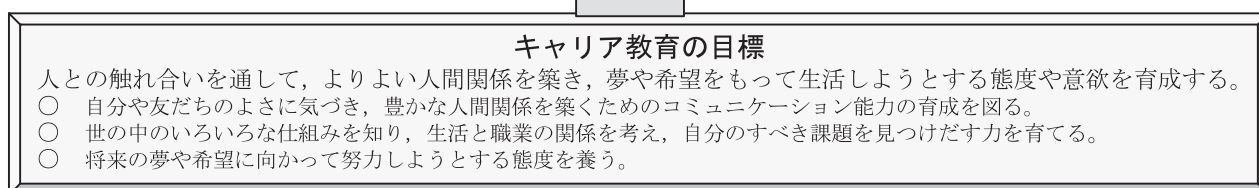
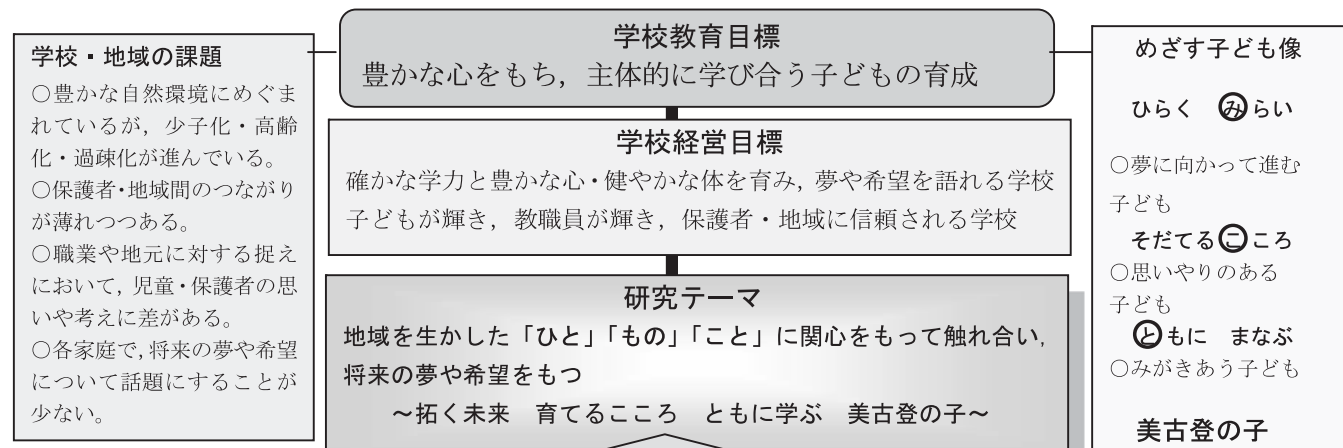
平成19年度 キャリア教育全体計画



	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
目標	◇自分と身近な人々及び地域に関心をもち、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、適切に行動できるようにする。	◇自分と身近な人々及び地域に関心をもち、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、適切に行動できるようにする。	◇自分の生活の場を探索し、地域の人々と出会い、自然や文化について調べる。	◇ゴミや水について学ぶことで、環境を守り、育てていく気持ちを培う。	◇戸手地域を環境と福祉の観点から住みよい町になっているか調べる。	◇校区にある史跡・古墳等の見学を通して、文化を守り伝えることの大切さや、自分の生き方について考えようとする。
テーマ			◇だれもが住みよい町になっているか考えよう	◇環境に学ぼう・守ろう・育てよう。	◇戸手を住みよい町にしよう。	◇わが町・戸手の歴史とくらしを学ぼう。
内容	よろしくね	がんばるぞ2年生		【環境】	【環境】	
単元名	みんなであそぼう	生きものだいすき	【地域】	【地域】	【福祉】	【地域・歴史】
評価の観点	【問題設定能力】	【問題解決能力】	【キャリア教育】	【キャリア教育】	【キャリア教育】	【キャリア教育】
	たのしいこといっぱい	おもいでがいっぱい	【国際理解】	【国際理解】	【国際理解】	【国際理解】
	いろいろなことがあったね		【情報】	【情報】	【情報】	【情報】
			【学習活用能力】			

	国語	社会	家庭科	道徳	学活	行事
各教科等の関連	◇自分の思いや考えが、相手に伝わるように表現する力。	◇さまざまな関心を持ち、進んで調べようとする態度。	◇家庭や人々の生活に関心を持ち、自分のできることをする力。	◇道徳価値の自覚を深め、道徳実践が出来る態度。	◇集団の一員としてさまざまな問題に気付く力。	◇さまざまな活動を通して、他者と関わる力、責任感、自主性をつける。

No.12 キャリア教育全体計画例（3）（庄原市立美古登小学校）



学年指導目標						
低学年		中学年		高学年		
みんなで なかよく		自分や友だちのよさを知ろう		夢や目標の実現に向けて		
○友だちと仲良く遊ぶ。 ○そうじや係の仕事をまじめにする。 ○友だちと協力して活動する。		○自分の考えをもち、友だちの考えのよい点に気づき、認め合う。 ○疑問点について質問したり調べたりして課題を解決し、自分の考えをまとめる。		○思いやりの気持ちをもち、相手の身になって考え行動する。 ○自分の長所や短所に気づき、自分らしさを発揮する。 ○将来の夢や希望をもち、その実現に向けて努力する。		
各領域における指導内容						
各教科	道徳	総合的な学習の時間	特別活動			その他
○各教科の基礎・基本を確実に身につけさせる。 ○主体的に学習課題を見つけて追求し、解決していこうとする能力を育成する。 ○いろいろなことに挑戦し、自分の得意分野を見つけていこうとする態度を養う。 ○自分の課題に対して、粘り強く取り組み解決しようとする態度を養う。 ○「話す」「聞く」という基本的なコミュニケーション能力を育成する。	○道徳的な心情・判断力・実践意欲・態度などの道徳性を培う。 ○働くことに関心を持ち、進んで働く姿勢を養う。 ○夢に向かって努力する人の姿を通して、希望をもち努力することの大切さを感じ取らせる。 ○気持ちのよい挨拶をし、他の人の気持ちを考えた行動をとることで、人間関係を豊かにしようとする態度を養う。	○体験的な活動を通じた出会いから、自らの研究の課題を見つける力を育てる。 ○自らの課題解決のために、いろいろな方法で情報を収集する能力を育成する。 ○情報収集した資料をもとに自分なりの方法でまとめ、分かりやすく伝えるために工夫して表現する力を育てる。 ○学んだことを自らの生活の中で生かそうとする態度を養う。	学級活動	学校行事	児童会活動	○全校での美古登ばやしの演奏を通して、学校の伝統を受け継いでいこうとする態度を養う。 ○学校、家庭、地域の相互理解を深め交流を密にし、協力して教育を進める。 ○保護者や地域の方々等の人材を活用して、地域ぐるみの教育を推進していく。 ○しあわせ館・愛善苑をはじめとする地域の社会施設や福祉施設を活用して、体験的活動を充実させる。
			○学校生活の充実と向上にかかわる活動を通して、進んで課題を解決する態度を養う。 ○学校生活の中で、友だちと温かい人間関係を築こうとする態度を養う。 ○集団生活の中で自己を正しく生かしていこうとする態度を養う。 ○基本的な生活習慣など、日常生活を営むために必要な行動の仕方を身につけさせる。	○体験的な活動を行うことによって、学校生活に秩序と変化を与え、全校及び学級集団への所属感を深めさせる。 ○集団行動における秩序や、協力してよりよい学校生活を送ろうとする態度を養う。 ○日常の学習成果の総合的な発展を図り、学校生活の充実と発展に資する態度を養う。	○学校生活における諸問題を協力して解決し、学校生活の充実と向上に努めようとする態度を養う。 ○異年齢集団における生活を通して、仲間と協力する態度を養う。 ○児童一人一人の、学校生活を豊かにしていこうとする気持ちや実践化に向けての態度を養う。 ○学校生活における仕事や役割を分担することによって自主性と社会性を育てる。	

No.12 キャリア教育全体計画例（４）（大竹市立小方中学校）

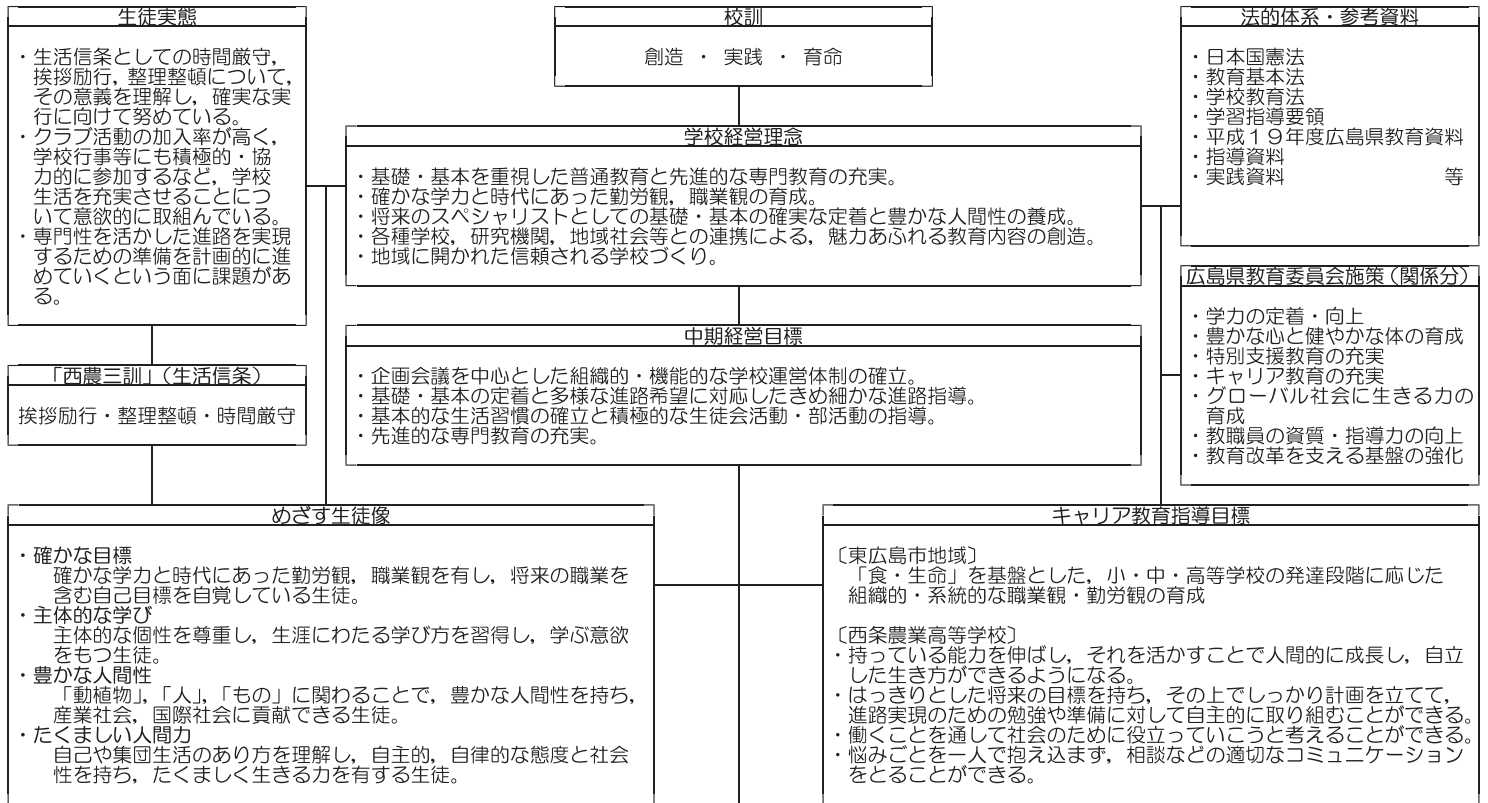
めざす学校 経営理念・中期経営目標『基礎・基本の徹底と人間力を育む教育活動の推進』 当たり前のことを当たり前以上にできる学校づくり 《めざす学校像》 地域に開かれた明るく活力ある学校 学校力の向上 ・自ら学ぶ意欲、思考力、判断力などの「生きる力」を育む学校 ・生き生きと活動し、明るく楽しい学校 ・一人一人を大切に、地域に信頼され開かれた学校			
めざす生徒像 社会性を身につけ、将来の生き方をしっかり考える生徒 人間力の育成 知 価値あるものすべてを学びとろうとする意欲ある生徒 徳 やさしい、豊かな心で自他ともに大切にしている生徒 体 健康でたくましい気力、体力をもつ生徒		めざす教職員像 教育公務員としての自覚を持ち職責を遂行する教職員 教師力の向上 ○ 明るく感性豊かな人間性をもっている教職員 ○ 生徒への教育的愛情と教育への使命感をもっている教職員 ○ 向上心と豊かな見識をもっている教職員	
平成19年度 学校教育目標 確かな学力と豊かな人間性を身に付け、主体的に行動する生徒の育成 ～キャリア教育を視点にした教育活動を通して～ 重点目標 ① 基礎・基本の確実な定着を図る授業づくり ② 安心して生活できる居場所づくり ③ 保護者や地域に開かれた明るく活力のある学校づくり			
生徒、保護者の状況 将来何らかの資格を取得したり、将来何らかの職業につかねばならないという意識は低くはない。自分のよさに気づいたり、自分に自信がある生徒の割合が低い。保護者のキャリア教育に対する期待は比較的高く、学校の教育活動にも協力的である。		平成19年度 キャリア教育の目標 望ましい勤労観・職業観を育成し、主体的な進路選択が出来る資質を身につけさせる。	
平成19年度 進路指導の目標 生き方にかかわる指導を基盤として、互いの個性を尊重しあうなかで、自らの生き方を自覚し、将来を見通した主体的な進路選択を行い、目標に向かって努力する生徒を育成する。			

各 学 年 の 指 導 目 標			
キャリア発達に関わる諸能力と学級活動における進路指導		第1学年	第2学年
		ポップ 《夢を見つかけよう》	ステップ 《夢を大きくくらませよう》
人間関係形成能力	自他の理解能力	○自分の良さや個性がわかり、他者の個性を理解し尊重することを通して、自己を正しく理解する。	○自己を見つめるなかで自他のよさや個性を理解し、相手の意見や立場を尊重して、日々の活動に生かす。
	コミュニケーション能力	○あいさつができる。 ○他者にかかわることができる。 ○新しい環境や人間関係に適応することができる。	○時と場合に応じたあいさつができる。 ○他者に配慮することができる。 ○積極的に人間関係を築こうとする。
学級活動における「進路適性の吟味」		○自分のよさに気づき、伸ばそうという意欲がもてるように、友人の理解を通して自分を知る活動から客観的に自分を知る。	○自分のよさに気づき、伸ばそうという意欲がもてるように、多面的に自分自身をみつめ自分を知る活動から客観的に自分を知る。
情報活用能力	情報収集・探索能力	○大竹市の産業やその仕事を支えている人を知る。 ○生き方や進路に関する情報を調査する方法が分かる。	○生き方や進路に関する情報を様々な方法で調査・収集し活用する。
	職業理解能力	○職業について理解を深める。 ○係・委員会活動で得た課題を知る。	○職場体験を通して、働くことの意義や喜び・苦労などを理解する。
学級活動における「進路情報の活用」		○生き方を学ぶ題材を設定し、地域の社会人や職業人の講話を聞いて情報を得る。	○勤労や奉仕の体験を通して、生き方や進路の多様性を理解する。 ○学ぶ制度と機会、学校調べをして発表する。
学級活動における「望ましい職業観・勤労観の形成」		○様々な職業及び職業生活について理解するために、地域の職業調べを行ったり、職業人や福祉団体関係者の講話を聞く。	○職場体験を通して、働くことの楽しさや厳しさを知り、職業・勤労の目的や意義を理解する。
将来設計能力	役割把握・認識能力	○集団の中での自分の役割が分かる。 ○日常生活や学習と将来の生き方との関係を理解する。	○係や委員会の仕事を積極的に引き受け、自分の役割やその進め方が分かる。 ○様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の生き方を考える。
	計画実行能力	○将来の夢や希望を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への関心・意欲を高める。 ○これまでの自分を振り返り、個人史をつくるとともに、将来の夢や希望を思い描く。	○進路計画を立てる意義や方法を理解し、自分の目指すべき将来を暫定的に計画する。 ○将来の職業や仕事を思い描き、進路計画を立てる。
学級活動における「将来設計」		○自分の個性や興味・関心等に基づいて、よりよい選択をしようとする。	○選択の意味や判断・決定の過程、結果には責任が伴うことなどを理解する。
意思決定能力	選択能力	○生活や学習を振り返る。 ○よりよい生活や学習、進路や生き方等を目指していくことの大切さを理解する。 ○課題に取り組み、解決していくこととする。	○生活や学習を振り返り、次の場面に生かす。 ○よりよい生活や学習、進路や生き方等を目指して、自らの課題を見出していくことの大切さを理解する。 ○課題に積極的に取り組み、解決していくこととする。
	課題解決能力	○人生における進路選択について理解する。	○自らの意志と責任で生き方、進路を選択することを理解する。
学級活動における「主体的な進路選択」			○卒業後の進路選択において、目的や理由の明確化、選択肢の理解、選択の条件や必要な努力についての理解、選択の結果とその受け止め方、選択のためのスキルを学習する。

各教科	道徳	特別活動			総合的な学習の時間	その他
		学級活動	生徒会活動	学校行事		
○「学ぶ」ことの意義と各教科における「学び」を理解させるとともに、今の学習の必要性や大切さを理解させる。 ○キャリア発達に関わる諸能力との関連をふまえた授業づくりをする。 ○授業のねらいや目標を明確し、振り返りやまとめを行う授業づくりをする。 ○主体的に学習活動に取り組み、計画的に自己学習ができる工夫をする。 ○将来の職業生活に必要な基礎的な知識や技能を習得させる。 ○教科の中で自己の能力・適性を知り、伸ばしていく能力を身につけさせる。	○よりよい生き方について様々な角度から考えさせることを通して価値観を高め、道徳的資質を養う。 ○互いの個性を理解し尊重しあうことを通して、自己を見つめ生き方考えることができるよう、また、それを実現させるための進路計画を立て、自らの意志と責任で生き方、進路を選択することができるようにする。 ○生徒一人一人が自己存在感を持って楽しく生活できる学級づくりをする ○学習の仕方、計画の立て方や学び合う態度を育て、基礎学力の充実を図る。 ○個々の生徒にキャリアカウンセリングを行い、キャリア発達の支援及び適切な進路選択が出来るようにする。	○学校内の諸問題に関心を持ち、矛盾に気づく感受性と自治の意識を持たせる。 ○個人と集団の思いをつなぐ民主的な節道を学び、社会と関わり合っていく主体性を育てる。 ○集団の一員としての自覚と連帯感の高揚を図る。	○学校行事の在り方を理解させ、積極的に取り組む態度を養う。 ○勤労奉仕・奉仕的な行事での啓発的な体験やボランティア活動等の自主的な活動を通して、興味や関心を高め、自己の個性をよりよく理解させそれらをさらに伸長させようとする態度を養う。	○地域学習によって地域について学び、地域から学び、地域のために学ぶことを通して、課題解決能力やコミュニケーション能力の育成を図る。 ○地域学習・生き方学習創造表現学習を通して、自己を見つめ、自己の生き方を考える思考力、表現力の育成を図る。	○適切な教育相談を通して一人ひとりを生かす指導・助言をする。 ○保護者・地域社会・小学校・高等学校などの関係諸機関との連携を図る。	

キャリア教育実践のための基盤				
進路指導の充実と学年・学級経営の充実	全教職員の協力体制の確立と研修の充実	関係諸機関との密接な連携	保護者・地域との連携	進路情報収集と効果的な活用
○望ましい学級づくり ○よりよい人間関係づくりと自己存在感・自己肯定感・自己有用感の育成 ○基本的生活習慣の育成	・教育相談・進路相談 ・諸調査・面接指導 ・研修	・小・中・高との連携 ・他校との情報交換 ・職業安定所との連携	○体験学習を通した地域との連携 ○PTA活動の取り組み ○学校説明会・進路説明会	・進路情報の収集と効果的な活用

No.12 キャリア教育全体計画例(5) (西条農業高等学校)



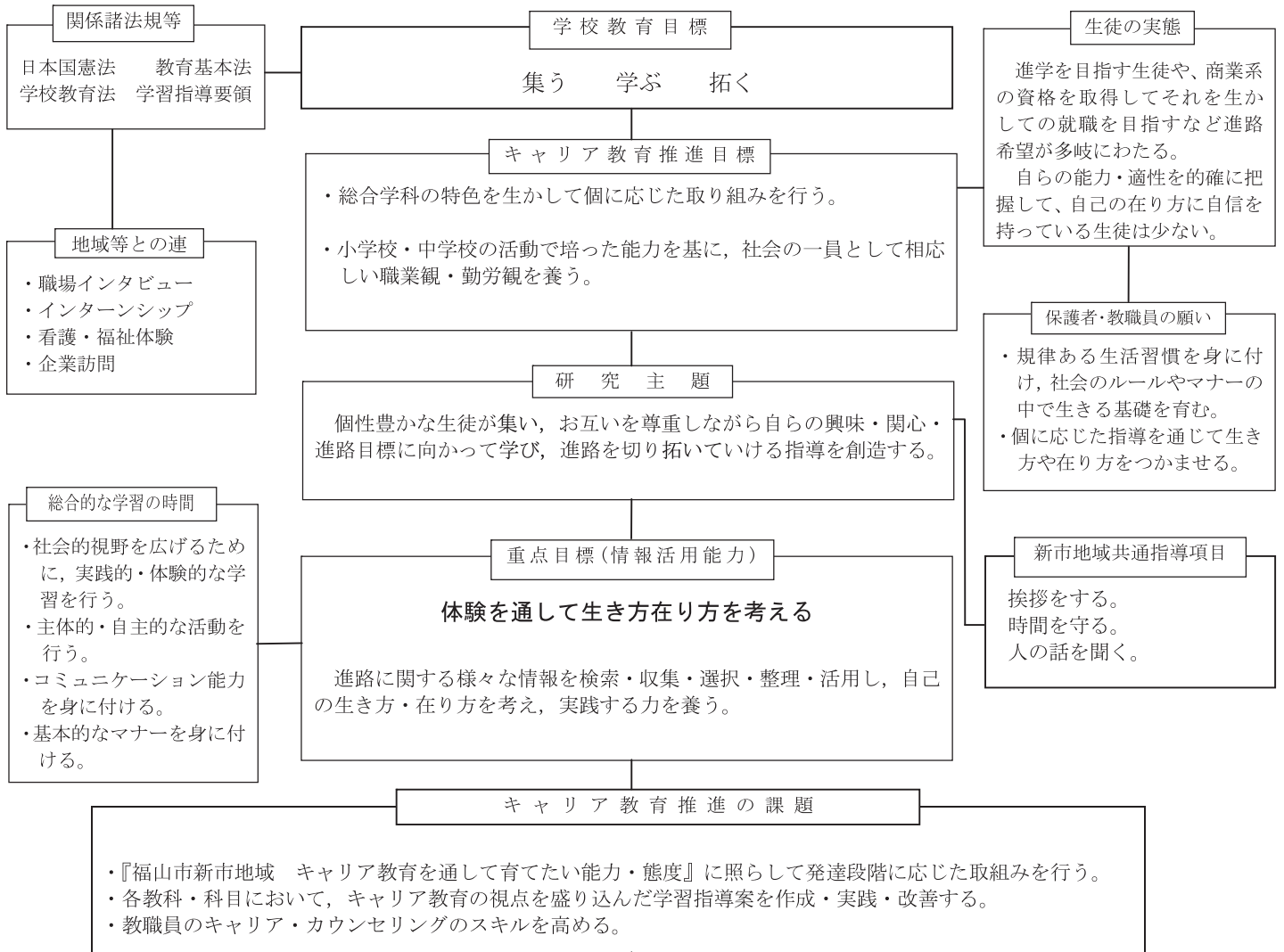
西条農業高等学校 進路指導目標	
確かな学力を身につけ、専門性を活かした多様な進路希望に対応できるきめ細かな進路指導を行い、自己の描くライフプランに基づいた自己実現をめざす。	
平成19年度 重点目標	
(1) 基礎学力の充実を図る。 (2) 特徴ある魅力的な課題研究の推進を通して、専門教育の内容の充実を図る。 (3) 大学・企業等との連携を積極的に行い、多様な進路希望に対応した進路実現を図る。 (4) 計画的、継続的な学力充実体制の整備を進め、補習・模擬試験を計画的に実施する。 (5) 受験情報等の資料収集に努め、面接指導、小論文指導を充実させる。	

1学年/指導の重点	2学年/指導の重点	3学年/指導の重点
指導目標 ・希望進路の選択 高校生活への適応を図り、将来展望に立った自己の興味・関心・性格の特徴の把握から適性を考え、自己理解を図る。	指導目標 ・希望進路の決定 自己実現を図るための勤労観・職業観を育成し、大学・企業研究を進め、自己を生かす進路実現のためのプロセスを明確にする。	指導目標 ・希望進路の実現 具体的な進路先(大学名・学科名・企業名)の検討・点検を行い、就職・進学試験に対応できる学力をつけ、希望進路を実現する。
【主な指導内容】 ○ 高校の学習と将来のあり方生き方「ライフプラン」の設計 ○ 学部・学科、職業を知り、自己の進路を考察 ○ 進路別学習を通じて進路観の探求 ○ 希望進路の実現に向けて「コース選択」 ○ 学習成果発表「意見発表」 ○ 模擬試験(事前・事後指導)	【主な指導内容】 ○ 希望進路の実現に向けて「学部・学科研究」「企業研究」 ○ 体験研修旅行「大学・企業訪問」 ○ インターンシップ・オープンキャンパス ○ 進路ノート作成及び進路面接実施 ○ 進路希望別学習(外部講師招聘) ○ 小論文指導 ○ 学習成果発表「意見発表」 ○ 模擬試験(事前・事後指導)	【主な指導内容】 ○ 進路別ガイダンス ○ 進路ノート作成及び進路面接実施 ○ 小論文指導 ○ 進路相談 ○ 受験指導・対策 ○ 進路希望別学習(外部講師招聘) ○ 補習(放課後・長期休暇中) ○ 学習成果発表「課題研究」 ○ 模擬試験(事前・事後指導) ○ 進路決定後の報告書作成と進学・就職準備

各領域におけるキャリア教育指導内容					
教科	学科(農業)	学級活動	特別活動 学校行事	生徒会活動	その他の教育活動
・学校外の学修制度等を通じて、専門的な学問内容に触れることで、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養う。 ・就業体験等の体験的な学習や調査・研究を行う。 ・社会・職業生活に必要な基本的な能力や態度及び望ましい勤労観、職業観を育成する。 ・自己の将来の生き方や進路についての考察と計画作成。 ・進路選択への意識や社会性を伸ばす。	・自ら学ぶ意欲を持ち、主体的に専門的な知識や技術の習得を目指す。 ・作物、家畜等の管理を通じて、計画性や責任感を身につける。 ・相手の立場に立つてものを考える客観性や総合的な判断力を養う。 ・専門に関する先進の技術や諸課題に目を向け、将来の展望について考える。 ・学校で学ぶ専門的な内容と社会生活、職業生活とを関連づける。	・学校生活の充実と向上をめざして自主的に活動する。 ・学級の一人として役割を分担することで協調性や責任感を養う。 ・話し合いを通して自主的に諸問題を解決する力を養う。	・基本的生活習慣やコミュニケーションの構築など、日常生活を営むために必要な行動の仕方を身につける。 ・学校行事の企画、運営、自主的な活動を通じて、協力や奉仕の精神を培い、より良く生きるための力を身につける。	・生徒会行事の運営を通じて、協力や奉仕の精神を培い、より良く生きることを学ぶ。 ・学校生活が集団でのルールの上に成り立つことを学び、集団の構成員として自分の位置を自覚したうえで行動できる社会性を身につける。	・系統的、段階的な学習プログラムの開発、実践をするための授業や行事等、さまざまな教育活動における小、中との連携 ・部活動において、心身を鍛え、自律・自立、協調・奉仕の精神や態度を醸成し、有意義な活動のためのコミュニケーションを構築する。

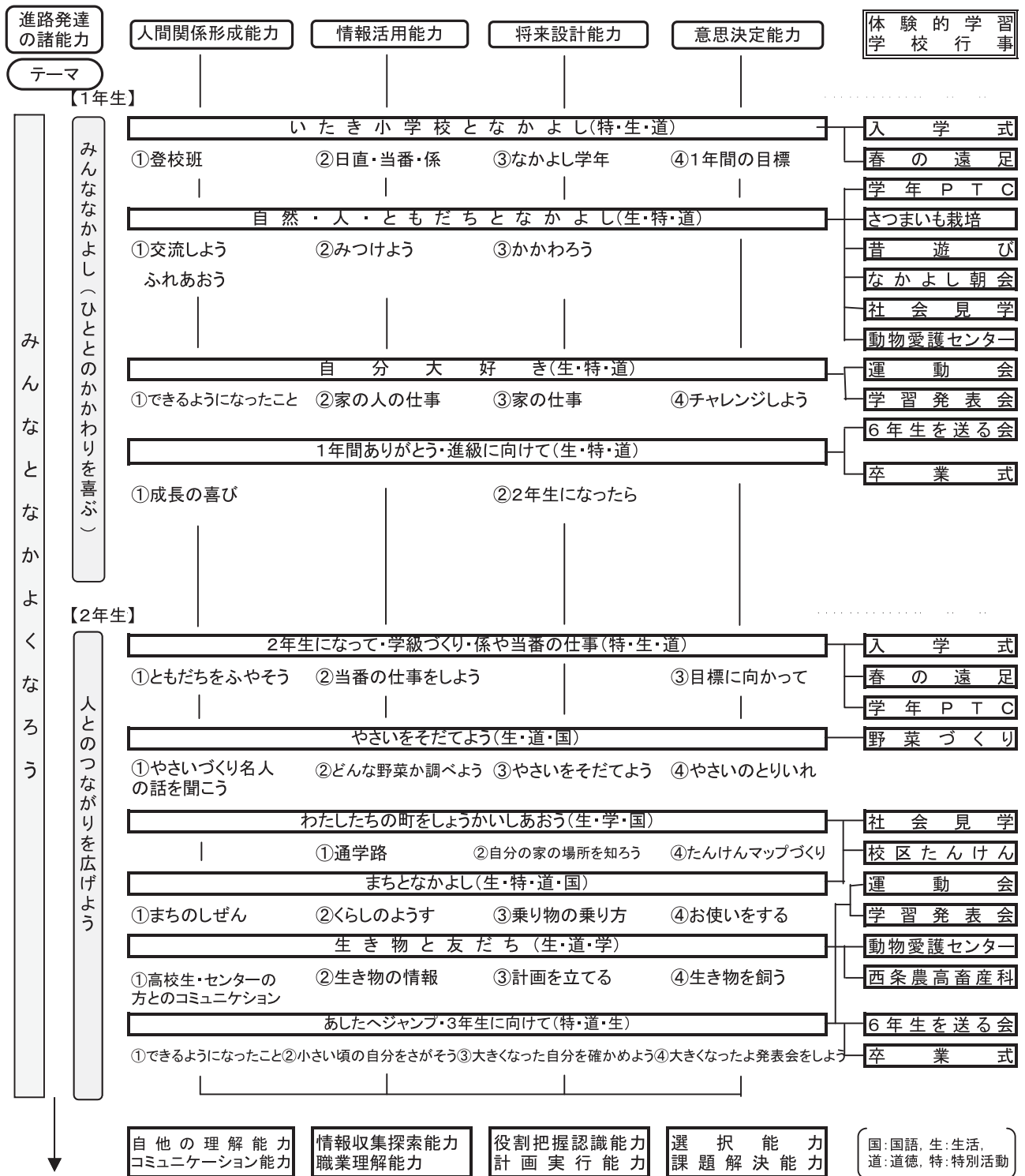
キャリア教育実践のための基盤			
キャリア教育に係るこれまでの実績	小・中学校との連携	関係機関・団体・企業との連携	地域の特徴
・農産物の生産活動や職業体験、国際交流センターとの連携、地域の清掃活動、幼稚園園児たちと遊びの交流など、キャリア教育に結びつくさまざまな取組み。	・平成17年度からの継続的な異年齢交流体験活動の実施。 ・「一日体験入学」等、中学生が専門高校の学習内容に触れることができる機会の設定。	・企業へのインターンシップ、広島大学との共同研究、学校外の学修、大学の教授による出張授業等の実施。	・校区内及び周辺には広島大学、広島国際大学、近畿大学工学部等の高等教育機関を有する。 ・地域の産業としては都市近郊農業が盛んで、(株)サタケやJA等の農作物に結び付いた企業を有する。

No.12 キャリア教育全体計画例（6）（戸手高等学校）

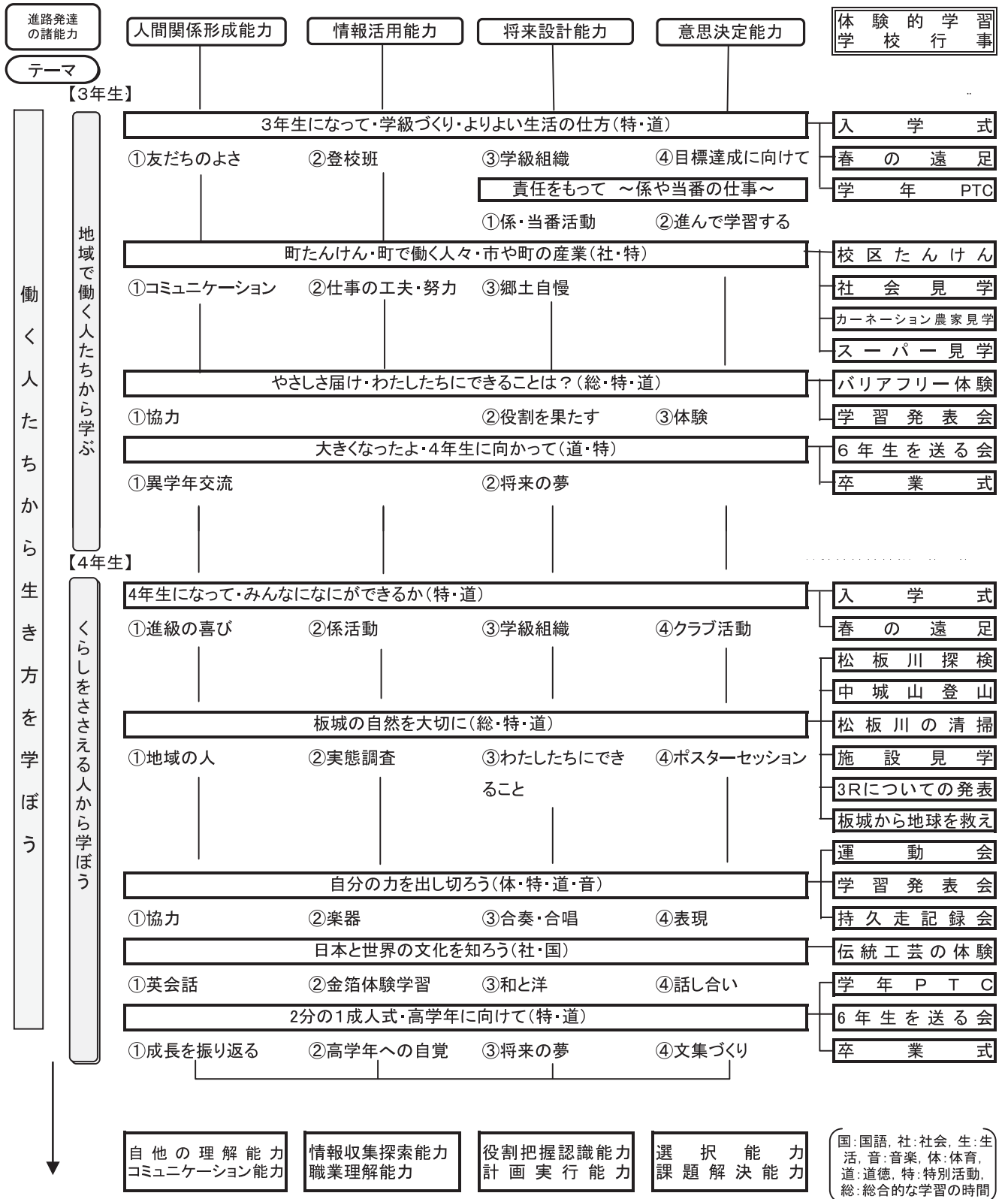


	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次
目 標	様々な方法で自己理解を行い、自らの興味・関心・適性を知る。 進路決定に必要とされる知識や情報を多く取り入れ、自らの進路選択の幅を広くする。 それらの知識をもとに、自己の「夢」の実現のために今何をしなければならないかを考える。	1年次の経験を生かしながら、自らの興味・関心、進路目標に応じて主体的に考え、行動を起こす。 これまでの受動的な学習形態から、「自らが望み、自らが計画し、自らが実行し、振り返り、次の行動のステップとする。」という能動的な学習形態へ移し、意思決定能力を身に付ける。	社会で必要とされる資質・能力である、「自分で課題を見つけ、学び、判断し、行動していく力」を付ける。 また、単なる探求ではなく、自己実現や進路実現に結び付けることも考えさせる。さらに、「総合学科のまとめの科目」という意味もあり、科目横断的な内容も創造させる。
内 容	・「産業社会と人間」 ・講演会 ・職場インタビュー ・社会のマナーや社会の仕組み ・ライフプラン ・進路探求学習	・「自己探求」（総合的な学習の時間） ・北海道研修旅行 ・講演会 ・インターンシップ ・スクールインターンシップ（上級学校における講義の受講） ・進路探求学習	・「課題探求」（総合的な学習の時間） ・自ら課題を設定し、計画を立て、調査・研究・作品制作をとおして問題を解決し、結果をまとめ表現する。 ・「LHR」 ・進路探求学習
評価の方法	・学校評価(地域・保護者)及び授業評価(授業担当者・参観者)の活用 ・(生徒の)自己評価アンケートの活用 ・進路の実績や生徒の実践・学習など		

No.13 キャリア教育題材系統図例①（東広島市立板城小学校）



No.13 キャリア教育題材系統図例②（東広島市立板城小学校）



No.13 キャリア教育題材系統図例③（東広島市立板城小学校）

進路発達
の諸能力

テーマ

【5年生】

未来に向かつて夢や希望を育てよう

働くことの意義やすばらしさを学ぼう

未来に向かつて発達しよう

将来の
自己実現

人間関係形成能力

情報活用能力

将来設計能力

意思決定能力

体験的学習
学校行事

5年生になって・学級づくり・高学年としての責任ある行動(学・道)

①高学年としての
自覚・進級の喜び

②登校班・委員会

③学級組織

④目標達成に向けて

委員会活動・学級の係活動など(学・道)

①委員会活動・係・当番活動

②進んで学習する

米作り体験学習(総・社・学・道)

①米作りの歴史②米作り調べ③計画・準備④実行・体験⑤継続して米作り

サルビア栽培を高校生から学ぶ(総・道・学)

①仕事の意義を学ぶ②栽培の仕方を教わる③夢の実現に向けて

スクールバンドの引継・練習(総・学)

①引継式

②六年生から楽器を引き継ぐ

③自覚と責任を持って取り組む

米作りから食文化へ(総・学)

①日本の食文化②外国の食文化③文化の違いを認め合おう

五年生を振り返って・最高学年にむけて(総・学・道)

①一年間を振り返る

②六年生を送る会の企画

③実行・振り返り

④来年度に向けての決意

6年生になって(特・道)

①最高学年としての自覚

②伝えよう(委員会)

③計画・実行

④活動の課題の解決

ふるさと板城を知ろう(総・国・家)

①伝え合おう

②伝えよう(新聞・ディスカッション)

③実行

④未来に向けて

育てよう花と心(特・道)

①ともに取り組む

②見つめよう

③計画・実行

④課題解決

将来の夢や希望について考えよう(総・学・道)

①お世話になった人への感謝

②学習・仕事の意義

③将来の夢や希望

④夢や希望に向かって

自他の理解能力
コミュニケーション能力

情報収集探索能力
職業理解能力

役割把握認識能力
計画実行能力

選択能力
課題解決能力

国:国語, 社:社会, 生:
生活, 音:音楽, 家:
家庭, 体:体育, 道:道徳,
特:特別活動, 総:総合
的な学習の時間

第1学年

時期	学級活動	総合的な学習の時間	道徳の時間	関連教科	行事・その他	育成したい能力
4月	中学生になって	オリエンテーション				【意思決定能力】
	なぜ今、学ぶのか(学習の目標と心構え)	学び方学習 「地域再発見」		国語 社会 理科 社会 技術 家庭	家庭訪問	
5月	学級での仕事	課題設定	大豆の魅力			【人間関係形成能力】 【情報活用能力】 【将来設計能力】
6月		西農との交流 テーマ「食と生命」から 課題選択・調べ学習			面接週間	
7月		テーマ別調べ学習 中間報告	生命の尊厳 勤労			
8月		西農との交流学習				
9月		学習のまとめ 発表			運動会	【人間関係形成能力】
10月		「出会い ふれあい 学び合い」		国語 社会 技術 家庭 英語 保体	文化祭	【人間関係形成能力】 【情報活用能力】 【将来設計能力】
11月	自分って何?	テーマ別調べ学習				
12月	仕事調べ		勤労 奉仕			【人間関係形成能力】 【情報活用能力】
1月	仕事ヒアリング 聞き取り学習 に向けて 希望理由書作成	学習のまとめ 冊子づくり	愛国心 伝統 国際交流			【意思決定能力】
2月	会の企画	会の企画			面接週間	【人間関係形成能力】 【情報活用能力】 【将来設計能力】
3月	聞き取り学習	国際交流 広大留学生との交流				
		学習のまとめ				【将来設計能力】

第2学年

時期	学級活動	総合的な学習の時間	道徳の時間	関連教科	行事・その他	育成したい能力
4月	2年生になって	オリエンテーション				【意思決定能力】
5月	なぜ今学のか (学習の目標と心構え)	課題設定	伝統文化を見直す	国語 社会 技術	家庭訪問	【人間関係形成能力】 【情報活用能力】 【将来設計能力】
6月	学級での役割	和文化学習 課題設定 テーマ別調べ学習	勤労奉仕		面接週間	
7月		職場体験学習 に向けて 自分発見 夢体験		国語 社会 技術		【人間関係形成能力】 【情報活用能力】 【将来設計能力】
8月						
9月		職場体験学習 のまとめ				
10月		新聞作成			和文化学習 発表会	
					和文化学習 課題設定 テーマ別体験 学習	
11月		修学旅行に 向けて テーマ設定 調べ学習 冊子作成	理想の実現		文化祭 学習のまとめ の発表	【情報活用能力】 【人間関係形成能力】 【情報活用能力】 【将来設計能力】
12月		学習のまとめ 旅行記作成			修学旅行	
1月	上級学校調べ					
2月					面接週間	【人間関係形成能力】
3月	先輩からの聞き取り		自己の実現			【意思決定能力】 【情報活用能力】 【将来設計能力】
	進路説明会					

第3学年

時期	学級活動	総合的な学習の時間	道徳の時間	教科関連	行事・その他	育成したい能力
4月	3年生になって	自己実現 に向けて ① (高校調べ学習を通して)	強い意志	国語 社会 技術		【意思決定能力】
5月	なぜ今学ぶのか (学習の目標と心構え)		自己理解		家庭訪問	【意思決定能力】 【人間関係形成能力】
	学校での役割		郷土愛		生徒総会	【情報活用能力】
6月	進路説明会		個性の伸長		面接週間	【将来設計能力】
		和文化の風 を向陽に (和文化表現)	勤労・奉仕			
			伝統の継承			
7月						
8月					三者懇談会①	【意思決定能力】 【情報活用能力】 【将来設計能力】
9月		自己実現に 向けて② (私のライフプラン)	愛校心			
10月			郷土愛		文化祭	【人間関係形成能力】
					三者懇談会②	【意思決定能力】 【情報活用能力】 【将来設計能力】
11月	進路説明会		理想の実現		和文化学習 発表会	
12月		自己実現に 向けて② (私のライフプラン)			三者懇談会③	
1月	受験に向けて 面接練習 希望理由書 作文 など		礼儀			【人間関係形成能力】 【情報活用能力】 【将来設計能力】
			勤労・奉仕			【意思決定能力】
2月			自主・自律		面接週間	
3月	卒業に向けて ・後輩に残す物 ・伝統を受け継ぐ ・将来への希望 実現に向けて				卒業式	

No.14 年間指導計画を加えた題材系統図例（２）－①（庄原市立西城中学校）

第１学年

月	学級活動	総合的な 学習の時間	道 徳	教 科	特別活動 その他	育成したい能力			
						人間 関係	情 報 活 用	将 来 設 計	意 思 決 定
4 月	中学生になって (課題設定)		望ましい生活習慣 強い意志 (課題解決)	理 (花のつくりと働き・植物の仲間) 技・家 (教科全般) 体 (健康な生活)	入学 (役割把握・認識) 学級開き (課題解決)			○	○
5 月	学習の目標と心構え (役割把握・認識) (計画実行)	郷土を知るⅠ① フィールドワーク (役割把握・認識)	集団生活のルール (自己理解)		学習規律 (計画実行)	○		○	
6 月	選択教科で 自分を伸ばそう (情報収集・探索)		自立・責任 理想の実現 (選択・課題設定)	選択 国 (教科全般) 教 (教科全般) 英 (教科全般)			○		
7 月	個人面談 (情報収集・探索)		権利と義務 (情報収集・探索)				○		
8 月	夏休みの生活設計 (選択)		望ましい生活習慣 (課題解決)	理 (教科全般) 体 (健康な生活と病気の予防・障害の防止) 技・家					○
9 月									
10 月	地 域 に 学 ぶ (情報収集・探索)	郷土を知るⅠ③ フィールドワーク (コミュニケーション) (情報収集・探索)	感謝・思いやり 礼儀・郷土愛 (役割把握・認識) (自他理解)	国 (県和歌山に親しみ・国語読書に親しみ・インター ネットで調べよう・国書を敬ましよう) 社 (身近な地域を調べる (地理)) 美 (ふるさと自慢)		○	○		
11 月	学習計画の見直し (役割把握・認識)		自主自立 協力 計画実行)	社 (私たちが現代社会の関わり (公民)) 理 (教科全般) 国 (教科全般) 体 (健康な生活と病気の予防・障害の防止)	文化祭 (情報収集・探索)		○		
12 月									
1 月	冬休みの生活設計 (選択)		望ましい生活習慣 (課題解決)	社 (私たちが現代社会の関わり (公民)) 理 (教科全般) 国 (教科全般) 体 (健康な生活と病気の予防・障害の防止)					○
2 月	将来を考える (自己理解) (役割把握・認識)	郷土を知るⅠ④ (コミュニケーション) (職業理解)	自己の人生開拓 (情報収集・探索)	国 (職種の仕方・業種の仕方・雇傭関係の使い方・イ ンタビューの仕方) 社 (個人の尊重と日本国憲法 (公民))		○		○	
3 月	2 年生に向けて (課題解決)	小学校訪問 (コミュニケーション) (役割把握・認識) (課題解決)	向 上 心 (計画実行)	社 (教科全般)	3 年生を送る (コミュニケーション)	○		○	○
3 月	自分の生活を 振り返って (役割把握・認識)		個性の伸長 (計画実行)	美 (先輩との思い出) 国 (教科全般)	卒業式 (役割把握・認識)			○	

No.14 年間指導計画を加えた題材系統図例（２）－②（庄原市立西城中学校）

第２学年

月	学級活動	総合的な 学習の時間	道徳	教科	特別活動 その他	育成したい能力			
						人間関係	情報活用	将来設計	意思決定
4月	2年生になって (課題設定)		望ましい生活習慣 (課題解決)	社(地理の学習を始めよう) 体(健康な生活) 理(花のつくりと働き・植物の仲間) 国(教科全般)	入学式 (役割把握・認識)			○	○
5月					家庭訪問 (課題解決)				
6月	選択教科で 自分を伸ばそう (情報収集・探索)		個性の尊重 (自己理解)	選択 英(自己紹介の交流) 美(私も映画監督)		○			
	学ぶことの意義 (自己理解)		強い意志 (計画実行)	国(教科全般) 社(個人の尊重と日本国憲法(公民))		○			
7月			向上心 (自己理解) (役割把握・認識)						
8月	夏休みの生活設計 (選択)		望ましい生活習慣 (課題解決)	社(私たちが現代社会の関わり(公民)) 理(教科全般) 国(教科全般) 英(夏休みの予定 Unit4) 体(健康な生活と病気の予防・障害の防止)					○
9月				国(手紙の書き方・礼状の書き方・体験文を書こう・敬語・推薦の仕方)					
10月	職場体験学習に向けて (職業理解) (情報収集・探索)	郷土を知るⅡ② 職場体験	勤労の貴さ (役割把握・認識)	理(動物の体のつくり・物質の変化とエネルギー・化学変化と質量) 英(夢希望 Unit5) 社(個人の尊重と日本国憲法(公民))		○	○		
	職場体験学習から学ぶ (職業理解)	(コミュニケーション) (職業理解) (情報収集・探索)	勤労の意義 (役割把握・認識)	美(四季をイメージに) 体(障害の予防・ともに健康に生きる社会)		○	○	○	
11月	学習計画の見直し (役割把握・認識)		個性の伸長 (計画実行)	数・音(教科全般) 技術・家庭科(教科全般) 社(教科全般) 理(教科全般) 国(教科全般) 数(教科全般)	文化祭 (情報収集・探索) (職業理解) (役割把握・認識)			○	
12月	冬休みの生活設計 (選択)		社会秩序・規律 (役割把握・認識)	社(私たちが現代社会の関わり(公民)) 体(健康な生活と病気の予防・障害の防止) 理・国(教科全般)					○
1月	学ぶための制度 (選択)		理想の実現 (計画実行)	社(個人の尊重と日本国憲法(公民)) 国(教科全般)	西城紫水高校 体験入学 (情報収集・探索) (計画実行)				○
2月									
3月	3年に向けて (課題設定)	自分再発見の旅 (情報収集) (課題設定)		国(インタビューをしよう・文章の組み立て・情報の整理と活用) 社(都道府県を調べる(地理))	3年生を送る会 (コミュニケーション)			○	○
	自分の生活を振り返って (役割把握・認識)		反省と向上 (自己理解) (計画実行)	国(教科全般) 社(歴史を学んで) 美(ふるさと西城) 音(教科全般)	卒業式 (役割把握・認識)	○		○	

月	学級活動	総合的な 学習の時間	道徳	教科	特別活動 その他	育成したい能力			
						人間 関係	情報 活用	将来 設計	意思 決定
4月	3年生になって (役割把握・認識) (課題設定)	自分再発見の旅 職業インタビュー (役割把握・認識) (コミュニケーション)	最後までやり 抜く (課題解決)	理(自然と人間・科学技術と人間) 社(都道府県を調べる(地理)) 体(健康な生活)	入学式 (役割把握・認識) 家庭訪問 (課題解決)	○		○	○
	学習の意義 (計画実行)		人生を切り開く (計画実行)	社(個人の尊重と日本国憲法(公民)) 国(教科全般)				○	
5月	選択教科で自分を 伸ばそう (情報収集・探索)			選択 理(動物の仲間・動物の行動と体) 体(運動を楽しもう)			○		
6月	ボランティア体 験から学ぶ (情報収集・探索) (役割把握・認識)	郷土を知るⅢ① 福祉体験 ボランティア体験 (役割把握・認識) (コミュニケーション)	思いやりの心 (自他理解)	美(アニメに挑戦) 社(福祉の充実と生きがい) 国(手紙の書き方) 技術(栽培と生活) 美(暮らしや生活を飾る)		○	○	○	
7月	体験入学と 毎日の生活の充実 (選択能力)			全教科 (教科全般)	体験入学 (夏休み) (選択能力)				○
8月									
9月	進路相談 (情報収集・探索)		目標の実現 (情報収集・探索)		進路選択 に向けて (情報収集・探索)		○		
10月	学習計画の見直し (役割把握・認識)	郷土を知るⅢ② 保・小への読み聞かせ ボランティア (自他理解) (役割把握・認識)	社会への奉仕 (自他理解) (役割把握・認識)	社(社会福祉の充実と社会環境 の整備) 国(教科全般) 社(教科全般) 理(教科全般) 数(教科全般) 英(教科全般)		○		○	
11月			向上心 (計画実行)						
12月	進路相談 (情報収集・探索)		自己の人生開拓 (情報収集・探索)	英(夢 Unit6/7)	進路選択 に向けて (情報収集・探索)		○		
	受験にあたって (役割把握・認識)		礼儀 (コミュニケーション) 自分の生き方 (計画実行)		進路説明会 進路相談 入試に向けて (情報収集・探索)	○		○	
1月									
2月	巣立ちの時を むかえ (自他理解)	自分史づくり (コミュニケーション) (役割把握・認識) (課題解決)	感謝の心 (コミュニケーション) (役割把握・認識) (課題解決)	国(インタビューの仕方・情報の整理と活用 ・偉人・文章の読み立て・雑誌の仕方) 社(公民を学んで) 体(心の健康) 美(誇りうる古里)	3年生を 送る会 (コミュニケーション)	○			
3月	卒業にあたって (役割把握・認識)				卒業に 向けて (役割把握・認識)			○	

コミュニケーション能力を育むことを目指した教科学習の系統性

音楽科 単元「リコーダーに親しもう」

【大竹市立玖波小学校第3学年】

時期	道 徳	教科等	総合的な学習の時間	特別活動
6 月		教科「国語」 単元「自分を紹介するスピーチをしよう」 ※ねらい：自分の考えが分かるように筋道を立てて、適切な言葉遣いで話すこと。 【ア】：自分のよいところを認める。		
7 月	単元「あいさつをする」礼儀 2 (1) ※ねらい：相手のことを思いやり、親切にする。 【ア】：あいさつや返事をする。自分の生活を支えている人に感謝する。	教科「社会」 単元「わたしのまち みんなのまち」 ※ねらい：身近な地域を調査して、仕事に携わっている人の工夫を考える。【ア、イ】：友達と協力して、学習や活動に取り組む。	単元「お気に入りの場所見つけ！」 ※ねらい：地元の玖波の自分の好きな場所を見つけて、好きな理由を発表する。【ア、イ、エ】：自分の意見や気持ちを分かりやすく伝える。	
8 月 9 月		教科「音楽」 単元「リコーダーに親しもう」 ※ねらい：リコーダーを正しい演奏法で演奏することができる。 【ア】：自分の考えをわかりやすく他者に伝え、他者からの考えを聞いて理解する。	単元「ときめき 町発見！」 ※ねらい：地元の漁港や商店などで調べたことを紹介する。 【ア、イ】：自分の調べたことなどをつかたりやすく伝える。	題材名「ゆうあいの里でふれあいを」 ※ねらい：音楽の学習成果としてリコーダー演奏と歌を歌って、高齢者と触れ合う。 【ア】：あいさつや返事をする。友達と協力して、学習や活動に取り組む。
		教科「国語」 単元「もうどう犬」 ※ねらい：盲導犬と暮らしている視覚障害者から聞いた話をまとめる。 【ア、イ】：友達と協力して、学習や活動に取り組む。	単元「いろいろな伝え方を知る」 ※ねらい：盲導犬と暮らしている視覚障害者との交流を通して、手話や盲導犬について理解する。 【ア、エ】：自分の生活を支えている人の存在に気づき、感謝する。	

図中の単元をつなぐ太い直線は、本単元で身に付けさせたいコミュニケーション能力の系統性を示しています。

※図中の【ア、イ、ウ、エ】はそれぞれ【ア】人間関係形成能力、【イ】情報活用能力、【ウ】将来設計能力、【エ】意思決定能力を示しています。

事前・事後の指導における系統性をもった教科学習の授業実践例(小学校)

コミュニケーション能力育成の視点を取り入れた授業

音楽科 単元「リコーダーに親しもう」

【大竹市立玖波小学校第3学年】

キャリア教育の視点に立った指導の工夫

- この学習の後に、福祉施設の訪問を行い、異年齢コミュニケーションを図る。本教科を通して、自己と他者の違いを認め、豊かな人間関係を築く力をさらに高める。
- 本時では、コミュニケーション能力を育成するため、6年生をゲストティーチャーに迎え、リコーダーの練習を通して、自分の気づきや考えを分かりやすく伝える指導を工夫している。

1 学年 第3学年

2 科目名・題材名 音楽科 「リコーダーに親しもう」

3 題材の目標

- リコーダーの音色や響きを感じ取り、音の出し方を工夫することができる。
- 正しい指使いとタンギングで簡単な曲を演奏したり、他の楽器と組み合わせて合奏したりすることができる。
- 自分の考えを分かりやすく他者に伝え、他者からの考えを聞いて理解する。

【コミュニケーション能力】

ゴシック体の部分は、
キャリア教育の視点
を示しています。

4 指導と評価の計画（全11時間）

次	学習内容（時数）	評 価					評価方法
		関	感	表	鑑	評価規準 【キャリア教育の視点】	
1	リコーダーに関心を持ち、美しい音色を味わって聴き、基本的な技能を知る。(1)	○				・リコーダーの音色に関心を持ち、進んで聴いたり演奏したりしている。	観察法(行動)
2	運指を覚え、タンギングに気をつけて演奏する。(1)			○		・シ、ラ、ソの運指に慣れ、息の使い方に気をつけて音の出し方を工夫している。	観察法(行動)
11	楽器の音の重なりを感じながら合奏する。(1)			○		・基本的な奏法に気をつけながら、音の重なりを感じて演奏している。 ・奏法などの疑問について聞きたいことを6年生に伝え、アドバイスを求めている。 【コミュニケーション能力】	観察法(行動)

5 本時の目標

- 基本的な奏法に気をつけて、響きを感じ取りながら演奏することができる。
- 自分の考えや気持ちを分かりやすく6年生に伝え、アドバイスを聞いて的確に理解する。
【コミュニケーション能力】

6 本時の指導過程（2時間連続による指導過程の授業である。）

過程	学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法） 【キャリア教育の視点】
導入	○ 既習曲を吹く「地平線」 ○ 本時の目当てを確認する。 ゲストティチャー（6年生）と一緒に合奏し、音の響きを楽しもう	○ 姿勢、息の強さ、タンギングなどのリコーダーの基本的な奏法を意識させる。	
展開	○ 6年生の合奏を聴いて感想を発表する。 ○ 6年生にリコーダーの演奏のコツを聞き自分の演奏に生かす。 ○ 全員で合奏する。	・ リコーダーだけの合奏と、他の楽器が加わった合奏の違いに気付かせる。 ・ 姿勢、タンギング、息の使い方などについて、6年生のアドバイスを基に工夫するよう指導する。 ・ 6年生は3年生の上達した部分を評価するよう指導する。 ・ 友達の音も聞きながら合奏するよう指導する。	○ 楽器の音の重なりを味わいながら聴いている。（観察法） ○ 自分の考えや気持ちを分かりやすく6年生に伝え、アドバイスを聞いて的確に理解する。 【コミュニケーション能力】 （観察法） ○ 楽器の音の重なりについて気をつけながら演奏している。（観察法）
まとめ	6 学習のまとめ	・ 本時では、6年生からリコーダーの演奏のコツを教えてもらい、このコツを生かして響きを感じとりながら合奏したことを確認する。	

自他理解能力を育むことを目指した体験的な学習の系統性

総合的な学習の時間 単元「おしごとトライ！」

【東広島市立御園宇小学校第1学年】

時期	道 徳	教 科 (生活科を除く)	生活科	特別活動
7 月			単元「ともだちいっぱい」 ※ねらい：学校や地域の人や幼稚園の友達とのかかわりを広げたり深めたりして、学校生活のよさを見つけて、自信をもって楽しく過ごす。 【ア】：友達と仲良く遊び、助け合う。	
8 月 9 月		教科「国語」 単元「みんなに知らせよう」 ※ねらい：自分の伝えたいことを書いたり話したりする。 【ア】：自分の意見や気持ちを分かりやすく表現する。		学校行事「運動会」 ※ねらい：健康の保持増進と体力の向上を図るとともに、自立・協力・厚生・責任などの態度を育てる。
10 月		教科「体育」 単元「表現、リズムあそび」 【ア】		学級活動「せきにんをもってやろう」 ※ねらい：給食当番の仕事や係りの仕事のやり方を知って、進んで仕事をするができる。
11 月	単元「一日十分」 礼儀 1－(2) ※ねらい：自分がやらなければならない勉強や仕事はしっかりと行う。 【ウ】：決められた時間や決まりを守ろうとする。		単元「おしごとトライ！」 ※ねらい：仕事にはいろいろな手順があることに気づき、自分のできることを見つけて、進んで行動する。 【ア】：友達と協力して学習や活動に取り組む。	学校行事「学校祭」 ※ねらい：演劇や合奏など地域の文化発表を学習した成果を発表する。
12 月	単元「かんしゃのこころ」 ※ねらい：日頃お世話になっている人に感謝する心をもつ。 【ア】：お世話になった人などに感謝し親切にする。		単元「みんな大すき」 ※ねらい：地域の人や幼稚園の友達との交流を計画し、実行して、関わりを深める。 【ア、エ】：友達と仲良く遊び助け合う。	学校行事「JICA 交流」 ※ねらい：触れ合いを通してコミュニケーション能力を拡げる

図中の単元をつなぐ太い直線は、本単元で身に付けさせたい自他理解能力の系統性を示しています。
 ※図中の【ア、イ、ウ、エ】はそれぞれ【ア】人間関係形成能力，【イ】情報活用能力，【ウ】将来設計能力，【エ】意思決定能力を示しています。

事前・事後の指導における系統性をもった体験的な学習の授業実践例(小学校)

自他理解能力育成の視点を取り入れた授業

生活科 単元「おしごとトライ！」

【東広島市立御薗宇小学校第1学年】

キャリア教育の視点に立った指導の工夫

- この学習の前には、「みんなに」や「ともだち」とのかかわりが扱われており、事後の学習内容は、「仕事」や「せきにん」についてのものとなっている。発達段階にに応じて、自己と他者との違いを認め合う段階が必要である。
- 本時では、おむすびに関心を持たせるために、五感でおむすびのおいしさを感じさせるカードを用いて気づきを書かせ、発表をしやすい工夫がされている。

1 学年 第1学年

2 科目名 単元名 生活科「おしごとトライ！」

3 単元(題材)の目標

- 自分でできることを進んでやろうとする。
- 自分たちがした仕事について話し合い、仕事の手順などについて考えることができる。
- 家庭で自分ができることや自分の役割に気づくことができる。
- 仕事はいろいろな手順をふんでできることに気づき、自分たちができるようになったことを確かめることができる。【自他理解能力】

ゴシック体の部分は、
キャリア教育の視点
を示しています。

4 指導と評価の計画(全13時間)

次	学習内容(時数)	評価				評価方法
		関心・意欲・態度	思考・表現	気づき	評価規準 【キャリア教育の視点】	
1	「おしごとトライ！」を計画しよう 計画・発表する(3)	○	○		- 家族と相談して、夏休みに継続してお手伝いしようとするができる。 - お手伝い(仕事)のやり方と大変だったことやうれしかったことなどを発表できる。	観察法(行動) 観察法(発表)
2	「おしごとトライ！」をしよう 課題を追求する(8) (本時5/8)	○		○	- 家庭での仕事に興味・関心をもち、仕事に使うものや、やり方を家族に聞くなどして調べることができる。 - 仕事は手順をふんでできることに気づき、自分たちができるようになったことを確かめることができる。【自他理解能力】	観察法(ワークシート) 観察法(行動)
3	「おしごとトライ！」をつづけよう 広げる(2)	○			学級や家庭での仕事について考え、自分の役割を果たし、できることは自分で進んでやってみようとする意欲をもつことができる。	観察法(行動)

5 本時の目標

- 分かったことや見つけたことをカードにまとめ、話し合うことができる。
- 仕事は手順をふんでできることに気づき、自分たちができるようになったことを確かめることができる。【自他理解能力】

6 本時の指導過程

過程	学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法） 【キャリア教育の視点】
導入	○ 自分でつくったおむすびを食べた感想を発表する。 ○ 本時の目当てを確認する。	○ 自分でおにぎりを結べたことやおいしかったこと等の達成感満足感を表現させる。	
展開	おいしいおむすびのひみつをさぐろう。 ○ おむすびトライをして、わかったこと、見つけたことを話し合う。 ○ ビデオで撮影してあったむすぶところを見て、思い出す。 ○ 発見カードを発表する。 ○ どのくらいの力で手の形はどんな風にしてむすぶとよいか考える。 ・ となりの人に自分の考えを伝える。 ・ クラスで発表し合う。	・ おいしいおむすびのひみつをさぐって、家でもつくってみようという気持ちをもたせる。 ・ 前時に目・耳、鼻、手、口の五種類のカードに五感別に書き込んでくるように指示する。 ・ 多くのことに気づいたことを評価する。 ・ ともだちの発表を聞きながら、自分の経験をもとに考えさせる。	○ 分かったことや見つけたことをカードにまとめ、話し合うことができる。 ○ 仕事は手順をふんでできることに気づき、自分たちができるようになったことを確かめることができる。【自他理解能力】
まとめ	○ これからはどんな風にむすぶたいか確認する。 ○ ワークシートに自分の考えを書く。 ○ 数人発表する。	・ 今日の学習をもとに考えるように指示する。	

コミュニケーション能力を育むことを目指した体験的な学習の系統性

総合的な学習の時間 単元「スローライフ in 西城」

【庄原市立西城小学校第5学年】

時期	道徳	教科	総合的な学習の時間	特別活動
10月		教科「国語」 単元「わらぐつの中の神様」 ※ねらい：登場人物の考え方・生き方について自分なりの感想をもつ。【ア、イ】	単元「設定した課題を基に調べ学習を行う」 ※ねらい：調べたことを分類しまとめて、まとめる過程の考え方を分かりやすく表現する。 【ア、イ】：自分の意見や気持ちを分かりやすく表現することができる。	
11月		教科「国語」 単元「人との付き合い方」 ※ねらい：身近なゴミ問題を取り上げて、「もの」との付き合い方を見直す。 【ア、イ】	単元「西城タウンミーティングを開こう」 ※ねらい：話し合い活動やゲストティーチャーの話を聞いて自分の考えを深めることができる。 【ア】：自分との考えを分かりやすく他者に伝え、他者の考えを聞いて理解する。	
12月	資料名「世界に誇る日本の塔」4-(7)「郷土愛」 ※ねらい：身近にある自然を理解して、郷土や国を愛する心情を育てる。 【ア、ウ】	教科「社会」 単元「我が国の食料生産」 ※ねらい：環境にやさしい米作りについて知る。【ア、イ】		単元「西城っ子祭り」 ※ねらい：総合的な学習の時間で学んだことを、ゲストティーチャーや地域の方に意欲的に伝える。 【ア、イ】：思いやりの気持ちを持ち、相手の立場に立って考え行動しようとする。
		教科「国語」 単元「工夫をして発信しよう」 ※ねらい：目的に応じた情報の配列・編集についての理解を深める。【ア、イ】		

図中の単元をつなぐ太い直線は、本単元で身に付けさせたいコミュニケーション能力の系統性を示しています。

※図中の【ア、イ、ウ、エ】はそれぞれ【ア】人間関係形成能力、【イ】情報活用能力、【ウ】将来設計能力、【エ】意思決定能力を示しています。

事前・事後の指導における系統性をもった体験的な学習の授業実践例（小学校）

コミュニケーション能力の視点を取り入れた授業

総合的な学習の時間 単元「スローライフ in 西城」

【庄原市立西城小学校第5学年】

キャリア教育の視点に立った指導の工夫

- この学習の前に、小学生や中学生との交流学习を行い、異年齢同士のコミュニケーションを図ってきた。この交流学习を通じて身に付けたコミュニケーション能力を踏まえて、総合的な学習の時間でさらに高めている。
- 本時では、コミュニケーション能力を育成するため、グループ学習を取り入れ、自分の考えを書いたカードを用いて整理することにより、考えを分かりやすく伝える指導を工夫している。

1 学年 第5学年

2 科目名・単元名 「スローライフ in 西城」

3 単元の目標

- 自分の課題について調べたことをまとめ、話し合いの場で効果的に表現する。
- 地域の方の考えを知り、地域への理解と愛着を深める。
- 自分の考えを分かりやすく他者に伝え、他者の考えを聞いて理解する。

ゴシック体の部分は、
キャリア教育の視点
を示しています。

【コミュニケーション能力】

4 指導と評価の計画（全21時間）

次	学習内容（時数）	評 価					評価方法
		意	学	把	生	評価規準 【キャリア教育の視点】	
1	○ 自分の課題を設定する。（1）	○				【学習意欲】 自分の課題や考えを工夫して表現しようとしている。	観察法（行動）
2	○ 調べ学習をする（4）		○			【学び方・ものの見方】 ①調べたことを分類し、関連づけることができる。 ②自分のものの見方や考えをわかりやすく表現する。	作品法（ワークシート） 作品法（作品）
3	○ ゲストティーチャーを迎え、意見の交流を行う。（本時1／8）			○	○	【自己の生き方】 ゲストティーチャーの考えを知り、自己が考えを深めることができる。 自分が解決しようとする課題について明確にし、適切に表現することができる。【課題把握】 自分の考えを分かりやすく他者に伝え、他者の考えを聞いて理解する。 【コミュニケーション能力】	観察法（行動） 作品法（ワークシート）、観察法（発言）
4	学んだことを発信する（8）				○	【自己の生き方】 学んだことを通して自己の学びや友達の成長を確認できる。	作品法（振り返り表）

5 本時の目標

- 話し合い活動やゲストティーチャーの話を聞いて自分の考えを深めることができる。
- 自分との考えを分かりやすく他者に伝え、他者の考えを聞いて理解する。

【コミュニケーション能力】

6 本時の指導過程

過程	学習内容	指導上の留意点	評価規準（評価方法） 【キャリア教育の視点】
導入	○ 本時の学習課題を確かめる。		
	西城タウンミーティングを開こう		
展開	○ 各グループが調べたことを発表する。 ・昔の米作りグループ ・昔の道具グループ ・西城の自然，生き物グループ ○ ゲストティーチャーからの話を聞く。 ○ ゲストティーチャーの話から考えたことや気づきを書く。 ○ 意見交流を行う。	○ ゲストティーチャーと友達にしっかり伝えられるように意識付けする。 ○ 米作りの専門家の立場から，生徒の発表について評価してもらうとともに，児童の発表にはなかった視点から，米作りについての話をしてもらう。 ○ ゲストティーチャーの話を聞いて新しく知ったことや考えたことをワークシートに整理させる。 ○ ゲストティーチャーの話を聞いて考えたことをグループで交流する。	○ 話し合い活動やゲストティーチャーの話を聞いて，さらに自己の考えを深めることができる。（観察法，作品法） 【コミュニケーション能力】 ○ 自分との考えを分かりやすく他者に伝え，他者の考えを聞いて理解する。（観察法） 【コミュニケーション能力】
まとめ	振り返りをする	○ 学んだことをしっかり確認する。 ○ まとめをワークシートに書いて提出する。	

コミュニケーション能力を育むことを目指した体験的な学習の系統性

総合的な学習の時間

単元「職場体験で学んだことを小学校６年生に伝えよう」

【大竹市立小方中学校第２学年】

時期	道 徳	教科等	総合的な学習の時間	特別活動
9 月		教科「国語」 単元「プレゼンテーションの仕方や聞き方・応答の仕方」 ※ねらい：報告や意見発表などのために 簡潔で分かりやすい文章や資料などを作成する。 【ア】：人間関係の大切さを理解し、コミュニケーションスキルの基礎を習得する。	単元「職場体験のまとめ」 ※ねらい：5 日間の職場体験で学んだことをまとめ、発表の準備をする。 【ア、ウ】：人間関係の大切さを理解し、コミュニケーションスキルの基礎を習得する。様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の生き方を考える。	
10 月	「謙虚に学ぶ広い心」 2-(5) ※ねらい：それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して謙虚に他に学ぶ広い心をもつ。 【ア、ウ】：他者のよさや感情を理解し、尊重する。より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ。	教科「美術」 単元「展示物のレイアウト」 ※ねらい：伝えたい内容を図や写真等映像メディアなどで効果的に美しく表現し伝達・交流する。 【イ】：必要に応じ、獲得した情報に創意工夫を加え、提示、発表、発信する。	単元「交流授業」 ※ねらい：小学校 6 年生を対象に、6 つの事業所における職場体験を発表する。 【ア、イ、ウ】： ＜中学生＞ 体験的な学習活動をととして学んだこと等をまとめ、分かりやすく発表することができる。 ＜小学生＞職業の意義について考え、将来の夢を目指して努力しようとする。	
11 月	「強い意志 1-(2)」 ※ねらい：より高い目標を目指し、希望と勇気を持って着実にやり抜く強い意志をもつ。 【ウ】：将来の進路希望に基づいて当面の目標を立てその達成に向けて努力する。	教科「技術・家庭」 単元「プレゼンテーションソフトの使い方」 ※ねらい：ソフトウェアを目的に応じて選択し、表現や発信をする。 【イ、エ】：必要に応じ、獲得した情報に創意工夫を加え、提示、発表、発信する。課題に積極的に取り組み、主体的に解決していこうとする。		単元「進路情報の収集」 ※ねらい：3 年生から上級学校に関する発表を聞き、今後の進路決定に役立てる。 【イ、ウ】上級学校等の種類、特徴及び職業に求められる資格や学習歴が分かる。将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への関心・意欲を高める。

図中の単元をつなぐ太い直線は、本単元で身に付けさせたいコミュニケーション能力の系統性を示しています。

※図中の【ア、イ、ウ、エ】はそれぞれ【ア】人間関係形成能力、【イ】情報活用能力、【ウ】将来設計能力、【エ】意思決定能力を示しています。

事前・事後の指導における系統性をもった体験的な学習の授業実践例(中学校)

情報収集・探索能力育成の視点を取り入れた授業

総合的な学習の時間

単元「職場体験で学んだことを小学校6年生に伝えよう」

【大竹市立小方中学校第2学年】

キャリア教育の視点に立った指導の工夫

- 職場体験を終えた直後に記録を活用して、発表原稿、掲示資料としてまとめ、発表するという学習を通して、職場体験で学んだことを整理している。
- 効果的に伝わるようにレポートをまとめることを通して、情報収集・探索能力を高め、さらに、職場体験で学んだことを生徒に意識化させている。

1 学年 第2学年

2 単元名等 総合的な学習の時間「職場体験で学んだことを小学校6年生に伝えよう」

3 単元(題材)の目標

- 体験的な学習活動を通して学んだことや得た情報を整理・収集・活用し、まとめることができる。
- 相手や場に応じて伝える内容や、伝え方について工夫することができる。
- 具体例を挙げながら、小学6年生に対して伝えたいことの中心を分かりやすく伝えることができる。

4 指導と評価の計画(全18時間+1時間)(本時の授業・代表者のみの発表となるため)

次	学習内容 (時数)	評 価						評価方法
		自他 理解 能力	情報 活用 能力	課題 解決 能力	情報 伝達 能力	評価規準 【キャリア教育の視点】		
1	職 場 体 験 直 後 の ま と め (2)			○	○	まとめ方について確認し、内容を整理している。	作品法(ワークシート)	
2	レポ ー ト を ま と め て 学 ん だ こ と を 生 か す (8) (本時2, 3時間目)	○	○		○	発表に向けて、職場体験中にまとめた資料から必要な項目を選び、発表原稿を作成している。 発表原稿を基に、小学6年生に理解できるような展示物を作成している。 【情報収集探索能力】	作品法(発表原稿) 作品法(発表原稿, 展示物)	
3	発信する (3)	○			○	相手に応じて分かりやすく説明し、質問等に適切に答えている。 ふり返りを基に、自分が行った説明について成果と課題を整理する。 【コミュニケーション能力】	観 察 法 (発 表) 作 品 法 (ふ り 返 り シ ー ト)	

5 本時の目標

- 「職場体験の記録」から小学6年生に伝えたいことを選び発表原稿の下書きを書くことができる。
- 職場体験レポートの発表原稿を作成することを通して、情報を選択・活用し、自己の進路や生き方についての考えをまとめる。【情報収集・探索能力】

6 本時の指導過程（2時間連続による指導過程の授業である。）

過程	学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法） 【キャリア教育の視点】
導入	本時の目標について確認する。 小学6年生に発表する職場体験レポートの発表原稿を書く。		
展開	○ 本時で作成する発表原稿の校正について理解する。 ○ 1, 2の順にまとめる。 ○ 「3 体験を通して学んだこと、感想など」について整理する。 ○ 整理した情報を基に原稿の下書きを書く。	・ 本時でまとめる3つの内容を示す。 1 職場体験する職種を希望した理由 2 職場体験中における個人目標とその目標に決めた理由 3 職場体験を通して学んだこと。 ・ 事前学習で書いたワークシートなどもふり返りの資料として活用させる。 ・ 自分が伝えたいことは何かというテーマを明確にさせ、「職場体験の記録」を基に、発表原稿に活用する情報と活用しない情報に分けさせる。 ・ 書こうと思う事柄について、「いつ」「どこで」「誰が」「何を」「どうした」といった項目をたてて、付せん等を活用して情報を整理すると共に、文章の構成を考える。 ・ 早く下書きを終えた生徒同士で互いの作品を読み合い、気づきを交換させる。	○ 職場体験を通して得た情報を選択・活用することができる。【情報収集・探索能力】（観察法、作品法） ○ 付せんを基に、情報を整理し文章の構成を考えている。（付せん 作品法）
まとめ	○ 本時の目標及び学習内容、学習方法を確認する。 ○ 次時の予告をする。	・ 本時の学習が、職場体験を振り返り、職場体験で学んだことを再確認することであったことを確認する。 ・ 本時で書いたレポートの下書きを声に出して読んで、他の生徒に聞いてもらい、内容がよく理解できるかを確認し合った後、推敲することを告げる。	

No.15 単元計画・学習指導案例（5）（竹原市立竹原中学校）

情報収集・探索能力を育むことを目指した体験的な学習の系統性

総合的な学習の時間 単元「職場体験事後指導」

【竹原市立竹原中学校第2学年】

時期	道 徳	教 科	総合的な学習の時間	特別活動
9 月		教科「国語」 単元「意見を相手に伝えよう」 ※ねらい：意見が相手に効果的に伝わるように根拠を明確にし、論理の展開を工夫して書くこと。 【イ】		単元「課題解決学習」 ※ねらい：実際に「働く」ことを通して、職業や仕事の意義や役割を考え、自分が今準備しなければいけないことについて考える。 【イ】：将来の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解する。
10 月	「われ、ここに生きる」4-(5) 勤労の意義 ※ねらい：働くことの意義を自覚し、進んで世のため人のために尽くし、公共の福祉に貢献しようとする心情を育てる。 【ア、イ、ウ】：人生の先輩たちの話を聞いて、人のために尽くして働く意義を自覚し、自己の進路に生かす。	教科「技術・家庭」 単元「情報通信ネットワーク」 ※ねらい：情報通信ネットワークを利用して情報の収集、判断、処理、発信ができる。 【イ】：生き方や進路に関する情報を、様々なメディアを通して調査・収集・整理し、活用する。	単元「課題解決学習」 ※ねらい：自己目標に対する事業所からの評価から課題を明らかにし、解決するための具体的な方法を考えさせる。 【イ、エ】：体験等を通して、勤労の意義や働く人々の様々な思いが分かる。	
11 月		教科「国語」 単元「ポスターセッションをしよう」 ※ねらい：話の内容や意図に応じて適切な語句を選択し、説得力のある表現で話したり、聞いたりする。 【イ】	単元「職場体験事後指導」 ※ねらい：職場体験で経験したことをまとめて、感じたことや学んだことを表現する。 【イ、エ】：職場体験を通して得た情報を選択・活用し、自己の進路や生き方について考えることができる。	
			単元「職場体験 地域へ発信しよう」 ※ねらい：多くの事業所の協力に感謝して、職場体験で得られた成果を発表する。 【イ、ウ】発表を聞いてもらい、職場体験の成果と課題について事業所からの意見を聞き、今後の進路選択に生かしていく。	

図中の単元をつなぐ太い直線は、本単元で身に付けさせたい情報収集・探索能力の系統性を示しています。

※図中の【ア、イ、ウ、エ】はそれぞれ【ア】人間関係形成能力、【イ】情報活用能力、【ウ】将来設計能力、【エ】意思決定能力を示しています。

事前・事後の指導における系統性をもった体験的な学習の授業実践例(中学校)

情報収集・探索能力育成の視点を取り入れた授業

総合的な学習の時間 単元「職場体験事後指導」

【竹原市立竹原中学校第2学年】

キャリア教育の視点に立った指導の工夫

- 職場体験を終えた直後に記録をまとめ、それを利用して、国語で学んだ論理の展開を工夫して書くことを生かして、職場体験レポートをまとめている。
- 職場体験直後の記録を基に、筆者の意見が読む人に効果的に伝わるように根拠を明確にしてレポートをまとめることを通して、情報収集・探索能力を高め、さらに、職場体験で学んだことを生徒に意識化させている。
- 職場体験で成果が見つけられなかった生徒に対しては、キャリア・カウンセリングの機会として捉え、職場体験の成果と課題を明らかにできるよう個に応じた指導を行っている。

1 学年 第2学年

2 単元名等 総合的な学習の時間「職場体験事後学習」

3 単元(題材)の目標

- 職場体験で経験したことをまとめて、感じたことや学んだことを表現することができる。
- 職場体験で学んだことを、構造的にまとめることができる。
- 職場体験を通して得た情報を選択・活用し、自己の進路や生き方について考えて、職場体験レポートを作成することができる。【情報収集・探索能力】

4 指導と評価の計画(全7時間)

次	学習内容 (時数)	評 価					評価方法
		関	考	表	知	評価規準 【キャリア教育の視点】	
1	職場体験直後のまとめ(2)			○	○	○ 職場体験で経験したことをまとめて、感じたことや学んだことを表現することができる。	観 察 法 (発 言), 作 品 法 (ワークシート)
2	レポートをまとめて学んだことを生かす(5) (本時2, 3時間目)	○		○		○ 職場体験で学んだことを、構造的にまとめることができる。 ○ 職場体験を通して得た情報を選択・活用し、自己の進路や生き方について考えて、職場体験レポートを作成することができる。【情報収集・探索能力】	作 品 法 (お 礼 状 , ワークシート) 観 察 法 (発 言) 作 品 法 (ワークシート)

5 本時の目標

- 5日間で体験した内容を、論理の展開を工夫して構造的にまとめることができる。
- 職場体験レポートを作成することを通して、職場体験を通して得た情報を選択・活用し、自己の進路や生き方を考えることができる。【情報収集・探索能力】

6 本時の指導過程（2時間連続による指導過程の授業である。）

過程	学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法） 【キャリア教育の視点】
導入	○ 前時の授業を想起する。 ○ 「職場体験の記録」を読む。	・ 前時までに、「竹原市キャリア・スタート・ウィーク」における「職場体験の記録」をまとめたことを確認する。 ・ 本時の目標について板書する。 ・ 本時で作成したレポートは、保護者や事業所に紹介することを確認する。	
展開	○ 本時でまとめる内容の全体像を把握する。 ○ 1, 2の順にまとめる。 ○ 「3 体験して学んだこと、感想など」についてまとめる。 ○ 「2 個人目標と理由」と「3 体験して学んだこと、感想など」について発表した内容を聞いて、分かりやすい表現のし方を確認する。 ○ 必要な生徒はキャリア・カウンセリングをうける。	・ 本時でまとめる3つの内容を示す。 1 職場体験する職種を希望した理由 2 職場体験中における個人目標とその目標に決めた理由 3 体験して学んだこと、感想など ・ 「職場体験の記録」を見て、学んだことを振り返らせ、本時では何について書くのか説明する。 ・ ワークシートのまとめ方は、以前国語科で学んだ、文章の構成や論理的な文章の書き方を活用するように説明する。 ・ 「2 個人目標と理由」で記入したことと関連付けて、職場体験前に立てた目標は、具体的にはどのようにすることでだったのかを書く。また、それ目標がどの程度達成できたか、今後、何が課題になるのか等を書くよう指示する。 ・ 分かりやすい表現の工夫がされている生徒に発表させ、その表現の工夫と発表内容を確認する。 ・ 職場体験や、レポートをまとめること等に課題が見られる生徒には、個別にキャリア・カウンセリングを行い、体験したことから何が学べたかをレポートの順に従ってともに考えさせるようにする。	他の教科等における学習と関連付けている。 ○ 職場体験を通して得た情報を選択・活用し、自己の進路や生き方を考えることができる。【情報収集・探索能力】（観察法、作品法） ○ 5日間で体験した内容を、レポートの様式にしたがって構造的に書くことができる。
まとめ	○ 本時の目標及び学習内容、学習方法を確認する。 ○ 次時の予告をする。	・ 本時の学習が、職場体験を振り返り、職場体験で学んだことを再確認することであったことを確認する。 ・ 本時で書いたレポートをコンピュータを利用して清書することを告げる。	

No.15 単元計画・学習指導案例（6）（福山市立新市中央中学校）

情報収集・探索能力を育むことを目指した教科学習の系統性

社会科公民的分野 単元「消費生活と経済のしくみ」

【福山市立新市中央中学校3学年】

時期	道 徳	教科等	総合的な学習の時間	特別活動
9 月				学級活動「進路を考える」 ※ねらい:進路の参考資料や作成した壁新聞などをもとにグループで話し合い、自分の進路をどのように選択していくのかを考え、進路計画を立てる。
10 月		教科「社会科」 単元「消費生活と経済のしくみ」 ※ねらい:身近な経済活動について関心をもち、消費者、生産者など様々な立場にたって考察する。経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方について理解する。 【イ】:将来の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解する。	単元「高校体験」 ※ねらい:高校の体験入学を基に自分の進路を見つめ直させるとともに、進路を切り開く意欲を高める。 【ア、イ】:体験した内容や資料を整理し、上級学校の種類や特徴及び職業に求められる資格などが分かる。	【ア、イ】:体験した内容や資料を整理し、上級学校の種類や特徴及び職業に求められる資格などが分かる。
11 月	主題名「自分で決めたこと」1-(3)教材名「私も高校生」 ※ねらい:自主的に自分の生き方を考え、やろうと決めたことは誠実に実行することに生き甲斐や喜びを見いだそうとする態度を養う。 【ア、イ】:将来の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解する。	教科「英語」 単元「Skit Time」 ※ねらい:バス停における道案内の場面を想定した英語による会話文を作って演じる。 【イ】:将来の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解する。	単元「高校体験発表会」 ※ねらい:各グループの発表をもとに、各高等学校の特徴を理解する。【イ、ウ】:発表会に向けて、相手に分かりやすく伝えることができるように、収集した情報に創意工夫を加え、提示、発表、発信する。	
12 月				

図中の単元をつなぐ太い直線は、本単元で身に付けさせたい情報収集・探索能力の系統性を示しています。

※図中の【ア、イ、ウ、エ】はそれぞれ【ア】人間関係形成能力、【イ】情報活用能力、【ウ】将来設計能力、【エ】意思決定能力を示しています。

事前・事後の指導における系統性をもった教科学習の授業実践例(中学校)

情報収集・探索能力の育成の視点を取り入れた授業

教科 社会(公民的分野)

【福山市立新市中央中学校第3学年】

キャリア教育の視点に立った指導の工夫

- この授業では、情報活用能力(情報収集・探索能力、職業理解能力)の育成を目指している。
- 地理的分野・歴史的分野の学習、他教科の学習で身に付けた情報収集、分析、活用等の力を活用し、高めるとともに、学習した内容に基づき、現実の社会の経済活動について考えることを目標にしている。

- 1 学年 第3学年
- 2 科目名・単元名 社会 「消費生活と経済のしくみ」
- 3 単元(題材)の目標

- 身近な経済活動について関心をもち、消費者、生産者など様々な立場に立って考察する。

【職業理解能力】

- 経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方について理解する。

- 需要、供給、市場価格の関係を資料から読み取り、分かりやすく説明する。

【情報収集・探索能力】

- 4 指導と評価の計画(全5時間)

次	学習内容 (時数)	評 価				評価方法
		関	考	表	知	
【キャリア教育との関連】						
1	わたしたちの消費生活(1)	○			・ 発問に答えるなかで、経済に関心を持ち、積極的な学習意欲・態度で取り組むことができる。	観察法(発言)
	家計の収入と支出(1)			○	・ グラフなどから、家計の収入と支出の関係を読み取り、家計のゆとりについて説明できる。	作品法(ワークシート) 観察法(発言)
2	ものの流れとお金の流れ(1)				○ ・ 生産者から消費者までの商品の流通のしくみとお金の流れについて理解することができる。	作品法(ワークシート) 観察法(発言)
	市場のしくみと価格の決め方(1)(本時)		○	○	・ 需要、供給、市場価格の関係を資料から適切に読み取り、現実の経済活動において必要なものであることを理解することができる。 【情報収集・探索能力】【職業理解能力】 ・ 市場経済のしくみや役割について、多面的・多角的に考察し、分かりやすく説明することができる。	作品法(ワークシート) 観察法(発言)
	独占価格と公共料金(1)		○		・ 独占価格や公共料金について、国民生活を守るために国や地方公共団体が果たしている役割を考えることができる。	作品法(ワークシート) 観察法(発言)

5 本時の目標

- 需要，供給，市場価格の関係を資料から適切に読み取る。【情報収集・探索能力】
- 市場経済のしくみや役割について，多面的・多角的に考察し，分かりやすく説明する。
- 学習した内容に基づき，現実の社会の経済活動について考えることができる。

【職業理解能力】

6 本時の指導過程

過程	学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法） 【キャリア教育の視点】
導入	○ いちご(とちおとめ)の月別の取扱量と平均価格のグラフをみる。 ○ 本時の課題を確認する。	・ 取扱量と平均価格がそれぞれ変化していることに気付かせる。	
	ものの値段（価格）は，どのようにして決まていくのだろうか。		
展開	○ 取扱量と平均価格の2つのグラフを比較し，関係を読み取る。 ・ 取扱量が増える4月から価格が下がる。 ・ 取扱量が極端に少ない9月に価格が高騰する。 ○ 取扱量の比較的多い12月～3月の価格が4月～7月までの価格より高いのはなぜか考え，グループで出し合う。 ○ 供給量，需要量，価格の関係について，供給曲線と需要曲線を使って整理する。 ○ 自分が生産者や小売業者だったら，どのような生産や販売の計画を立てればよいか考える。	・ 読取りが難しい生徒には，特徴的な月を示し，考えるよう指示する。 ・ 早く読取りができた生徒には，気付きを数多くあげさせる。 ・ 生産者の立場，消費者の立場から考えさせる。 ・ 地理的分野での促成栽培等の多様な生産方法を想起させる。 ・ 協議が進んでいないグループに対しては，具体的にいちごやその加工品を購入する場面を想起させる。 ・ 生徒に身近な具体例を挙げて説明する。 ・ 生産者・小売業者それぞれの立場で，これまでの学習内容に基づき考えさせる。 ・ 計画を立てることが難しい生徒に対しては，どちらか一方の立場に立って考えさせる。	○ 需要，供給，市場価格の関係を資料から適切に読み取ることができる。【情報収集・探索能力】（作品法，観察法） 生活経験や既習の学習内容と関連付けている。 ○ 価格の決まり方を生産者，消費者の両方の立場から考え，分かりやすく説明することができる。（観察法，作品法） ○ 学習した内容に基づき，現実の社会の経済活動について考えることができる。【職業理解能力】（作品法，観察法）
まとめ	○ 供給量，需要量，価格の関係についてまとめる。 ○ 次時の学習を確認する。	・ 根拠（資料）を明確にし，考察した内容を分かりやすく書かせる。	

No.15 単元計画・学習指導案例（7）（西条農業高等学校）

コミュニケーション能力を育むことを目指した教科学習の系統性

国語科（古典講読） 単元「随筆（枕草子）」

【西条農業高等学校畜産科第2学年】

時期	学校行事等	教科等	総合的な学習の時間 (農業「課題研究」に代替)	特別活動 (学校行事を除く)
8月	単元「インターンシップ報告会」 ※ねらい:体験を通じた職業観や勤労観を振り返り,その定着や深化を図る。 【ア】:自分の考えを場に応じた適切な形で表現できる。	教科「農業」 科目「課題研究」 単元「調査・研究・実験」 ※ねらい:小学生対象の農業体験プログラムを作成し,その効果を検証する。 【ア】:リーダー・フォロアーシップを発揮して,相手の能力を引き出し,チームワークを高める。		単元「キャリア体験報告会」 ※ねらい:インターンシップの体験を通じた職業観や勤労観を振り返り,その定着や深化を図る。 【ア】:自分の考えを場に応じた適切な形で表現できる。
9月				
10月	文化祭 ※ねらい:学習の成果発表を通して,一人一人の創造性や協力性を培う 【ア】:互いに支え合い分かり合える友人を得る。	教科「理科」 科目「生物Ⅱ」 単元「課題研究」 ※ねらい:課題を設定し,実験などの研究を通して,生物学的に探究する方法や問題解決の能力を身に付けさせる。 【ア】:研究の内容を分かりやすく表現することができる。		
11月			単元「先輩に学ぶ」 ※ねらい:就職や進学をした先輩の体験を聞いて社会人として必要な資質について学ぶとともに,意見交換を通じて進路実現のための情報を得る。 【ア】:適切なコミュニケーションを図り,他者の考えを聞いて理解する。	進路面接Ⅰ ※進路希望調査に基づいた面接の実施
12月		教科「国語」 科目「古典講読」 単元「随筆（枕草子）」 ※ねらい:語句の意味,用法を理解し,その特有の表現を味わう。 【ア】:自分の考えを分かりやすく他者に伝え,他者からの考えを聞いて理解する。		
1月				
2月		教科「農業」 科目「課題研究」 単元「実践発表」 ※ねらい:小学生対象の農業体験プログラムの実践を振り返り,その成果・課題及び今後の方向性等を葉票する。 【ア】:自分の考えを場に応じた適切な形で分かりやすく表現することができる。		
3月				

図中の単元をつなぐ太い直線は,本単元で身に付けさせたいコミュニケーション能力の系統性を示しています。

※図中の【ア,イ,ウ,エ】はそれぞれ【ア】人間関係形成能力,【イ】情報活用能力,【ウ】将来設計能力,【エ】意思決定能力を示しています。

事前・事後の指導における系統性をもった教科学習の授業実践例(高等学校)

コミュニケーション能力育成の視点を取り入れた授業

国語科(古典講読) 単元「随筆(枕草子)」

【西条農業高等学校畜産科第2学年】

キャリア教育の視点に立った指導の工夫

- この学習の前に、小学生や中学生との交流学习を行い、異年齢間のコミュニケーションを図ってきた。本教科を通して、この交流学习を通じて身に付けたコミュニケーション能力をさらに高めている。
- 本時では、コミュニケーション能力を育成するため、グループ学習を取り入れ、自分の考えを書いたカードを用いて整理することにより、考えを分かりやすく伝える指導を工夫をしている。

1 学年 第2学年

2 科目名・単元名 「古典講読」・随筆(枕草子「中納言参り給ひて」)

3 単元(題材)の目標

- 文節や語句等、意味のまとまりを意識しながら、音読する。
- 語意を文脈に即して類推することで、語の意味や用法についての理解を深める。
- 筆者の思想や価値観を示す語句を指摘し、その内容を理解する。
- 自分の考えを分かりやすく他者に伝え、他者からの考えを聞いて理解する。【コミュニケーション能力】

ゴシック体の部分は、
キャリア教育の視点
を示しています。

4 指導と評価の計画(全4時間)

次	学習内容 (時数)	評価				評価方法
		関	考	表	知	
1	音読、構成の確認(1)				○	観察法(発言)
2	語句の意味の考察(2) 本時	○		○	○	観察法(発言) 作品法(ワークシート)
			○			観察法(発言) 作品法(ワークシート)
3	読み取り(1)			○		観察法(発言)

5 本時の目標

- 語意を文脈に即して類推することで、語の意味や用法についての理解を深める。
- 語句の意味、用法について、正しく理解する。
- 自分の考えを分かりやすく他者に伝え、他者の考えを聞いて的確に理解する。

【コミュニケーション能力】

6 本時の指導過程（2時間連続による指導過程の授業である。）

過程	学 習 活 動	指導上の留意点	評価規準（評価方法） 【キャリア教育の視点】
導 入	○ 前時の授業を想起する。 ○ 本時の目標及び学習内容、学習方法を知る。	・ 本時の目標について板書する。 ・ 前時に行ったグループ分けを確認させる。	
展 開	○ 「枕草子」の章段「かたはらいたきもの」を紹介し、その中に出てくる事例を整理する。 ○ 文章中の事例から言葉の意味を予想しカードに記入する。 ○ K J 法を用いてグループ協議を行う。 ・ 個人の考えをカードを示し発表し合う。 ・ グループの考えをまとめる。 ・ グループ内でまとめた言葉の意味の妥当性について協議する。（「中納言参り給ひて」に当てはめてみる。） ○ グループごとに発表する。 ○ 辞書を用いて語意（「かたはらいたし」）の確認をする。	・ 本文中において、筆者が「かたはらいたし」と感じている事柄について下線を引かせる。 ・ 事例から、「かたはらいたし」という言葉の意味を予想させることで、筆者のものの感じ方や価値などを把握させることにつなげる。 ・ 以前、他の教科（農業）の授業で行ったK J 法を想起させる。 ・ 発表の際、まず結論を述べ、次にその理由を2～3点あげて述べる発表の型に留意させる。 ・ 協議が進んでいないグループについては机間指導を行い詳しく説明する。 ・ グループで想像した言葉の意味について、「中納言参り給ひて」をヒントにグループの結論をまとめさせる。 ・ 聞き手に分かりやすく説明するため、根拠を明確にした発表に対して形成的評価を行い、分かりやすい説明の方法に気付かせる。	○ 語意を文脈に即して類推することで、語の意味や用法についての理解を深めることができる。 （観察法、作品法） ○ 自分の考えを分かりやすく他者に伝え、他者の考えを聞いて理解することができる。 【コミュニケーション能力】 （観察法、作品法） ○ 語句の意味、用法について、正しく理解することができる。 （観察法、作品法）
ま と め	○ 本時のまとめを行う。 ○ 次時の学習を確認する。	・ 次時は、筆者の価値観などを示す語句を探して、グループ学習を行うことを告げる。	

コミュニケーション能力を育むことを目指した体験的な学習の系統性

総合的な学習の時間 単元「研修旅行の事後学習」

【西城紫水高等学校第2学年】

時期	学校行事	教科	総合的な学習の時間	特別活動 (学校行事を除く)
10月		教科「情報」 科目「情報A」 単元「情報の収集・発信と情報機器の活用」 ※ねらい：必要とする情報を効率的に検索・収集する方法を習得する。【イ】	単元「研修旅行自主研修事前検討会」 ※ねらい：グループ毎の課題を明らかにし、ねらいに沿った研修を計画する。 【ア】：リーダー・フォロアーシップを発揮して、相手の能力を引き出し、チームワークを高める。	
		教科「公民」 科目「政治・経済」 単元「現代の経済」 ※ねらい：経済生活の変化、現代経済の機能について理解する。 【イ】		
	球技大会	教科「保健体育」 科目「体育」 単元「球技」	単元「グループ別自主研修」 ※ねらい：グループ内で課題を設定して、調査・研究を行う。 【ア】：自己の職業的な能力・適性を理解し、それを受け入れて伸ばそうとする。進路や職業・産業の動向について、多面的・多角的に情報を集め検討する。	ホームルーム活動 単元「研修旅行 ホテル職員による講話」 ※ねらい：宿泊ホテルの方からの講話を通して、働くことの意義について学ぶ。【ア、イ】
	ピアノコンサート	教科「芸術」 科目「音楽」 単元「鑑賞」		
11月		教科「国語」 科目「国語表現」 単元「表現の実践2」	単元「研修旅行の事後学習」 ※ねらい：研修旅行の研修を通して地域の課題と将来の勤労について考える。 【ア】：自己の思いや意見を適切に伝え、他者の意見を的確に理解し、社会で必要とされる知識と能力を身に付けるための方策を検討する。	
		教科「家庭」 科目「家庭福祉基礎」 単元「地域の福祉の現状と課題」		
	「高齢者大学交流会」 ※ねらい：地元の高齢者との交流を図る。 【ア】：多様な他者と場に応じた適切なコミュニケーションを図る。	教科「情報」 科目「情報A」 単元「情報の統合的な処理」		
		教科「保健体育」 科目「体育」 単元「ダンス」		ホームルーム活動 単元「選択科目について」 ※ねらい：自分の進路選択にあわせた科目選択ができる。 【エ】

図中の単元をつなぐ太い直線は、本単元で身に付けさせたいコミュニケーション能力の系統性を示しています。

※図中の【ア、イ、ウ、エ】はそれぞれ【ア】人間関係形成能力、【イ】情報活用能力、【ウ】将来設計能力、【エ】意思決定能力を示しています。

事前・事後の指導における系統性をもった教科学習の授業実践例(高等学校)

コミュニケーション能力育成の視点を取り入れた授業

総合的な学習の時間 単元「修学旅行の事後学習」

【西城紫水高等学校第2学年】

キャリア教育の視点に立った指導の工夫

- この学習は、インターンシップや修学旅行において、「働くこと」をキーワードに企画を立てた体験的な学習を通して、望ましい勤労観・職業観を育てることをねらいとしている。本時のグループは修学旅行で共に研修の企画を立てたグループであり、そのグループで討議を行うことで、学習の効果を高めている。
- 本時で意見交換するグループは、修学旅行では同じ体験をしており、経験の中から得られたことに共通点があり、さらにコミュニケーション能力を育成を目指す指導を工夫をしている。

1 学年 第2学年

2 科目名・単元名 総合的な学習の時間 単元「修学旅行の事後学習」

3 単元(題材)の目標

- 大都市と地方の違いや課題について考え、グループ内で議論することができる。
- 将来、自分自身が働くことを想定し、今やらなければならないことを考えることができる。
- 自分の考えを分かりやすく他者に伝え、他者からの考えを聞いて理解する。【コミュニケーション能力】

ゴシック体の部分は、
キャリア教育の視点
を示しています。

4 指導と評価の計画(全4時間)

次	学習内容 (時数)	評価					評価方法
		関	考	表	知	【キャリア教育の視点】 評価規準	
1	報告会に向けて(3)				○	- グループ内で積極的に活動している。 - 話し合いの中ではたくことへの意識を高めている。 - 収集した情報を分かりやすくまとめている。 - グループ内で出された課題について理解し、解決策を考えている。	観察法(発言)
2	報告会(1)	○		○		分かりやすく説明している。	観察法(発言) 作品法(ワークシート)
			○		○	いろいろな考えを吸収しようとして聞いている。	観察法(行動)
3	社会に必要な知識や能力を知ろう(1) 本時				○	- 社会に必要な知識や能力について知る。 - インターンシップや修学旅行での研修等を振り返りながら、今必要とされる力を身に付けることが必要であることを理解する。 ○ 自己の職業的な能力・適性を理解し、それを受け入れて伸ばそうとする。	観察法(発言) 作品法(ワークシート)
						【コミュニケーション能力】	観察法(発言)

5 本時の目標

- 社会で必要な知識や能力について知る。
- インターンシップや修学旅行での研修等を振り返りながら、今必要とされる力を身に付けることが必要であることを理解する。
- 自己の職業的な能力・適性を理解し、それを受け入れて伸ばそうとする。

【コミュニケーション能力】

6 本時の指導過程（2時間連続による指導過程の授業である。）

過程	学 習 活 動	指導上の留意点	評価規準（評価方法） 【キャリア教育の視点】
導 入	○ 本時の目標及び学習内容、学習方法を知る。	・ 本時の目標について板書する。 ・ 前時に行ったグループ分けを確認させる。	
展 開	○ インターンシップや修学旅行を振り返り、働く人たちが身に付けていた知識や能力を思い起こす。 ○ グループ討議で出てきた知識や能力の中で、自分が社会に出るまでに身に付けておくべき知識や能力について考える。 ○ 社会で求められる知識や能力を示して、これら「社会人基礎力」がもたれている理由は何かを考える。 ○ 「付箋紙の秘密」を聞いて、失敗することの必要性をグループで考えてワークシートにまとめてグループごとに発表する。 ○ 社会人基礎力を身に付けるために、今やらないといけないことを考える。	・ 具体的な事例を挙げて、働く人たちには自分たちには身に付いていない知識や能力があることに気付かせる。 ・ 自分の考えをワークシートに記入し、グループで意見交換をする。 ・ 多くの意見を引き出す。 ・ 在学中に身に付けなければならない知識や能力があることに気づかせる。 ・ グループで意見交換をした後、発表させる。 ・ グループで出た意見を板書し、それらをグループ化して社会人基礎力につなげて生徒に示す。 ・ 「付箋紙の秘密」を作成していたことを話題として、失敗を恐れずに粘り強く取り組むことが大切であることに気付かせる。 ・ 考えたことをワークシートにまとめさせる。	○ 社会で必要な知識や能力について知る。 ○ 修学旅行の研修等を振り返りながら、今必要とされる力を身に付けることが必要であることを理解する。 ○ 語意を文脈に即して類推することで、語の意味や用法についての理解を深めることができる。 (観察法、作品法) ○ 自己の職業的な能力・適性を理解し、それを受け入れて伸ばそうとする。【コミュニケーション能力】 (観察法、作品法)
ま と め	○ 本時のまとめを行う。 ○ 次時の学習を確認する。	・ 本時では、社会人教育力について考えたこと、身に付けるためにはどうしたらよいかをグループで意見交換したことを説明する。	

世界の主食 米作りに挑戦しよう⑤

（三）月

氏名

- ◎ 課題について調べたことを伝える準備をしよう！
- ① いろんなことを伝えたいか考えよう。(伝えたいことの要点)

[illegible]

- ②どうやって伝えるか考えよう。(絵や図で表そう)

--

- ③分かりやすく伝えるために必要なものを書き出そう。

世界の主食 米作りに挑戦しよう④

(
三
四

氏名

- ◎ 課題について調べる！

Sl. No.	Name of the Candidate	Registration Number	Grade	Score	Remarks
1	ABHIRAM K	123456789	10	85	
2	ADARSH K	987654321	11	78	
3	ADITHYAN K	456789012	12	92	
4	ADITHYAN K	321098765	9	88	
5	ADITHYAN K	210987654	10	75	
6	ADITHYAN K	109876543	11	82	
7	ADITHYAN K	098765432	12	70	
8	ADITHYAN K	987654321	9	85	
9	ADITHYAN K	876543210	10	72	
10	ADITHYAN K	765432109	11	80	
11	ADITHYAN K	654321098	12	68	
12	ADITHYAN K	543210987	9	83	
13	ADITHYAN K	432109876	10	71	
14	ADITHYAN K	321098765	11	79	
15	ADITHYAN K	210987654	12	69	
16	ADITHYAN K	109876543	9	84	
17	ADITHYAN K	098765432	10	73	
18	ADITHYAN K	987654321	11	81	
19	ADITHYAN K	876543210	12	70	
20	ADITHYAN K	765432109	9	86	
21	ADITHYAN K	654321098	10	74	
22	ADITHYAN K	543210987	11	80	
23	ADITHYAN K	432109876	12	69	
24	ADITHYAN K	321098765	9	83	
25	ADITHYAN K	210987654	10	71	
26	ADITHYAN K	109876543	11	79	
27	ADITHYAN K	098765432	12	69	
28	ADITHYAN K	987654321	9	84	
29	ADITHYAN K	876543210	10	73	
30	ADITHYAN K	765432109	11	81	
31	ADITHYAN K	654321098	12	70	
32	ADITHYAN K	543210987	9	86	
33	ADITHYAN K	432109876	10	74	
34	ADITHYAN K	321098765	11	80	
35	ADITHYAN K	210987654	12	69	
36	ADITHYAN K	109876543	9	83	
37	ADITHYAN K	098765432	10	71	
38	ADITHYAN K	987654321	11	79	
39	ADITHYAN K	876543210	12	69	
40	ADITHYAN K	765432109	9	84	
41	ADITHYAN K	654321098	10	73	
42	ADITHYAN K	543210987	11	81	
43	ADITHYAN K	432109876	12	70	
44	ADITHYAN K	321098765	9	86	
45	ADITHYAN K	210987654	10	74	
46	ADITHYAN K	109876543	11	80	
47	ADITHYAN K	098765432	12	69	
48	ADITHYAN K	987654321	9	83	
49	ADITHYAN K	876543210	10	71	
50	ADITHYAN K	765432109	11	79	
51	ADITHYAN K	654321098	12	69	
52	ADITHYAN K	543210987	9	84	
53	ADITHYAN K	432109876	10	73	
54	ADITHYAN K	321098765	11	81	
55	ADITHYAN K	210987654	12	70	
56	ADITHYAN K	109876543	9	86	
57	ADITHYAN K	098765432	10	74	
58	ADITHYAN K	987654321	11	80	
59	ADITHYAN K	876543210	12	69	
60	ADITHYAN K	765432109	9	83	
61	ADITHYAN K	654321098	10	71	
62	ADITHYAN K	543210987	11	79	
63	ADITHYAN K	432109876	12	69	
64	ADITHYAN K	321098765	9	84	
65	ADITHYAN K	210987654	10	73	
66	ADITHYAN K	109876543	11	81	
67	ADITHYAN K	098765432	12	70	
68	ADITHYAN K	987654321	9	86	
69	ADITHYAN K	876543210	10	74	
70	ADITHYAN K	765432109	11	80	
71	ADITHYAN K	654321098	12	69	
72	ADITHYAN K	543210987	9	83	
73	ADITHYAN K	432109876	10	71	
74	ADITHYAN K	321098765	11	79	
75	ADITHYAN K	210987654	12	69	
76	ADITHYAN K	109876543	9	84	
77	ADITHYAN K				

今日のまとめ・収穫


おすすめ
自分の考え

世界の主食 米作りに挑戦しよう⑥

月 日 ()

氏名

◎ 課題について調べたことを「世界の主食発表会」で伝える準備を進めていこう！

みんなの考えと力を出し合って分かりやすく伝える工夫をしよう。

分かりやすい表現のためのポイントが、適切な箇所を示してあります。

＜本番までにすること＞

- ・発表に必要なもの（説明するときに見せるもの）の準備
- ・発表原稿（説明するとき言う言葉）の準備
- ・発表の練習
- ・その他

月 日	したこと	できなかったこと 次の時間にすること 次に時間までに用意すること
月 日 ()		
月 日 ()		
月 日 ()		
月 日 ()		
月 日 ()		

世界の主食 米作りに挑戦しよう⑦

月 日 ()

氏名

分かりやすく表現する方法だけでなく、その理由も示してあります。

◎ いよいよ「世界の主食発表会」です。

グループの友達と、アイディアや力を出し合ってわかりやすく伝える工夫をしよう。

★発表原稿づくりのてびき★

- ◎知らない人に分かりやすく伝えるために・・・
- ・ じゅんじょよく説明しよう。
(はじめに・つぎに・さいごに)
 - ・ わかりやすい言葉をさがしましょう。
(むずかしい言葉には説明を加える)
 - ・ どこで写真や絵や実物を指し示すかはっきりさせよう。
(この写真のように・このように)
 - ・ 調べて分かったことだけでなく、考えたことや思ったことも伝えよう。

★発表練習のてびき★

- ◎効果的に伝えるために・・・
- ・ 説明するためにつくったものを指し示して、しっかりみせよう。
(説明するとき、立つ場所も考えよう)
 - ・ 原稿を見ないで、相手の顔を見て、声をとけましょう。
(読むのではなく、話しましょう)
 - ・ 写真を指したり、実物を見せたりするところでは、少し時間をとりましょう。
(みんなが見えたかどうかたしかめる・実物は高く上げて見せる)

世界の主食 米作りに挑戦しよう⑧

(
(
|||
|||

氏名

1000000

「世界の主食発表会」をふりかえろう。

- ①「世界の主食発表会」で、調べたことを発表するのは楽しかった
ですか ○ ○ ○ ○

感謝(思)ったこと・考えたこと・うまくできたところ・・・など)

[illegible]

**世界の主食
米作りに挑戦しよう⑨**

(
(
|||
|||

氏名

☆学習してきたことをふりかえりましょう☆

グループ

- ## ①「世界の主食」を調べることは楽しかったですか？

☐ ☐ ☐

調べてよく分かったこと	よく分からなかったこと もっと調べてみたいこと

- ② **言** べたこととめ方・発表はうまくいきましたか？

○
○
○

うまくいったこと	うまくいかなかったこと
	＜そのわけ＞

- ②「世界の主食発表会」で、友だちの発表を見たり聞いたりすることは楽しかったですか？ ○ ○ ○ ○

感想 (□□グループの△△のところがよかった・・・など)

--	--	--	--	--	--

③グループの友だちと協力して学習しましたか？

○ ○ ○

<そのわけ>

④4月から「世界の主食」の学習を続けてきました。

この学習で、どんなことが分かりましたか？どんなことが勉強になりましたか？どんなことを感じましたか？（自分のこと・友だちのこと・お世話になった方のこと・米作りのこと・・・など）

--

社会を支える技術と人々

研究レポートに挑戦しよう

月 日 ()

氏名

--

☆仕事や職業について調べてまとめましょう☆

○レポートに書くこと

(1) テーマ

(2) 調べたいと思ったこと

(3) 調べてわかったこと

① 仕事の内容（どんな仕事をするのか）

② 仕事をするための準備（その仕事をするためにはどんなことが必要か 身に付ける技術・資格など）

③ 仕事でチャレンジしたいこと（その仕事をするなかでどんなことにチャレンジしたいか チャレンジできるか）

☆ 表や写真などを入れてもいいですね。

(4) 感想

(5) 参考にした資料

さあ、資料を集めてレポート作りに取りかかりましょう！

題「

ー キャリア・スタート・ウィークを通して ー

2年 組 番

1 事業所【 】の志望理由

職場体験する職種を希望した理由を書く。

2 個人別目標と理由

職場体験での個人目標とその目標に決めた理由を書く。

3 活動の報告

曜 日	活 動 内 容
日 ()	
日	
日 ()	
日 ()	
日 ()	

事業所で体験した活動を書く。

私が実習した事業所について、紹介します。

(1) みんなに知ってもらいたい「よいところ」

多くの人に知ってもらいたい事業所のよいところを書く。

(2) 私のアイディア

事業所のこんな所を工夫するともっとよくなると思うことを提案する。

4 体験して学んだこと、感想など。

職場体験して、「働くこと」「働いている人の想いや夢」「自分の将来のこと」「自分が今しなければならないこと」等を書く。

No.16 教材例（3）職場体験事業所決定に向けて例①（大竹市立玖波中学校）

ワークシート1

年 組 番/氏名

1. 体験学習であなたが学びたいこと。

1
2
3

2. 体験先の人がどのような気持ちで受け入れて下さるのかを考えてみましょう。

中学生を受け入れて期待すること

期待にこたえるために頑張ること

中学生を受け入れて不安なこと

自分たちが頑張らないとならないこと

3. 職場体験に向けて、自分たちの課題を踏まえ、どんな目標を考えましたか。

ワークシート2

※自分なりに目的意識をしっかり持って、職種や事業所の選定を行いましょう。

職種名	選んだ理由は？ どんなことをがんばろうと思いますか？
第 1 希 望	
第 2 希 望	
第 3 希 望	

※仕事に関して何に興味や関心があり, どんなことをがんばろうと思うか, 具体的に書きましょう。

職種名	選んだ理由は? どんなことをがんばろうと思いますか?
第 4 希 望	
第 5 希 望	
第 6 希 望	

事前学習第一次資料（職場体験を経験した先輩の感想文）

ここに紹介します『感想文』は、昨年度の『キャリア・スタート・ウィーク』シンポジウムにおいて発表した、各学校代表者のものの一部です。ご活用ください。

『資料１』

私は、中国電力(株)大竹電力センターに職場体験に行きました。中国電力には、建物の中での仕事だけではなく、発電のためのダムにたまっているゴミを取り除いたり、操作する機器のさびを防ぐために塗装をしたり、送電設備を点検するために山を歩いて作業するなど、体験前に想像もしていなかったような仕事がたくさんありました。…（略）…、２日目の昇塔訓練で、鉄塔にのぼっているところです。私たちは、８ｍ～９ｍくらいの高さまでのぼらせてもらいましたが、実際の仕事では、相当高いところまでのぼって、作業をするそうです。落ちないように命綱を３本つけ、ヘルメットに安全靴など、安全にはとても神経を使っていました。

私の職場体験にあたっての課題は、働くということがどういうことか、そして、学校で勉強することとどう違うのかということを知ることでした。私は職場体験をする前、働くということは、自分の得意分野を生かすことのできる楽しいものだというイメージを持っていました。しかし、１日目の暑い外でのいろいろな設備の点検などを通して、予想以上に仕事が大変だということに気づきました。そして、働いてお金を稼ぐということは、とても厳しいものだということを感じました。

私が職場体験に行った中国電力の事業所の方は、どの方も一つの作業に何度もチェックを入れていて、とても一つ一つの仕事に責任を持っているように思いました。また、つらい仕事でも絶対に手をぬかず、その仕事に誇りを持って働いているように見えました。そんな姿を見て、私は、将来自分も仕事に誇りが持てるような職業に就きたいと思いました。

普段の学校生活は、テストがあったり、宿題があったりして、仕事をしている方がきっと楽だろうと私は思っていました。しかし、勉強するかしないかは、自分にしか迷惑はかかりませんが、働いているときは、自分一人が仕事をしないということで、たくさんの人に迷惑がかかってしまいます。その分、働くということは、とても責任があります。そして、その責任があるからこそ、一つの会社が成り立っているのだと思いました。

そして、このことは、私たちの学校生活の中の行事ともつながっていると思います。私たち玖波中学校の体育祭は、赤白にわかれての応援合戦があります。これも、一人一人がその演技に集中して、全員の息がピッタリと合わない、優勝はつかむことができません。何か大きなものをつくったり、大きなことを成し遂げるには、そこにいる全員の力が必要です。そのようなことから、私は、働くということと、学校生活がつながっていることも学ぶことができました。

最後に、職場体験をする前、私は、親から「働くことの大変さは、働いてみないとわからない。」と言われていました。実際に仕事をしてみると、本当にそうでした。毎日、家族のために働いている両親に、改めて感謝しなければならないと思いました。５日間の体験は大変でしたが、とても達成感があり、私にとって有意義なものとなりました。

『資料２』

僕は、デオデオゆめタウン大竹店で職場体験をしました。体験中のおもな仕事は、入荷した商品を倉庫に運ぶことと、店内に商品を陳列することでした。…（略）…、簡単そうに見える仕事ですが、箱が大きく、重たい物は台車を動かすのもひと苦労でした。職場体験をする前に、自分が考えていたのは、初めての体験で失敗することもあると思うけど、職場の人に対する礼儀だけは忘れずに取り組みたいと思っていました。

実際に職場体験をやってみて、１日目と２日目は、店長さんに指示されたとおりに動くことが多かったで

す。でも、3日目からは、自分たちで考えて仕事をやっていきました。具体的に自分たちでやったことは、倉庫整理と店内の掃除などでした。日がたつにつれて緊張もとれ、だんだん仕事が楽しくなってきました。事業所の方々の仕事を見ていると、商品が売れたときは、とても嬉しそうで、お客さんから「広告に載っている商品がない。」とクレームがあったときには、素早く対応されている様子を見て、とても責任感や誇りをもって仕事をしているんだなと感じました。そして、何もできない僕に、親切に仕事内容や仕事の難しさ、社会の厳しさを教えていただきました。

僕は、いつも親に「自分のことは自分でしなさい。」と言われてきましたが、あまりやろうとはしていませんでした。ですが、職場体験で自分の立場での責任を果たすことを学んだので、最近では布団をたたんだり、犬の散歩や食べた後の食器を片づけたりするように意識してやっています。家の人にも、以前のように言われなくなりました。お金を稼ぐということは、とても大変だということがわかりました。いつも何気なく接している両親が、とてもありがたい存在に感じられました。職場体験をして、本当によかったです。

『資料3』

栗谷郵便局で5日間の職場体験をさせていただきました。

郵便局を選んだ理由は、一つは、家に近いことです。そして、郵便局が地域でどんな役割を果たしていて、どんな仕事をしているのか興味が出てきたからです。電話をして、「郵便局で職場体験をさせてもらいたいのですが。」と言ったら、すぐに、「いいですよ。」と言われたので、安心しました。事前に体験先を訪問して、仕事内容や仕事に対してどういう考えでやっていったらよいかを話していただきました。そこで、心構えとして、お客さんに対するあいさつの声を大きくすることをがんばりたいと思いました。

郵便局で体験した仕事は、おもには窓口で切手やハガキを売ることでした。そして、ちょうどレターセットや記念切手を販売することになっていたので、買ってもらえるようにすすめながら、営業活動もしました。レシートを作ったりしました。郵便物に郵便スタンプを押す仕事もしました。終わりに、掃除をしました。最初は、どのようにしたらよいか、とまどったりしましたが、局長さんや職場の人に親切に教えてもらったので、ちょっとずつできるようになりました。ちゃんとできたときはうれしかったです。体験の中で、お客さんが「ガンバレ。」など、いろいろ言ってくれて、応援してくれたので、そのときは、すごくうれしかったです。

職場体験で知ったことは、あいさつの大切さです。それは、あいさつをしたらお客さんとの話のきっかけができて、明るい雰囲気になったりしたからです。これは、どの仕事でも役立つように思えました。僕は、人にあいさつすることは苦手でしたが、体験先でできるようになったので、これから、いろいろあいさつをやっていききたいです。

また、郵便局は、地域にとって大切なものになっています。それは、手紙を運んでくれたり、小包を運んだりするのに必要ですし、お金を振り込んだり、おろしたりすることもできます。あと、ハガキや切手なども郵便局で買えます。いろいろなことを郵便局でできます。なので、郵便局がなかったら、いろいろなことができなくなるので、郵便局は、地域にとっても大切なものなのです。あと、毎日明るく仕事をやられていたのがすごいとも感じました。

この5日間の職場体験では、やりがいのある仕事ができ、あいさつをするという大切さを学んだりできたのでよかったです。いい経験をすることができたので、これからの学校生活に生かしていきたいと思います。

「中納言参り給ひて」ワークシート

Ｑ１ 筆者が「かたはらいたし」と感じている事柄を挙げてみましょう。

Ｑ２ 「かたはらいたきもの」は、どんなことを表す言葉でしょうか？
また、どうしてそう考えましたか。

意味	根拠	グループ討議で、一人一人の生徒から意見が出やすいように、あらかじめカードに意見を記入して、そのカードを利用して話し合いができるような指導の工夫がされています。
意味	根拠	
意味	根拠	
意味	根拠	

ポイントを絞った授業展開にすることで、グループ討議も検討する内容が焦点化されて活発になります。

枕草子

中納言参り給ひて

清少納言

中納言参り給ひて、御扇奉らせ給ふに、「隆家こそいみじき骨は得て侍れ。それを張らせて参らせむとするに、おぼろけの紙はえ張るまじければ、求め侍るなり。」と申し給ふ。「いかやうにかある。」と問ひ聞こえさせ給へば、「すべていみじう侍り。『さらにまだ見ぬ骨のさまなり。』となむ人々申すまことにかばかりのは見えざりつ。」と言高くのたまへば、「さては、扇のにはあらで、海月のななり。」と聞こゆれば、「これは隆家が言にしてむ。」とて、笑ひ給ふ。「かやうのことこそは、かたはらいいたきことのうちに入れつべけれど、『一つな落としそ。』と言へば、いかがはせむ。」

かやうのこと

「かやうのこと」とは
どんなこと?

(こそ)は
かたはらいいたきこと
どんなこと?

かやうのこと

このようなこと

中納言参り給ひて、御扇奉らせ給ふに、「隆家こそいみじき骨は得て侍れ。それを張らせて参らせむとするに、おぼろけの紙はえ張るまじければ、求め侍るなり。」と申し給ふ。「いかやうにかある。」と問ひ聞こえさせ給へば、「すべていみじう侍り。『さらにまだ見ぬ骨のさまなり。』となむ人々申すまことにかばかりのは見えざりつ。」と言高くのたまへば、「さては、扇のにはあらで、海月のななり。」と聞こゆれば、「これは隆家が言にしてむ。」とて、笑ひ給ふ。

かたはらいいたきもの

まらうどなどに会ひて物言ふに、奥の方にうちとけごと人の言ふを、制せで聞く心ち。思ふ人のいたく酔ひさかしがりで、同じ事したる。聞きあたるを知らず、人の上言ひたる。それは何ばかりならぬ使人なれど、かたはらいいたし。旅立ち所近き所などにて、下衆どものざれがはしたる。にくげなるらごを、おのれが心ちになしと思ふまに、うつくしみ遊ばし、これが声のまねにて、言ひける事など語りたる。オある人の前にて、オなき人の、物おぼえ顔に、人の名など言ひたる。ことによしともおぼえぬを、わが歌を人に語り聞かせて、人のほめし事など言ふも、かたはらいいたし。人の起きて物語などするかたはらに、あさましううちとけて寝たる人。まだ音も弾きとのへぬ琴を、心一つやりて、さやうの方知りたる人の前にて弾く。いどしう住まぬ婿の、さるべき所にて男に会ひたる。

かたはらいいたきもの

① 聞きあたるを知らず、人の上言ひたる。
② オある人の前にて、オなき人の、物おぼえ顔に、人の名など言ひたる。
③ ことによしともおぼえぬを、わが歌を人に語り聞かせて、人のほめし事など言ふも、かたはらいいたし。
④ まだ音も弾きとのへぬ琴を、心一つやりて、さやうの方知りたる人の前にて弾く。
⑤ いどしう住まぬ婿の、さるべき所にて男に会ひたる。

かたはらいいたきもの

① 聞きあたるを知らず、人の上言ひたる。
② オある人の前にて、オなき人の、物おぼえ顔に、人の名など言ひたる。
③ ことによしともおぼえぬを、わが歌を人に語り聞かせて、人のほめし事など言ふ。
④ まだ音も弾きとのへぬ琴を、心一つやりて、さやうの方知りたる人の前にて弾く。
⑤ いどしう住まぬ婿の、さるべき所にて男に会ひたる。

【日本古典文学全集】
いたたまれない感じのするもの。
〔ベネッセ全訳コンパクト古語辞典〕
そばで見たリ、聞いたり、見られたりするのが
つらい様子を表す
・(はたから見て)みつともない。
見苦しい。苦々しい。

ワークシート その壱

氏名（ ）

◎インターンシップや修学旅行の研修を振り返り、働いている人たちが身に付けていた知識や能力について考えてみましょう。

自分の考え

みんなの意見

◎先に出た知識や能力の中で、社会に出るまでに（学校を卒業するまでに）身に付けていくべき知識や能力について考えてみましょう。

自分の考え

みんなの意見

ワークシート その弐

氏名 ()

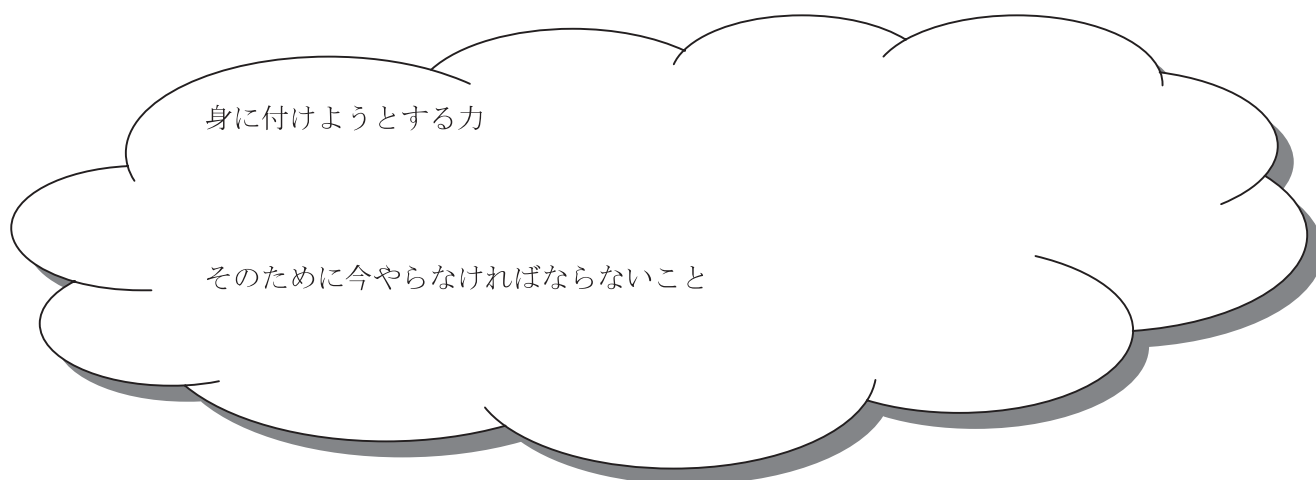
◎社会人基礎力

分 類	能 力 要 素	内 容
※前に踏み出す力 一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組み力	主 体 性	物事に進んで取り組む力
	働 き か け 力	他人に働きかけ巻き込む力
	実 行 力	目的を設定し確実に行動する力
※考え抜く力 疑問を持ち、考え抜く力	課 題 発 見 力	現状を分析し目的や課題を明らかにする力
	計 画 力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
	創 造 力	新しい価値を生み出す力
※チームで働く力 多様な人とともに、目標に向かって協力する力	発 信 力	自分の意見をわかりやすく伝える力
	傾 聴 力	相手の意見を丁寧に聞く力
	柔 軟 性	意見の違いや立場の違いを理解する力
	情 況 把 握 力	自分と周囲の人々や物事との関連性を理解する力
	規 律 性	社会のルールや人との約束を守る力
	ストレスコントロール力	ストレスの発生源に対応する力

◎社会（企業）は、学校の中でも「社会人基礎力」を身に付けることを望んでいます。なぜ、社会が求めるのか考えてみましょう。

◎今までに大きな失敗をいかした経験がありますか？

◎「社会人基礎力」を身に付けるために、今やらなくてはいけないことを考えていきましょう。



No.17 教員対象アンケート例（竹原高等学校）

【質問 1】

失業率や自発的離職者数は年々増加傾向にあります。これらの問題についてどのように考えていますか。

- ア 非常に重要な問題である
- イ どちらかといえば重要な問題である
- ウ どちらともいえない
- エ それほど重要な問題ではない
- オ 重要な問題ではない
- カ 特に考えたことはない

【質問 2】

キャリア教育の実施は必要であると考えていますか。

- ア 絶対に必要である
- イ どちらかといえば必要である
- ウ どちらともいえない
- エ それほど必要ではない
- オ 全く必要ではない

【質問 3】

質問2でア・イと答えた方、キャリア教育はどの段階から実施すべきだと考えていますか。

- ア 小学校から
- イ 中学校から
- ウ 高等学校から
- エ 大学から

【質問 4】

質問2でウ、エ、オと答えた方、その理由として近いものは次のうちどれですか。

- ア 今言われているキャリア教育そのものに意味がない
- イ キャリア教育よりも先にやる必要がある

ウ キャリア教育という教科のくくりはなく、全教科を通じて児童生徒が学びとるものである

エ 学校現場で行うものではなく、家庭で行うものである

オ その他

☐

【質問 5】

キャリア教育を行う場合、どの教科・活動での実施が適当と思いますか。

ア 総合的な学習の時間

イ 社会科系教科

ウ 課外学習

エ 社会科系以外の教科

オ その他

☐

【質問 6】

キャリア教育を実施するに当たって、課題であると想定されることを以下から選択してください（複数回答）

ア 想定の内時間内への組み込みが困難

イ 企業等への交渉などプログラム開発のための時間確保が困難

ウ 実施予算の確保が困難

エ 企業連携に当たり、いかに企業PRとならず教育効果を確保できるか不安

オ キャリア教育プログラムの量的不足

カ キャリア教育プログラムの多様性不足

キ キャリア教育プログラム情報の不足

ク キャリア教育を実施する教員不足

ケ 企業と学校との間に入り、キャリア教育を実施する専門機関の不足

コ その他

☐

社会に貢献しようとする児童生徒の育成を目指して

大竹市地域の キャリア教育について

— 児童生徒と地域の人々のかかわりを通して —

実践協力校

- ☆ 小学校 3校
小方小学校, 大竹小学校, 玖波小学校
- ☆ 中学校 3校
小方中学校, 大竹中学校, 玖波中学校
- ☆ 高等学校 1校
大竹高等学校

小・中・高等学校における系統的な指導項目例（人間関係形成能力）

	小学校	中学校	高等学校
あいさつ	あいさつや返事をする。	時と場合に応じたあいさつをする。	時と場合と相手に応じたあいさつをする。
聞く	友達の話を自分の考えと比べて聞く。	他者の話の意味を考えながら聞く。	異年齢の人や異性等、多様な他者の話の意味を考え、見通しを立てる。
話す	自分の考えや気持ちを、わかりやすくみんなの前で話す。	他者に配慮しながら、自分の意思を伝える。	異年齢の人や異性等、多様な他者に配慮しながら、自己の思いや意見を適切に伝える。
理解する	友達の考えや気持ちを理解する。	他者の考えを理解する。	異年齢の人や異性等、多様な他者の意思を的確に理解する。
協力する	友達と協力して、学習や活動に取り組む。	他者と協力して活動する。	異年齢の人や異性等、多様な他者と協力して活動する。
人間関係を築く	友達への思いやりの気持ちを持ち、人間関係を築く。	他者との関わりを大切にしながら積極的に人間関係を築く。	異年齢の人や異性等、多様な他者の一員としての自覚を持ち、人間関係を築く。

小・中・高等学校における系統的な指導項目例（役割把握・認識能力）

	小学校			中学校			高等学校		
	低学年	中学年	高学年	1学年	2学年	3学年	1年次	2年次	3年次
役割把握・認識	自己の役割を理解する			夢を描き、集団と自己の役割を理解する			将来設計をし、社会貢献との調和を図る		
	家の手伝いや割り当てられた仕事・役割の必要性がわかる。	互いの役割や役割分担の必要性がわかる。	社会生活にはいろいろな役割があることやその大切さが分かる。	集団の中で自分の役割が分かる。	係や仕事を積極的に引き受ける。	最高学年としての自覚を持って、リーダーの役割を積極的に果たす。	学校において自分の果たすべき役割を自覚し、積極的に役割を果たす。	社会において自分の果たすべき役割を自覚し、積極的に役割を果たす。	ライフステージに応じた個人的・社会的役割や責任を理解する。

大竹市内の小中高等学校の教育活動に 協力していただける方、事業所を募集しています。

外部講師（ゲストティーチャー）

- 応募資格
教育に興味・関心をもち、小中高校生・教員・保護者等に、自分の得意分野や職業・人生経験を話していただける方。
- 講師業務の内容
特別活動、総合的な学習の時間等における講話や授業への協力をお願いします。

職場体験活動等受け入れ

- 応募資格
教育に興味・関心をもち、小中高校生に、職場見学、職場体験、インターンシップ等の職業に関する体験活動の支援にご協力いただける事業所。
- 実施時期
学校と受け入れ事業所にとって都合のよい時間帯、期日、期間を設定します。

連絡先・・・詳細については、次の最寄りの各学校キャリア教育担当者までお問い合わせください。

- 玖波小学校 TEL 57-3101 FAX 57-3102
- 大竹小学校 TEL 52-3177 FAX 52-3178
- 小方中学校 TEL 57-7211 FAX 57-7208
- 大竹高等学校 TEL 52-4325 FAX 52-9077

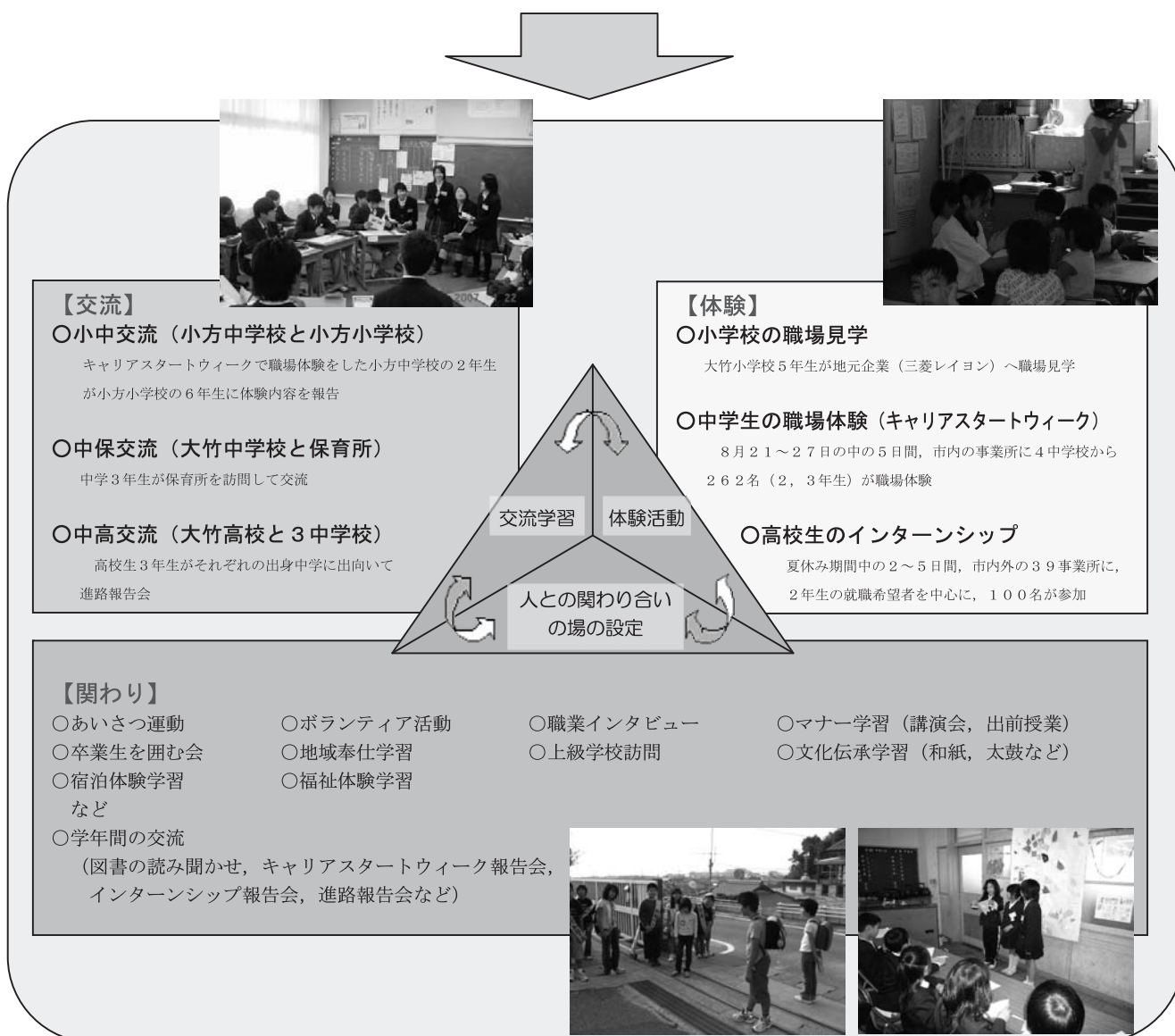
- 小方小学校 TEL 57-7158 FAX 57-7159
- 玖波中学校 TEL 57-7241 FAX 57-3060
- 大竹中学校 TEL 52-5177 FAX 52-5178

【大竹市地域におけるキャリア教育の視点に立った小・中・高等学校の実践例】

大竹市地域では、広島県教育委員会の「キャリア教育実践モデル開発事業」の指定を（平成18年度・19年度）受け、「地域の教育力を活用した、小・中・高等学校における発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育の学習プログラムの開発」に取り組んでいます。

- ① 職場見学，職場体験，インターンシップ等の体験的な学習活動をととして，
→ 生徒の職業理解能力を高めるとともに，勤労観，職業観などの育成を図る。
- ② 地域のボランティア団体等の協力を得ながら，地域交流を促進することによって，
→ 児童生徒のコミュニケーション能力や自他の理解能力を高める。
- ③ 異年齢間の交流授業をととして，
→ 生徒の情報収集・探索能力を高めるとともに，勤労観，職業観などの育成を図る。

社会に貢献しようとする児童生徒の育成を目指して
— 児童生徒と地域の人々のかかわりを通して —



夢をはぐくみ、在り方生き方を考えさせる

キャリア教育の推進

Ver 2



**「将来の竹原を支える、郷土を愛する心をもった
子どもたちの育成をめざして」**

キャリア教育モデル開発事業（広島県教育委員会指定）

竹原市キャリア教育推進委員会

【～竹原っ子の店～ バンフーSHOP】（小・中・高合同販売実習）の取組み

18年度の実践



18年度、竹原小学校・竹原中学校・竹原高等学校は、従来のオープンスクールや高校体験授業・上級学校訪問等に加えて、「中高校生が小学校6年生へ体験学習の発表を行う授業」「高校生が小学校5年生のパソコン授業をアシスタント教員として支援する授業」等、児童生徒が校種を超えて直接交流する研究実践を実施しました。

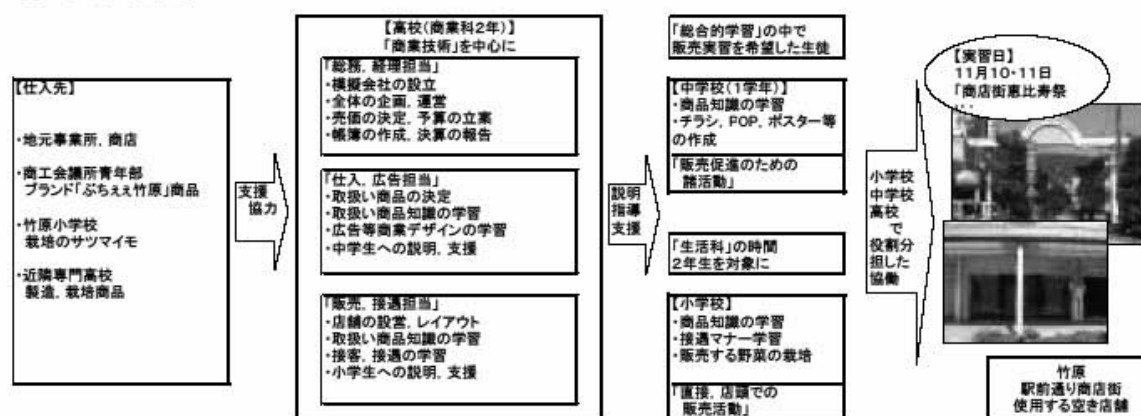
実践の検証

児童生徒が直接交流することで、年長者は教えることの喜びと難しさを通して自己有用観・達成感や責任感を得る。年少者は教員（大人）から教わるのとは違う感覚で課題をより身近に感じたり、近未来の自己をイメージしやすくなり上級学校への垣根が低く感じられるようになった。

「検証された有用性を活かす、新しい児童生徒の校種間連携授業の企画」

小・中・高合同販売実習の企画

【企画概略図】



	児童・生徒到達目標	キャリア諸能力との関連
小学生	挨拶やお客様に対する適切な対応ができるようになる	【コミュニケーション能力】
	自分の役割を把握し自分で考え行動できるようになる	【役割把握・認識能力】 【課題設定・解決能力】
中学生	情報宣伝という役割を把握し、「どうすれば商品の良さを伝えることができるか」など主体的に考え工夫し、仲間と協力してチラシやPOP作成をできるようになる	【役割把握・認識能力】 【課題設定・解決能力】 【情報収集・探索能力】
	専門高校や専門学科の授業内容を知ること、高校進学に向けて自分の興味関心や適正を考えるようになる	【情報収集・探索能力】 【計画実行能力】
高校生	店舗運営のリーダーとしての役割・責任を自覚して、小中学生を支援することを通して学ぶことの大切さや教えることの難しさを理解する	【役割把握・認識能力】 【課題設定・解決能力】 【コミュニケーション能力】
	店舗を運営することで、商業に関わる様々な仕事があることを実体験として理解するとともに、商業科で学んでいる内容が実社会でどのように活用されているかを知り学習意欲が高まる	【職業理解能力】 【計画実行能力】

事前指導

【小学校】：「商品となる、さつまいもの栽培」と「接客指導」



6月苗植え



11月芋掘り



高校生と接客
ロールプレイ



【中学校】：「高校生による企画プレゼン」「チラシ広告・POPのデザインおよび作成」



企画説明、中学生の投票で「店名：バンブーSHOP決定」、 「中学生の作品が本物の新聞チラシに」

実習当日



「開店準備」



「オープニング」



「いらっしゃいませ」



「ありがとうございました」



【小学生】

「いらっしゃいませ」と言うのにドキドキしたよ。お客さんがいっぱい来てうれしかった。

【中学生】

大きな声で接客するのははずかしかったけれど、商品が一つでも売れた時はすごくうれしかった。

【高校生】

小学生の元気な声に後押しされて緊張が解けたいつもとは逆の売る側の経験ができてよかった。

【来店者】

子どもたちが一生懸命にがんばっている姿に感動しました。このような活動をもっと取り入れて。

今回の取組みに共催いただいた駅前商店街振興会をはじめ、ご協力をいただいた地元企業・事業所その他関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

小学校の取組み事例

夢と希望を持って生きていくための勤労観、職業観の基盤を培う

—体験学習プログラムの実践例—

低学年のテーマ：身近な人たちのくらしを調べよう

- 家の手伝いをし、自分が家族の一員であることに気付く。
- 町探検を通して、身近な人の様子を知り、挨拶の大切さに気付く。



児童の感想：「合同販売実習」に参加して
・大きな声で、「いらっしゃいませ、野菜を買ってください。」と言ったら、お客さんがいっぱいやってきて「やった。」と思いました。
・やっぱり挨拶が大切だと思いました。
【人間関係形成能力】の育成

中学年のテーマ：働く人たちから生き方を学ぼう

- 地域のお店の取材を通して、地域の一員としての自覚を高める。
- 誇りや喜びを持って働いておられる方の姿を通して、働くことの大変さ、やりがい、喜びなどを感じる。



児童の感想：地域の方の話を聞いて
・お店の人たちは、地域のよさをいろいろな人に伝えたいという思いで仕事をされていることがわかりました。
・わたしたちもこの地域を大切にしていきたいと思いました。
【情報活用・収集能力】の育成

高学年のテーマ：未来に向かって生きる力を高めよう

- 中高生から職場体験、インターンシップで学んだことを聞き職場見学を行う。
- 中学校オープンスクールへ参加し、中学校での生活を思い描く。
- プロジェクトDREAM～未来に向かって夢や希望をふくらませ、自分の能力を高める。



児童の感想：職場見学をして
・自分の知らなかったいろいろな仕事があることがわかりました。
・どの仕事もやりがいのある仕事だなと思いました。
【意思決定能力・将来設計能力】の育成

進学
中学校へ

中学校の取組み事例

3年間を見通したキャリア教育の推進

—体験学習プログラムの実践例—

第1学年目標：夢を持とう

○集団宿泊学習で本校保護者による講演「仕事を語る(おやじクラブ)」

○「小中高合同販売実習」(竹原っ子の店・パンブーSHOP)体験学習



生徒の感想：「小中高合同販売実習」の体験学習から

- ・ お客様からの質問に答える時がとても緊張しました。
- ・ 販売とは商品を売るだけではなく、人とのかわりを大切にしないといけないと思いました。

【情報活用能力(職業理解)】の育成

第2学年目標：夢を語ろう

○職場体験学習 竹原市キャリア・スタート・ウィーク(5日間の職場体験)

○学んだ内容を深める体験レポートの作成、保護者・事業所に公開される職場体験発表会

○修学旅行で「東京で活躍する先輩(映画監督)」による講演



生徒の感想：(東京の先輩)の話を聞いて

- ・ 「目標を作る」「楽しいことに出会えば、苦労はない」の話が勉強になりました。
- ・ 自分の好きなことや、将来の夢を作っていきたいと思いました。

【意思決定能力】の育成

第3学年目標：夢の実現に向かって歩み出そう

○高等学校・高等専門学校・専門学校・大学等を含めた上級学校訪問

○関心がある学校を生徒が選択して内容を聞く進路説明会、高校教員出張授業の受講



生徒の感想：上級学校を訪問して

- ・ 人の事を考えるという当たり前の事が出来るようになっていきたいと思います。
- ・ 勉強をがんばっていこうと思いました。そして、しっかり学力をつけて、志望校に合格したいです。

【将来設計能力】の育成

将来の
夢の実現

第1学年テーマ:【 生きるとは 】

- 「生きる(生きがい)とは」身近な大人へのインタビューしレポートを作成する。
- 「キャリアアドバイザー講演会」地域の社会人講師を招いての講演・講話。



「キャリアアドバイザーの講演」
・仕事に「やりがい」「楽しみ」を感じている大人は、カッコイイと思った。
・社会人は、自分の生活も大切だけど地域と接点を持ち、地域に貢献することも大切なことだとわかった。
【職業理解・役割把握能力】の育成

第2学年テーマ:【 働くとは 】

- インターンシップ、スクールインターンシップの実施。
- 「仕事について」保護者へインタビューしてレポートを作成する。
- 「進路別説明会」(大学・専門学校等による)「大学模擬授業」の実施。



・仕事の大変さや、責任感、やり終えた達成感を体験できた。
・親の仕事内容や仕事に対する情熱みたいなもの、初めて聞いた気がする。
・自分の就きたい職業に、必要な資格や能力、適切な学部などがわかった。
【情報活用・収集能力】の育成

第3学年テーマ:【 進路実現 】

- 進路希望別課題研究(進路実現のための具体的方策の探索と実行)。
- 「小論文」「面接」「プレゼンテーション」「ディベート」等の具体的指導。
- 「ハローワーク講演会」(社会にでてからの、職業相談・職業情報の収集、法知識)。



大学を出て、資格をとることができたら竹原に帰って夢をかなえたい。
【広島県キャリア教育フォーラムにて】

【ハローワーク講演会】
学校を出ても職業の相談ができる場所があることがわかった。雇用関係の法律について知ることができてよかった。

**大竹市内の小中高等学校の教育活動に
協力していただける方、事業所を募集しています。**

外部講師（ゲストティーチャー）

- 応募資格
教育に興味・関心をもち、小中高校生・教員・保護者等に、自分の得意分野や職業・人生経験を話していただける方。
- 講師業務の内容
特別活動、総合的な学習の時間等における講話や授業への協力をお願いします。

職場体験活動等受け入れ

- 応募資格
教育に興味・関心をもち、小中高校生に、職場見学、職場体験、インターンシップ等の職業に関する体験活動の支援にご協力いただける事業所。
- 実施時期
学校と受け入れ事業所にとって都合のよい時間帯、期日、期間を設定します。

連絡先・・・詳細については、次の最寄りの各学校キャリア教育担当者までお問い合わせください。

- 玖波小学校 TEL 57-3101 FAX 57-3102
- 大竹小学校 TEL 52-3177 FAX 52-3178
- 小方中学校 TEL 57-7211 FAX 57-7208
- 大竹高等学校 TEL 52-4325 FAX 52-9077

- 小方小学校 TEL 57-7158 FAX 57-7159
- 玖波中学校 TEL 57-7241 FAX 57-3060
- 大竹中学校 TEL 52-5177 FAX 52-5178

地域講師（キャリア・アドバイザー）募集案内

「竹原市の小中高校生に語りかけていただけませんか」

「キャリア教育モデル開発事業」

竹原市地域推進委員会

竹原市地域では、平成18・19年度の2年間、広島県教育委員会から「キャリア教育モデル開発事業」の指定を受け、竹原高等学校・竹原中学校・竹原小学校の3校が連携協力して、児童生徒一人ひとりの望ましい勤労観・職業観を育成するための調査研究及び実践を行っています。

その一環として、これまで各校において地元竹原で活躍されている社会人を学校へお招きし、職業や人生経験をとおして得られたもの（価値観）を、子どもたちに話していただく授業研究を進めてまいりました。

この取り組みは、子どもたちの勤労観・職業観を育成する過程において非常に有用であると判断し、この度広く市民の皆様に呼びかけ、様々な職種・経歴・年齢等幅広い層から、子どもたちに講演・講和をしていただける人材を確保したいと考え、「キャリア・アドバイザー」登録の募集をお願いするものです。

趣旨をご理解いただき、多くの皆様のご応募をお待ちしております。

キャリア教育とは・・・

- ・ 子ども一人ひとりが「目標・夢・希望」を見つけることができるような自己実現を目指した教育
- ・ 「人のためにつくして感謝する」ことができるような人間を育てる教育
- ・ どんな国・どんな時代に生きようとも人として普遍的に大切な資質を持った人間を育てる教育

竹原市地域が目指す子ども像・・・

「将来の竹原市を支える、よき社会人としての資質と郷土を愛する心をもった子どもたち」の育成

キャリア・アドバイザーの有用性・・・

- ・ 児童生徒にとって、様々な職業、職種、仕事の内容と、求められる能力や資格要件、学校在学中及び卒業後にキャリアを形成していく方法について専門的な知識や情報を知る事ができる
- ・ 働くことを通しての「生きがい」や「社会貢献」等、社会人・職業人としての役割を知る事ができる
- ・ 教員や保護者にとっても、職業の実際やその変化、今日の企業が求める職業人としての資質や能力等を知る機会となる

教育に興味・関心を持ち、子どもたち・教員・保護者に

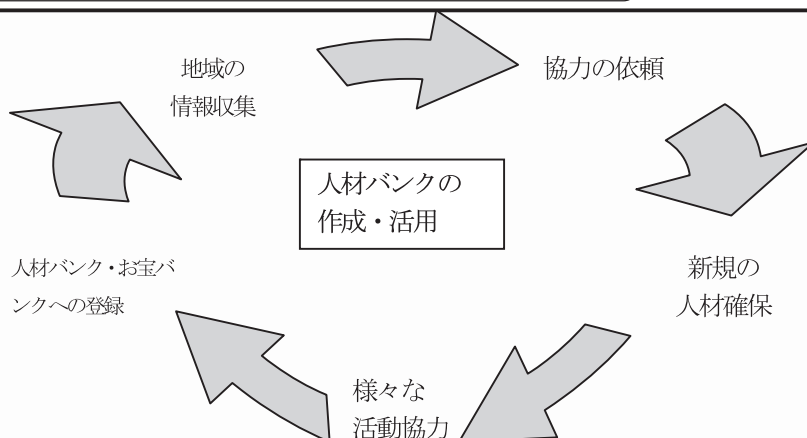
自分の得意分野や職業・人生経験を話していただける

多くの方の登録を希望しております

【登録用紙は各実施校に用意してありますお問合せください】

No.20 キャリア・アドバイザーの人材リスト例（庄原市立美古登小学校）

* 美古登小学校内で様々な体験活動に協力していただいた方を登録して人材バンクの作成をする。



ご指導いただける内容	お名前	連絡先	備考（これまでの記録、今後の参考になるような事柄 等）
米づくり	〇〇〇	△—△△	H17・18 田植え・稲刈り・稲こぎ（全校児童）
	〇〇〇	△—△△	H17・18 借用田主（田圃の管理、収穫までの世話）
	〇〇〇	△—△△	保護者 H17・18 コンバイン借用
美古登ばやし（太鼓指導）	〇〇〇	△—△△	美古登ばやし指導（全校児童）
食育・福祉等 体験活動	〇〇〇	しあわせ館	
	〇〇〇	社会福祉協議会	

* 西城町全体でのキャリアアドバイザーとしてのお宝バンク作成・活用

これまで各校で体験活動を行った際に、地域の「名人」や「達人」、「〇〇の先生」としてお世話になった方を『キャリアアドバイザー』として『西城お宝バンク』に登録し、西城町内の小・中・高等学校での指導にご協力いただく。

『西城お宝バンク』一覧表 「人」編（地域の人材）

ご指導いただける内容	お名前	連絡先（自宅・お勤め先 等）	備考
	〇〇 〇〇	△—△△	
	〇〇 〇〇	△—△△	

『西城お宝バンク』一覧表 「もの」編（自然、建物、史跡等）

おすすめのもの	場 所	備 考
（例）ホテル	宮の段川	6月中旬から見る事ができる。
（例）大トチの木	熊野 大羽川沿い	国の天然記念物

『西城お宝バンク』一覧表 「こと」編（各種行事等）

おすすめの行事	場 所	備 考
（例）熊野神社春の大祭	熊野神社	

西城地域全体の 〇〇名人
★『キャリアアドバイザー』

西城町内の各校で 指導
(小・中・高)

『西城お宝バンク』とは？

西城ならではの『人』（地域の人材）

『もの』（動植物・建造物・史跡等）

『こと』（行事・無形文化財等）

を集めた 宝箱のような資料です。

(1) 東広島市立板城小学校

野菜づくり名人

アドバイザーから…
☆おいしい野菜をつくるコツは、みなさんが毎日野菜の様子を見ることです。



福祉のことなら何でも名人

アドバイザーから…
☆車椅子を使っている人や目の不自由な方にとって、みなさんの言葉かけが大きな安心を生みます。



内 容

- ・野菜の植え方の指導をしてくださる。
- ・わからないことがあった場合、すぐに対応してくださる。
- ・収穫パーティーにも参加して下さり、児童の意欲を高める言葉かけをしてくださる。

内 容

- ・福祉体験について、相談・計画から実施までお世話して下さい。
- ・アイマスク・車イス・手話・点字体験では、指導の先生方を呼んで下さったり、体験に使用する道具等も準備して下さい。

児童の一言

- ・野菜づくり名人に教えていただいたので、上手に植えることができたよ。
- ・鳥が枝豆の種を食べに来るとは知らなかったよ。食べられないように草などをかけておくことも分かったよ。
- ・おいしい野菜ができるよう一生懸命育てます。

児童の一言

- ・車イスを使っている人や、目の不自由な人には声かけが大切なことがわかりました。
- ・学校内でバリアと思っていたところがバリアになるということがわかりました。

米づくり名人

アドバイザーから…

- ・米づくりは、八十八の手間がかかります。おいしいお米をつくるには、その時その時に大切なお世話があります。
- ・感謝してお米を食べましょう。



内 容

- ・代かき・田植えの準備
- ・田植えの体験指導（田植えづなを使って）
- ・水の調節
- ・消毒
- ・稲刈りの体験指導
- ・千歯こぎ・足踏み脱穀機・コンバインの3種類の稲こぎの体験をさせていただける。

児童の一言

- ・田植えは腰が痛くなってたいへんでした。農家の方の苦労が分かりました。
- ・稲こぎの方法を3種類体験させてもらいました。昔の人は、危険な足ふみの千歯こぎで米をとっていたことが分かりました。コンバインは、ただ稲の穂を入れるだけで米だけが袋に入るので便利だと思いました。
- ・手間がかかった大切なお米です。よく味わって食べようと思います。

(2) 東広島市立御園宇小学校

菊 つ く り 名 人

アドバイザーから…

☆ 毎日の気遣い、欠かさない世話で、大輪が咲く。子育てといっしょですねえ。



内 容

- ・ 親株摘芯、さし芽、小鉢あげ、定植、輪台取り付け等、一連の作業の指導
- ・ 数人で来校
- ・ 夏休みを含めて、毎日の世話を5月から続けると、11月に大輪を咲かせることができる。

児童の一言

……小鉢植えをしました。おどろいたことが二つあります。……芽をよごしてしまったり、すぐ枯れてしまうことです。菊はデリケートなんだなあと思いました。こんなことを知っておられる地域の皆さんに教えてもらえることはありがたいなあと思いました。ありがとうございました。

折 り 紙 名 人

アドバイザーから…

☆ 一枚の紙、一折するたびに、わくわくドキドキします。かわいい手で一生懸命作っている姿をみると、豊かな心になります。日本の温かい文化です。

内 容

- ・ 公民館でもおりがみ教室
- ・ 校内にその案内掲示をされる
- ・ 高学年クラブ講師
- ・ 季節感あふれるものや新しいもの



こ だ わ り レ ス ト ラ ン



アドバイザーから…

- ☆ 「働く」とは「人」が「動くこと」、「動く」とは「重いこと」「力がかかること」
- ☆ 「夢は叶えるもの」、口で言葉にして努力すること
- ☆ 喜んでもらえることが一番

内 容

- ・ 「この手で何ができるか？」
- ・ 「人を喜ばせる仕事がしたい」
- ・ 東広島市内で店を経営
- ・ 簡単な料理を子どもと一緒に調理
- ・ 児童にとっては、お父さんの世代であり、たいへん親しみやすい
- ・ 自分のこれまでの人生を語ってくださる。

児童の一言

- ……ただ、お店をするということではなくて、「お客様に喜んでもらえることが、自分の喜び」といわれた言葉に、働くということ是这样いことなんだと思いました。
- 高い白いぼうしをかぶったら、きっと「よーし、きょうもがんばって、よろこんでもらえるようにりょうりを作るぞ。」と、一日が始まるんだろうなと思いました。ぼうしがカッコいいです。……

(3) 東広島市立向陽中学校

茶道

アドバイザーから…

- ☆ 日ごろの生活の中でも、おもてなしの心や思いやり、そして感謝と謙虚な心を持ち、うるおいのある生活をしましょう。
- ☆ 人を喜ばせることの楽しさやすばらしさを知ってください。人の和が広がります。

内 容

- ・ より美しい所作をめざす。
- ・ マナーや作法、お茶の技能（点て方、いだし方）を身につける。
- ・ お茶会の開催。

生徒の一言

- よい姿勢が続くようになり、正座が何十分もできるようになった。
- 始めはできるかとても心配だったけど、ずいぶん我慢強くなり、やればできるという自信がついてきた。
- 落ち着いた気持ちで物事に取り組めるようになった。
- 普段の授業では学べない文化を知ることができた。

杖道

アドバイザーから…

- ☆ 礼儀正しく、忍耐強く、誠実に。
- ☆ 元気よく、自分に自信を持って活動できるようにしよう。
- ☆ 前向きに進んで行動する実践力や社会生活に必要な協調性がつきますよ。

内 容

- ・ 杖道の歴史やルールを学ぶ。
- ・ 模範演舞を見る
- ・ 杖の技術を習得する。

生徒の一言

- 「礼に始まり、礼に終わる」礼儀作法の意味を深く考え、行動できるようになった。
- 講師の先生の技をまねる学びかたを学ぶことができた。
- あいさつも、立ち止まり相手の目を見ていねいにできるようになった。
- 相手のことを考えたり、思いやる気持ちが生まれてきた。
- 大きな声を出して行動すると動作も大きくなり、自信が持てるようになった。

箏・尺八

アドバイザーから…

- ☆ 我が国の音楽の素晴らしさを理解し、その背景となる文化・歴史にも関心を持とう。
- ☆ 演奏の技術を習得し、生活を豊かに生涯にわたって音楽に親しんでほしいものです。

内 容

- ・ 日本独特の楽器の歴史と日本文化のよさ、和楽器のもつすばらしさを学ぶ。
- ・ 演奏技術や演奏方法を身につける。
- ・ 繰り返し練習する
- ・ グループでの練習と発表会をする。



生徒の一言

- 背筋の伸びたよい姿勢を意識するようになった。
- 納得のいくまで何度も練習するようになり、集中力や持続力が高まったと思う。
- 練習してもうまくできない時、仲間と協力し、励まし合うことを学ぶことができた。
- プロの人から学ぶことができ、日本人としての自信と誇りを持つことができるようになった。
- くり返し練習することの大切さを学んだ。学習面にも活かしていきたい。

(4) 県立西条農業高等学校

先輩に学ぶ

アドバイザーから…

今しかできない
ことに思い切り
チャレンジ！



内 容

- 進路指導部が主催して、各学科を卒業した先輩を招き、社会人としての体験を聞いたり、高校時代にしておかなければならないことについてアドバイスを受けたりする
- 学科毎に卒業生から講師を選定して、毎年7月に実施

生徒の一言

- ・よく知っている先輩が語ってくれる社会人としての苦労話は、自分たちにとっても身近なこととして受け止めることができ、高校時代にやっておかなければならないことについても課題意識を持つことができます。とても有意義な時間なので、毎年楽しみにしています。

キャリア・アドバイザーによる講演

アドバイザーから…

専門性を生かして、力強く社会
にはばたけ！



内 容

- 「株式会社 サタケ」の人事担当者による、本校3学年全生徒を対象にした講演
- 平成17年9月2日実施
- 講話内容
 - ・「食」の分野における最新情報と最先端の技術について
 - ・社会人としての心構えについて

生徒の一言

- ・就職試験を直前に控えたこの時期に、社会人としての心構えについてお話をしていただき、身が引き締まる思いでした。自分も専門性を生かしながら、社会に貢献できるような人材になりたいという思いを強く持ちました。

SPP（サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト）事業

アドバイザーから…

高度な研究実践に触れて専門性を高め、自分自身の可能性を広げよう！



内 容

- 技術革新や産業競争力強化を担う将来有為な科学技術系人材の育成を目指した、文部科学省「科学技術・理科大好きプラン」の一環
- 最先端の研究成果や研究施設・実験装置等を有する大学、公的研究機関等と学校現場とが連携し、生徒の科学技術・理科等に関する興味・関心と知的探究心等を高めることを目指す研究
- 平成14年度より理科、農業科等で毎年実施

生徒の一言

- ・普段の授業や実習を通じて学習している知識や技術には、こんなにも奥の深い世界があるということをSPPの授業で知りました。大学の先生からは、知識や技術だけでなく、専門分野の研究に対する情熱を感じることもできました。今までは、確かな目標を持てずにいた自分でしたが、専門性をもっと高めるために大学進学を目指すようになりました。

No.23 キャリア教育関連事業指定地域・学校

1 キャリア教育推進事業（平成17年度）・キャリア教育実践モデル開発事業（平成18・19年度）

地域名	学 校 数	学校名
大 竹 市	小学校	3 玖波小学校 小方小学校 大竹小学校
	中学校	3 玖波中学校 小方中学校 大竹中学校
	高等学校	1 大竹高等学校
東広島市	小学校	2 板城小学校 御菌宇小学校
	中学校	1 向陽中学校
	高等学校	1 西条農業高等学校
竹 原 市	小学校	1 竹原小学校
	中学校	1 竹原中学校
	高等学校	1 竹原高等学校
福山市新市	小学校	4 新市小学校 戸手小学校 網引小学校 常金丸小学校
	中学校	2 新市中央中学校 常金中学校
	高等学校	1 戸手高等学校
庄原市西城	小学校	3 西城小学校 美古登小学校 (小鳥原小学校)
	中学校	1 西城中学校
	高等学校	1 西城紫水高等学校
計	小学校：13校(平成17・18年度は14校)，中学校：8校，高等学校：5校	

2 キャリア教育実践プロジェクト（文部科学省委嘱事業）（平成17～19年度）

【平成17年度】

実施地域を構成する市町名	実施中学校数	学校名
北広島町	4	芸北，大朝，豊平，千代田
竹原市	4	竹原，忠海，賀茂川，吉名
府中市	5	第一，第二，第三，第四，上下
庄原市	8	庄原，総領，東城，西城，小奴可，比和，口和，高野
広島県計	4	21

<参考>

広島市	10	温品，福木，中広，戸山，高取北，東原，日浦，口田，船越，城山
-----	----	--------------------------------

【平成18年度】

実施地域を構成する市町名	実施中学校数	学校名
大竹市	4	玖波，小方，大竹，栗谷
東広島市	13	西条，向陽，八本松，志和，高屋，磯松，松賀，高美が丘，黒瀬，福富，豊栄，河内，安芸津
江田島市	5	切串，江田島，能美，三高，大柿
安芸太田町	3	加計，筒賀，戸河内
尾道市	3	生口，吉和，百島
福山市	36	東，城北，城南，鷹取，城東，幸千，済美，向丘，鞆，走島，鳳，培遠，大成館，松永，精華，中央，芦田，山野，広瀬，加茂，駅家，誠之，城西，大門，一ツ橋，東朋，駅家南，内海，常金，新市中央，千年，至誠，神辺，神辺東，神辺西，福山
三次市	12	三次，十日市，塩町，川地，八次，甲奴，君田，布野，作木，吉舎，三良坂，三和
広島県計	7	76

<参考>

広島市	9	幟町, 庚午, 己斐上, 安佐, 安西, 祇園東, 瀬野川, 五日市, 湯来
-----	---	--

【平成19年度】

実施地域を構成する市町名	実施中学校数	学校名
廿日市市	10	廿日市, 七尾, 阿品台, 野坂, 四季が丘, 佐伯, 吉和, 大野, 大野東, 宮島
呉市	28	仁方, 長浜, 白岳, 広中央, 郷原, 横路, 阿賀, 警固屋, 宮原, 和庄, 東畑, 片山, 二河, 両城, 吉浦, 天応, 昭和, 昭和北, 下蒲刈, 川尻, 音戸, 明德, 倉橋西, 倉橋東, 蒲刈, 安浦, 豊浜, 豊
府中町	2	府中, 府中緑ヶ丘
海田町	2	海田, 海田西
熊野町	2	熊野, 熊野東
坂町	1	坂
安芸高田市	6	吉田, 八千代, 美土里, 高宮, 甲田, 向原
大崎上島町	3	大崎, 東野, 木江
世羅町	3	甲山, 世羅, 世羅西
神石高原町	4	三和, 神石, 油木, 豊松
広島県計	10	61

<参考>

広島市	18	早稲田, 段原, 似島, 井口, 井口台, 城南, 長束, 可部, 矢野, 五月が丘, 五日市南, 砂谷, 亀山, 古田, 高陽, 三和, 落合, 美鈴が丘
-----	----	--

3 キャリア教育推進地域指定事業（文部科学省委嘱事業）（平成16～18年度）

地域名	学校数	学校名
尾三	6	尾道市立瀬戸田小学校 尾道市立南小学校 尾道市立東生口小学校 尾道市立瀬戸田中学校 尾道市立生口中学校 瀬戸田高等学校

4 高等学校におけるキャリア教育の在り方に関する調査研究（文部科学省委嘱事業）（平成19～21年度）

推進校	学校数	学校名
学校毎	5	三原東高等学校 松永高等学校 安芸高等学校 安西高等学校 廿日市西高等学校

終わりに

本県では、平成17年度末に、キャリア教育推進事業のモデル地域として指定された5地域の実施報告書を作成し配布しました。

今回は、この「手引き」の中に、モデル地域の3年間取組みを実践例として随所に盛り込むことにより、キャリア教育のどの場面にあっても、疑問点や課題に対応するためのメッセージの提案に努めています。

文部科学省では、学校教育法、学校教育法の改正等を踏まえ、平成20年1月、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について」、中央教育審議会答申がありました。

それによると、「生きる力」をはぐくむという学習指導要領の理念を実現するため、その具体的な手立てを確立する観点から学習指導要領が改訂されるというものです。

また、教育内容に関する主な改善事項の一つとして、社会の変化への対応の観点から教科等を横断して改善すべき事項の中に、「キャリア教育」が掲げられています。そして、今後更に、子どもたちの発達の段階に応じて、学校の教育活動全体を通じた組織的・系統的なキャリア教育の充実に取り組む必要があることや、学ぶことや働くこと、生きることを実感させ将来について考えさせる体験活動が重要であることなどが示されています。

このような状況を踏まえ、この「手引き」の十分な活用により、各学校におけるキャリア教育が一層充実することを期待します。

食べる!遊ぶ!読む!

で生活リズムを整えよう!

